

公益社団法人  
益米沢有為会々誌

# 米沢有為会々誌

公益社団法人 発足記念特集号  
復刊 第63号 平成25年11月



登録商標第1457084号



### 米沢牛販売店

日本橋

日 山

日本橋 日山本店	中央区日本橋人形町2-5-1	TEL 03 (3666) 5257
すき焼き割烹 日山	中央区日本橋人形町2-5-1	TEL 03 (3666) 2901 (予約が必要です)
日山横浜店	横浜市西区南幸1-5-1	相鉄ジョイナス内B1 TEL 045 (321) 6649
日山龟戸店	江東区龟戸5-1-1	龟戸駅ビルアトレ内B1 TEL 03 (3638) 1129

米沢牛銘柄推進協議会  
山形おきたま農業協同組合

公益社団法人  
米沢有為会々誌

公益社団法人発足記念特集号  
復刊第63号



国宝上杉本洛中洛外図屏風 右隻3扇の山鉾巡行の場面

## [表紙について]

米沢市（上杉博物館）所蔵



表紙は、右隻3扇の山鉾巡行の場面です。↑ <タテ 160.4cm、ヨコ 365.2cm>

## 国宝 上杉本洛中洛外図屏風

この屏風は、天正12年（1574）に織田信長が上杉謙信に送ったと伝えられるもので、狩野永徳の作とされる。京の市街地（洛中）と郊外（洛外）を高い視点から描いている。描かれている人物は2,400人を超えており、当時京の人口10万人と言われているので約40人に1人の割合で描かれている。この切り取った絵からは、祇園祭の山鉾の列が見え、祭りに参加している人、見学している人が描かれている。京都の町の一人一人が活気にあふれている様子が見える。一人として同じ格好の人はいない。

この場面は右隻3扇に描かれている。この屏風は平成7年国宝となり、上杉家文書が平成13年国宝となり、米沢に国宝が2点ある。

# 目 次

公益社団法人発足をお祝いして	名譽会長 上杉 邦憲	仙台興譲館 置賜市町だより
新たなる出発へ	会長 須貝 英雄	米沢市
本部活動報告		長井市
第一二五回定時総会報告		南陽市
本部各部門の主要活動報告		高畠町
本部主要委員会の活動報告		川西町
第一二六回定時総会報告		小国町
産業功労賞受賞記念講演		白鷹町
私の志――二十五年度奨学生の作文――	神尾 潔氏	飯豊町
特集 公益社団法人認定		米沢有為会文化大学
新たな制度への移行		第六回 第五回
認定申請		国立国会図書館長 大滝則忠氏
主な審査内容		日本獣医学生命科学大学 名誉教授 紺野 耕氏
主な変更点		NPO法人食農研センター理事長 滝澤昭義氏
税制上の優遇措置		NPO法人日本子守唄協会理事長 西館好子氏
今後の検討課題		特別寄稿
公益社団法人米沢有為会定款		市立米沢図書館 副主幹兼郷土資料室主任 青木昭博氏
置賜各市町長のメッセージ		トピックス
我妻榮記念館だより		① 万世大路道路元標の設置 ② フラワー長井線生誕一〇〇周年 ③ 山形県立米沢栄養大学来春開学 ④ 市立米沢図書館のデジタルライブラリー公開
支部だより		会員の広場
東京支部	「漆の実」俳句会便り	
米沢支部	川柳同好会「柳為会」の近況	
仙台支部	第64回緑光会出品作品	
京都支部		
北海道支部		
興譲館寮だより		
東京興譲館		

76 76 74 72 69 64 62 62 57 50 39 37 36 35 34 33 32 28 20 19 15 12 8 8 6 4

置賜市町だより	仙台興譲館 置賜市町だより
米沢市	長井市
長井市	南陽市
南陽市	高畠町
高畠町	川西町
川西町	小国町
小国町	白鷹町
白鷹町	飯豊町
飯豊町	米沢有為会文化大学
米沢有為会文化大学	第六回 第五回
日本獣医学生命科学大学 名誉教授 紺野 耕氏	国立国会図書館長 大滝則忠氏
NPO法人食農研センター理事長 滝澤昭義氏	日本獣医学生命科学大学 名誉教授 紺野 耕氏
NPO法人日本子守唄協会理事長 西館好子氏	NPO法人日本子守唄協会理事長 西館好子氏
特別寄稿	特別寄稿
市立米沢図書館 副主幹兼郷土資料室主任 青木昭博氏	市立米沢図書館 副主幹兼郷土資料室主任 青木昭博氏
トピックス	トピックス
① 万世大路道路元標の設置 ② フラワー長井線生誕一〇〇周年 ③ 山形県立米沢栄養大学来春開学 ④ 市立米沢図書館のデジタルライブラリー公開	① 万世大路道路元標の設置 ② フラワー長井線生誕一〇〇周年 ③ 山形県立米沢栄養大学来春開学 ④ 市立米沢図書館のデジタルライブラリー公開
会員の広場	会員の広場
「漆の実」俳句会便り	「漆の実」俳句会便り
川柳同好会「柳為会」の近況	川柳同好会「柳為会」の近況
第64回緑光会出品作品	第64回緑光会出品作品
贊助会員名簿	贊助会員名簿
公益社団法人米沢有為会役員名簿	公益社団法人米沢有為会役員名簿
編集後記	編集後記
本部・各支部事務所等所在地	本部・各支部事務所等所在地

159 158 150 149 146 144 140 140 139 137 136 134 134 125 119 118 115 113 113 109 107 104 101 95 91 88 82 82 79



## 公益社団法人発足をお祝いして

名譽会長 上 杉 邦 憲

米沢有為会が本年七月一日を以て、公益社団法人として新たなスタートを切られたことを心よりお慶び申し上げます。申すまでもなく、公益法人に認定されることは、有為会が単に置賜出身者の親睦のための会ではなく、百二十年以上にわたり、有為なる人材の奨学育成と産業・文化の振興という目的の下に活動していることが公に認められた証左であり、まことに誇らしい限りであります。

いわゆる「社団法人」が、平成二十一年の民法改正により存続が認められなくなり、「一般社団法人」になるか、「公益社団法人」になるか、或いは解散かの選択を平成十五年度までに決めなければならない、という降つて湧いたような事態の下、有為会の目的に鑑み、公益社団法人としての認定を目指したわけですが、その道のりは、決して平坦ではありませんでした。そして、下條前会長、須貝現会長の下、平山副会長（公益移行認定準備委員会委員長・

総務部長)をはじめとする多くの理事、会員の皆様の並々ならぬ御尽力があつて、はじめて公益法人発足の日を迎えたことを忘れるることはできません。平成二十年から五年に及ぶ当局との交渉、財務・法務関連の整備等々、大変なご苦労があつたことにあらためて深甚の謝意を表する次第です。

さて、公益社団法人となつたことのメリットとして、総会での説明や有為会HPに記されている通り、当会の公益事業に対し非課税及び損金算入扱いが出来たり、個人が当会に寄付した場合の寄付金控除措置や法人の寄付を損金算入にできるなど、税制上の優遇措置という実利的な面が挙げられますが、私は、なんといつても「公益社団法人米沢有為会」という名称を掲げることにより、当会および当会事業、公益活動に対する信用度が一層高くなることが最大のメリットだと考えております。

今年の夏は、猛暑や大雨、さらには竜巻など地球温暖化の影響ではないかと思われる異常気象が続きましたが、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしになられることを、そして、公益社団法人として新たな一步を踏み出した米沢有為会がさらなる発展を遂げられますことを祈念してご挨拶いたします。



## 新たなる出発へ

米沢有為会会長 須 貝 英 雄

米沢有為会会員の皆様、日ごろから当会の活動に多大なご支援・ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

さて、皆様すでにご存知のように、去る七月一日付けで当会が「公益社団法人」の認定を内閣総理大臣名で受けました。国の公益認定準備委員会および内閣府の審査を経て、「公益事業を行うことを主たる目的とし、公益法人の基準を満たす法人」として認定されたことになります。私たちにとって、税制上の優遇措置という直接的なメリットもありますが、当会および当会の事業に対する信用度・周知度の向上が図れることとなります。多くの先人により長年に渡って連綿と受け継がれてきた当会の活動、当会の本来の目的である「育英事業その他の学術および文化の振興などに関する事業を行う」活動が公的に認められたことをうれしく思うと同時に、今後、公益社団法人の名にふさわしい活動を会員皆様と一緒に

緒にさらに展開してゆかねばなりません。

公益目的事業としての主な活動は、

1. 育英事業

(1) 獨学金貸与事業

(2) 東京興譲館、仙台興譲館の維持運営事業

2. 学術施設管理運営事業

我妻榮記念館管理運営事業

3. 教育、文化、産業振興事業

(1) 表彰事業

(2) 文化講演事業

(3) 広報事業

等です。

財務状況の改善、事務局の強化、会員の拡充など克服すべき課題もありますが、会員皆様への周知に努め、さらなるご協力のもと、新しい出発に向かってゆきたいと思います。

# 本部活動報告

## 定期総会及び付帯催事に関する報告

### 一、第一二五回定期総会の報告

社団法人米澤有為会の第一二五回定期総会は、平成二十五年六月二十三日

(日)十三時三十分

十五時、ホテルサンルート米沢で開催さ  
れました。

議案審議に先立ち、須貝英雄会長よ  
りご挨拶がありました。

定款第一四条第二項の規定により会長  
が議長となつて開会を宣言し、直ちに議  
事に入りました。多



くの議案が審議され、各議案とも原案どおり承認されましたが、議事の概要及び審議経過は次の通りです。

### 第一号議案 平成二十四年度事業・業務報告の件

配布の米澤有為会会報（以下「議案書」という。）記載の「平成二十四年度事業・業務報告」に沿つて平山英三総務部長より報告及び説明があり、採決の結果全会一致で可決されました。

### 第二号議案 平成二十四年度決算及び監査報告の件

議案書記載の「平成二十四年度決算報告書」に沿つて、鈴木信之財務担当理事より報告及び説明があり、その後、西澤榮一監事より監査報告があり、採決の結果全会一致で可決されました。

### 第三号議案 平成二十五年度事業・業務計画(案)の件

議案書記載の「平成二十五年度事業・業務計画(案)」について平山英二総務部長より説明があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。

### 第四号議案 平成二十五年度収支予算(案)の件

議案書記載の「平成二十五年度収支予算(案)」に沿つ

て鈴木信之財務担当理事より説明があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。

## 二、功労賞、特別顕彰表彰式

**第五号議案 理事・監事任期満了に伴う改選に関する件**  
本年は役員の改選期に当たり、現在の役員は平成二十一年六月末までの任期であるが、公益法人移行申請のため、移行時の役員が平成二十三年の総会で選任されるが、移行時期が平成二十五年七月一日より遅くなつた場合でも法律の「新たに選任された役員が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。」の規定を用いることとし、新たな役員選任を行わないことが承認されました。

### ○産業功労者

本年度の本部表彰は、産業功労一名と特別顕彰三名の方に決定しそれぞれ表彰状と記念品が贈られました。教育功勞は該当ありませんでした。表彰式では上杉名譽会長から授与されました。

#### 神尾 潔 殿

タカハタ電子(株)常務取締役

氏は、米沢市の中核企業として工業出荷額（平成二十二年度：東北地区第四位）を支え、国内パソコンシェアNo.1を誇るNECパーソナルコンピュータ(株)米沢事業場の最高責任者であつた。

**会務報告**  
平山総務部長より公益認定申請の進捗状況につき説明がなされた。公益認定等委員会事務局との折衝の結果六月末に内閣総理大臣の認定を受け七月一日に移行登記が出来る見込みとなつたことが報告されました。

その前身である米沢製作所から、米沢NEC、NECカスタムテクニカ、NECパーソナルプロダクトと変遷する中で、開発技術のトップリーダーとして活躍し、執行役員常務に昇任。常に優れた技術力とリーダーシップを發揮し、初代ノートPC開発時には、それまで開発から量産出荷まで約八か月要していたものを三・五か月でやり遂げるプロジェクトの開発リーダーとなり、「プロジェクトX」並みの快挙と業界の注目を浴びた。

また、海外向けPCの開発にも携わり、当時アメリカにおいて名譽ある「PC Of The Year」を獲得するなど、NEC米沢の名声を大いに高めた。

さらに、NECのパソコン開発生産基地集約の際には、氏の率いる開発部隊が高く評価され、米沢集約の重要な決め手の一つになつたと伝えられている。

こうした活躍と実力が認められ、地元社員として初となるパソコン事業本社のマーケティング本部長となり、販売戦略や広告宣伝等を通じ、NECパソコンの国内シェアトップを継続。NECパソコンブランドの確立に寄与した。

その後、執行役員常務兼米沢事業場責任者として、トヨタ生産革新方式による生産性・品質向上や変動対応力の強化に努め、ものづくりのトップランナー工場として注目を集め、積極的な工場見学受入れを通して、米沢地域を含む多くの製造会社のレベル向上に貢献した。

### ○特別顕彰者

高橋健太郎 殿

(米沢中央高校三年)

第二十回日中韓ジュニア交流競技会

男子バレーボール

出場 (全日本キャプテン)



第九回アジアユース選手権大会

男子バレーボール 第三位

江口悠貴 殿（九里学園高校三年）

二〇一二全国高等学校総合体育大会

陸上競技 男子110mハードル 優勝

第二十回日中韓ジュニア交流競技大会

陸上競技 男子110mハードル 優勝

山木伝説 殿（九里学園高校2年）

第六十七回国民体育大会（ぎふ清流国体）

陸上競技 少年男子A400m 第二位

第六回日本ユース選手権

陸上競技 男子400m 優勝

### 三、受賞者記念講演

※記念講演の概要は二十ページです。

### 四、総会懇親会の開催

総会講演会終了後、上杉名誉会長はじめ本部役員、支部会員三十名ほどが講師 神尾潔様を囲み懇親会を開催

した。今年は会場がサンルート米沢となり移動することなく開催された。参加者の中に東京支部会員で、米沢おじょうしな観光大使の佐藤好明さんも参加されており、米沢を大いにPRしていただいているとのことでした。



## ◎本部各部門の主要活動報告

### ○総務部

昨年の総会を受けて公益移行を先取りし、今まで活動してきた企画部、組織部、婦人部を、総務部に統合し、各理事がその業務を分担することになりました。須貝会長の指導のもと、日常的には事務局が中心になつて業務を処理し、必要に応じて総務部会を開きながら、事務局、財務担当理事と連携して業務を進めました。また、公益認定準備委員会の検討を受けて、公益認定に必要な定款の改定やこれに伴う規程や細則の整備を進めるとともに、公益移行後の会員制度や会費制度の検討に伴う財政状況の見直しや今後の予測をまとめなどの検討を行いました。また、公益準備委員会の検討が一段落してからは、その業務を引き継ぎ、総務部が実際の申請書の作成を担当しました。そのため、日常的な業務が不十分になつたのではないかと反省しています。

今後は公益移行に伴う事務局体制の強化、財政基盤強化を進めていく必要がありますし、総務部が担当することになった組織部業務や婦人部業務を協力で進めていきたいと思っています。  
ご意見をお寄せいただくとともに、

よろしくご協力を願います。なお、総務部長は、副会長の平山が兼務を続けていますが、新たな総務部長を求めておりますのでご推薦ください。

### ○育英事業部

育英事業（学生寄宿舎設置運営事業、育英資金貸与事業など）は、本年七月より移行した公益法人としての当会において公益事業の中核をなすものですが、課題も抱えています。

学生寄宿舎（東京・仙台興譲館寮）事業における課題の一つは、近年応募者が減少傾向にあることです。昨年度、「舍生募集プロジェクト」を立ち上げ、上村勘二理事を中心に、米沢支部の強力なバックアップのもと、アンケート調査、高校訪問による父母説明会、ポスター・チラシ・ホームページの充実、選考日・場所の便宜性向上、応募書類の簡素化などを実施しました。詳しくは、昨年度会誌および本会誌の別報告のとおりです。結果、寄宿舎の認知度向上そして応募者増加となり、今年度は定員を確保できました。これまで舍生応募資格者は「置賜地域三市五町の在住者または出身者の子弟」でしたが、今年度より「有為会会員一名以上の推薦を受けた

者」と広げましたので、会員の皆様におかれましては是非ご活用下さい。これにより、さらに多彩で優秀な学生を迎える閣達な寄宿舎運営が行われることを期待しております。

育英資金貸与事業における課題の一つは、制度の魅力度向上です。昨年度は、奨学生OB・OG会より給付制度導入などの提案もありましたが、財源の確保なども含め今後の課題と認識しております。

以下、諸事業の昨年度活動内容をご報告します。

#### 平成二十五年度学生寄宿舎入寮生選考の報告

寄生募集プロジェクトの報告をご覧ください。

#### 平成二十五年度奨学生貸費生選考の報告

面接等の結果について、三月三十一日の本部理事会に報告されて審議し、次の三名が平成二十三年度奨学生として決定しました。彼らの応募時の抱負作文は後掲しています。

#### 山口 直樹

名古屋大学理学部入学・米沢興譲館高卒・米沢市出身

#### 平 駿人

東北大学理学部入学・長井高卒・長井市出身

### ○地域・教育振興部

東京医科大医学部入学・米沢興譲館高卒・米沢市出身

#### 渡邊 琢磨

平成二十五年三月、各市町において、平成二十四年度、あるいは平成二十四年度までに、小学生・中学生・高校生については各種大会または競技会等において優秀な成績をおさめたもの、教育・文化、産業・福祉等の分野について、その振興・発展・向上に功労があつた個人や団体等を置賜地区三市五町の教育委員会、小・中・高校長会、産業振興関係部・課、商工会議所、米沢有為会米沢支部理事等から内申していただきました。それを受け、本部教育振興担当と米沢支部教育部、本部産業振興担当と米沢支部産業部では、小学生・中学生・高校生については特に顕著な活躍が認められるもの、教育・文化、産業・福祉について特段の功労があつたものを本部表彰者として選考し、米沢支部長から本部理事会に推薦して本部理事会で決定し、本部総会のおり表彰しました。さらに同時に支部表彰者の選考を行い、米沢支部理事会で決定し、米沢支部総会のおりに表彰しました。また高等学校卒業時における表彰は、平成二十四年度

は置賜地区内の十四の高等学校のうちキリスト教独立学園高等学校一校を除いた各高等学校長から各校一名の推薦を受けて本部理事会で決定し、米沢支部教育部の方々が置賜地区内の各高等学校を訪問して各高等学校長に表彰状の伝達をお願いして実施しました。

今年度は、産業功労賞として(株)タカハタ電子専務執行役員神尾潔氏を、特別顕彰として米沢中央高校三年高橋健太郎君、九里学園高校三年江口悠貴君、九里学園高校二年山木伝説君を本部表彰いたしました。今年度の本部総会の報告の項で紹介しております。

また高等学校卒業時における表彰は次の項に示します。

#### 二十四年度高等学校卒業生表彰（二十五年一二月表彰）

郷土の人材育成支援事業の一環として置賜地区高等学校の二十四年度卒業生で学業、部活動、生徒会活動等で、特に優れた卒業生を各高等学校長より推薦いただき表彰しました。

今年度の高等学校卒業生表彰者は次のとおりです。

**神保 智里** 米沢興譲館高等学校（米沢市）  
**佐久間智代** 米沢商業高等学校（米沢市）  
**芳賀 瞳美** 米沢工業高等学校（白鷹町）

#### ○文化広報部

今年度の会誌六十三号は、公益法人認可記念号としました。平成二十年三月二日の理事会において新公益法人を目指して『公益認定準備委員会』をスタートさせ準備してきました。

お陰様で平成二十五年七月一日に「公益社団法人米沢有為会」が登記完了し発足しました。同時に社団法人米澤有為会は消滅したわけです。明治二十二年十一月二十三日に発足した米澤有為会が社団法人になったのは明治四十二年十二月二十四日でありました。その後寄宿舎を

大比良和哉	米沢東高等学校	(米沢市)
遠藤 真	米沢中央高等学校	(川西町)
鈴木 未翔	九里学園高等学校	(長井市)
松田 澄平	南陽高等学校	(南陽市)
鈴木 智子	長井高等学校	(南陽市)
渡部 嘉也	長井工業高等学校	(長井市)
安部 龍之助	置賜農業高等学校	(南陽市)
石沢 春佳	高畠高等学校	(高畠町)
鈴木 瞽太	荒砥高等学校	(長井市)
大谷 雅輝	小国高等学校	(小国町)

建設したり、奨学金貸与制度を開始して青少年の育英事業を続けてきました。このことが主務官庁に認められたものと確信します。

この事業の精神を新たな公益社団法人として受け継ぎ、より一層充実しなければなりません。今号はそのために公益法人に関する特集として編集いたしました。新法人としてスタートはしましたが、まだ体制が完全ではありません。文化広報部としましても、総務部と連携しながら組織の充実、広報活動の充実を進めてまいります。

今年も昨年に引き続き寄宿舎生の募集では、号外を発行し進学校に出向き説明会用として取り組みました。またホームページの更新も米沢工業高校特進部と協力して進めています。

新法人となつたことで新たなスタートにふさわしい会誌としたいとの想いから表紙を検討したところでした。その他前号から取り組んでいるトピックス、歴史短信を掲載しました。特別寄稿として、NHK大河ドラマで話題となつてている新島八重と米沢の関係を米沢図書館の青木昭博さんにお願いいたしました。

皆さんからの情報、ご意見などお寄せいただければあります。

(部長)

## ◎本部主要委員会の活動報告

### ○公益認定準備委員会

定期款の変更の案の見直しをほぼ終了し、公益移行申請を総務部に引き継ぎました。総務部において平成二十五年三月二十日に電子申請による申請を行い、公益認定等委員会事務局との交渉を進め、各種問題点を詰めて、六月二十七日に公益認定を得て、七月一日に公益移行の登記を完了しました。詳細は「公益移行完了報告」をご覧ください。

### ○寄生募集プロジェクトについて そのⅡ

昨年度の会誌（復刊62号）で寄生募集プロジェクトの取組みを紹介した。今回はその後の経過を報告する。

#### 一、二つの検討事項について

①生徒と保護者から生の情報を得る事について

生徒と保護者から生の情報を得るために、推薦合格者はを対象としたアンケート調査を管内十四高校に依頼した。なお、一般受験合格者を対象にしたアンケートは、生徒が家庭学習期間になり回収困難であるために断念した。

アンケートは舍生OB会が作成し、東京と仙台の興讓館寮に入寮可能な生徒を対象に実施、八高校から東京十八名・仙台二十九名の情報をいただいた。この情報から入寮希望者は東京0・仙台二名、入寮の動機の一位は食事が付いている事、二位は経済的に有利である事であり、寮を希望しない理由の一位は規則や規制が多そう、二位はプライバシーが守れない事が分かった。アンケートの集計結果は次頁に示す通りである。

## ②仙台興讓館の個室化について

東京は既に全室個室であるが、室数の少ない仙台は、定員を多めにすることによる寮費の軽減や相部屋の教育的意義から、一年次のみ相部屋の可能を残している。このことの是非を判断するために、仙台支部の寮担当者が新規入寮生に面談したところ、直ちに個室化を図らねばならない状況ではなかつたので、次年度も相部屋の可能性を残して募集することとした。

## 二、応募状況

東京興讓館には在校生三名・高卒者四名が応募し三月に二回面接、新入舍生七名で総数二十名(定員二十四名)。仙台興讓館には高卒者九名が応募し、十二月と三月に三回面接、新入舍生九名で総数十八名(定員十八

名)である。募集各八名に対し、ほぼ満足できる結果であった。応募者は、ポスターを見て保護者の方と相談し、ホームページで確認し、高校の先生の助言をいただいて応募した。多くの方々のご協力に感謝申し上げます。

## 三、二十五年度の取組み

二十五年度は、伊藤和夫氏が地元高校担当となり、これまでの経験を踏まえ同様の取組みをしている。今年度の募集人員は東京八名、仙台五名である。充足できるよう多くの方のご支援をお願い申し上げます。

米沢有為会の寄宿舎が、多くの皆様方にご理解とご支援をいただくことで、寄宿舎生が増加し、寄宿舎を継続的に運営でき、充実につながるようにしたいものである。

(文責 上村)

社団法人  
**米沢有為会の育英事業**  
**新入寮生募集**

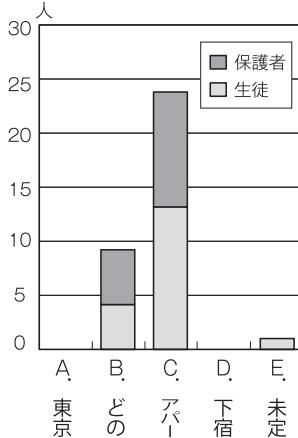
平成25年度

東京興讓館 寄宿舎新規入寮割引10%  
募集人員：8名程度  
寮費：47,000円～(朝夕2食付き)  
宿泊料：1,000円～(朝夕2食付き)  
3月23日㈯ 伝説の社  
東京興讓館 寄宿舎新規入寮割引10%  
募集人員：10名程度  
寮費：40,000円～(朝夕2食付き)  
宿泊料：1,000円～(朝夕2食付き)  
3月24日㈰ 伝説の社  
東京興讓館 03-3309-3302 仙台興讓館 022-222-4790  
米沢市役所 (給水広報館) 内 米沢有為会 米沢支部 0238-22-5111(内)9211  
募集要項などは 米沢有為会ホームページ  
くわしいことは <http://www.yonezawa-yuukikai.org/> 米沢有為会 案内

アンケート集計結果グラフ化（アンケートの対象者は大学等に推薦・AO合格者の生徒と保護者）

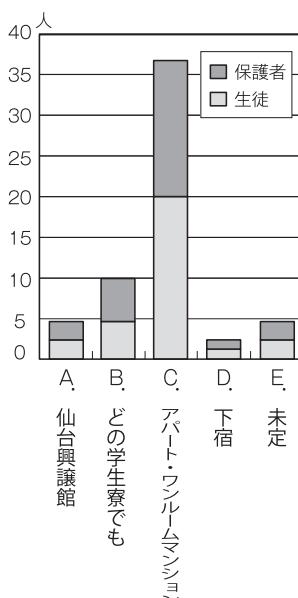
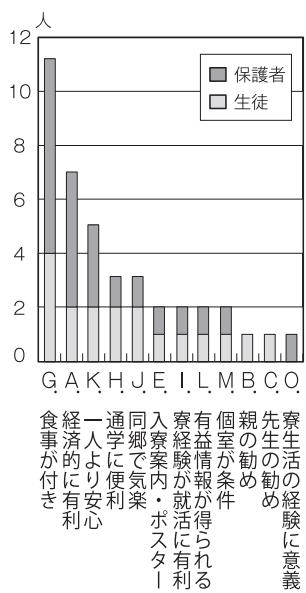
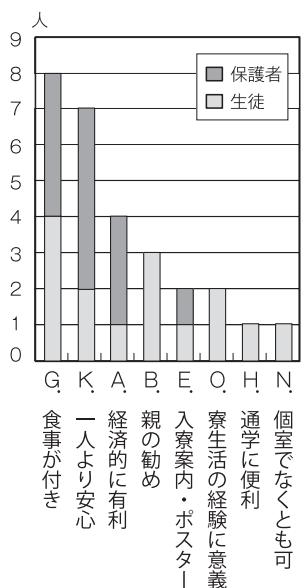
質問1. 東京や仙台の上級学校に進学した場合、どのような「住まい」を希望していますか。

東京興譲館・大学短大の推薦・AO合格者 18名 仙台興譲館・大学短大専門学校の推薦・AO合格者 29名



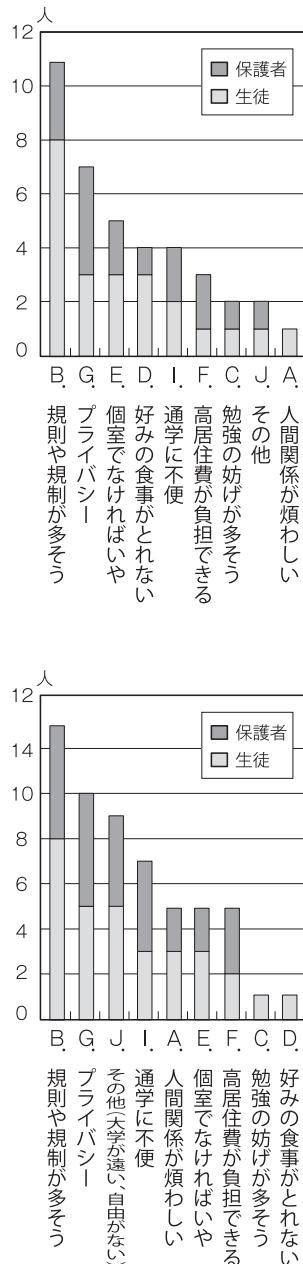
質問2. 質問1でAまたはBと回答した理由を回答群の中から選んでください。いくつ選んでも結構です。

AまたはBと回答した理由を回答群の中から選んでください。いくつ選んでも結構です。

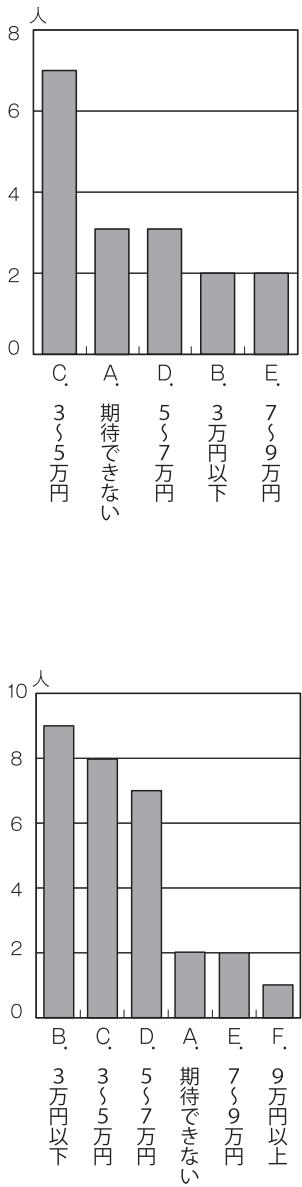


質問3. 質問1でCまたはDと回答された方にお聞きします。

CまたはDと回答した理由を回答群の中から選んでください。いくつ選んでも結構です。



質問4. 仕送りはいくらくらい予定しておられるでしょうか。保護者の方がご記入ください。



## 第一二六回定時総会の報告

公益認定を受け設立登記を行つたことに伴い、旧法人の年度が終了し決算を行い旧監督官庁である文部科学省に報告する必要があるため新法人としての最初の社員総会を開催しました。

公益社団法人米沢有為会としては最初の第一二六回定期総会は、平成二十五年九月二十一日(土)十四時三十分十五時、調布市東京興譲館寮の会議室で開催されました。

議案審議に先立ち、須貝英雄会長よりご挨拶がありました。定款第一四条第二項の規定により会長が議長となつて開会を宣言し、直ちに議事に入りました。多くの議案が審議され、各議案とも原案どおり承認されました。議事の概要及び審議経過は次の通りです。

## 第一号議案 平成二十五年四月から六月までの間の事業・業務報告の件

配布の米沢有為会会報（以下「議案書」という。）記載の「平成二十五年度事業・業務報告」に沿つて平山英三総務部長より報告及び説明があり、採決の結果全会一致で可決されました。

## 第二号議案 平成二十五年四月から六月までの決算及び監査報告の件

議案書記載の「平成二十五年四月から六月までの間の決算報告書」に沿つて、鈴木信之財務担当理事より報告及び説明があり、その後、西澤榮一監事より監査報告があり、採決の結果全会一致で可決されました。

## 第三号議案 理事の増員および一理事の選任に関する件

現在十八名の理事を「一名増員し、選考委員会に推薦された川合勝雄氏及び佐伯雅子氏を選任することを承認した。



## 産業功労賞受賞記念講演

### 『PC開発秘話』

(株)タカハタ電子 専務執行役員  
置賜試験場工業技術振興公会会長

神 尾 潔 氏  
元NECパーソナルプロダクツ  
執行役員常務

日時 平成二十五年六月二十三日(日)午後四時から  
会場 ホテルサンルート米沢 四階

#### 《講演要旨》



今日は、米沢有為会の大きな賞をいただきまして本当にありがとうございます。私は大したことをしていないつもりですが、皆さん方から高い評価をいただいて本当に恐縮でございます。今まで多くの方々がこのパソコンの開

発について話されたこととと思います。けれども伝説は伝説の話として、私が何をしたのか、何ができなかつたのかも含めてお話をさせていただきたいと思います。

『為せば成る』という上杉家の家訓がありますけれども、小さな『為せば成る』をお話ししたいと思います。私は米沢生まれの米沢育ちで、鶴岡高専に進学しました。特に技術者を目指していたわけではなかつたので暇な学生生活を送りました。でも文学少年でしたので日本文学全集を読破するなどして過ごしておりました。悪さをしたりバイト先でもめ事を起こしてはその都度、母が学校などにお詫びに行くということを繰り返している少年でした。けれども、コンピューター概論という学問だけは何故かスッスッスーと全て頭の中に溶け込んでくるような不思議な感覚がありました。

高専を卒業後、長男ということもあり地元の米沢製作所に入社させていただきました。その時、会社には種村さん(現米沢支部副支部長)がおられましたが、はるか雲の上の存在の方で遠くから拝見するだけでしたが、すごい方だな切れ者だなど敬服していたのを覚えております。

私は米沢製作所では金型のメンテナンスや不良部品の

選別、時にはヤスリがけなどもしておりました。油で汚れた作業着のまま帰宅するので、銀行員だった姉にはいつも「油臭いから近寄らないで」と毛嫌いされておりました。

そんな時、世の中が不景気になつてきました。米沢製作所でも人員削減があり、私は率先して、NECに行きたいと申し出ました。NECに派遣され、日本の国家プロジェクトで動いていた、コンピューター基本ソフトウェア開発本部に配属されました。そこではIBMと勝負できるコンピューターを作ろうという気迫が満ち満ちており、単なるモノづくりではなく頭で勝負する、そんな職場でした。必死で学び、必死で働きました。仲間と競い合いながら、徹夜もしました。一年目は何が何だか分からず、二年目はやつと周りが見えてきて、あの先輩のようになりたいという目標が出て、三年目に、ラツキーにも国家プロジェクトの重要な部署の一員に抜擢されました。その後六年間、NEC府中とNEC安孫子にてコンピューター一筋に仕事をさせていただきました。その時私の上司であった酒田生まれの方で東北大學を出られた本間さんという方に多くのことを教えていただきました。初めに出会った恩師であると感じております。その

本間さんが、私が米沢に戻るときに、マイコン制御で行うデジタル表示器という小さなシステムをやつてみなさいよと仕事を持たせてくれました。これが私の米沢でのコンピューター事業の第一歩であり、本間さんには心から感謝しております。

米沢日本電気と社名が変わりました。この時にNECから水戸部知巳さんが初代社長として赴任されました。水戸部さんは山形市出身で、東大を卒業、旧通産省からNECに入られ企画部長を経て米沢日本電気へ来られたのでした。水戸部社長はこれからの地方日電はモノだけ作っていたのでは生き残れない、技術をコアにしてその製品を売つていかなければこれらの地方の工場は生きられないという考えをお持ちでした。私たちはいろんなものを作りいろんなものを試して、府中や安孫子に売り歩きに行きました。そうした中で、NECが苦しんでいたのは、パソコンをデスクトップから持ち運びができるポータブルにしなくてはならないということでした。NEC本体の府中工場でも開発を進めていました。米沢でも試しに作つてみないかと言われ、出来上がったものを府中のものと並べてみると、府中のはデスクトップをベースにしたもの、米沢のはノート型での発想と、はる

## 社団法人 米沢有為会 第125



かに米沢のものが優れていると評価でした。それで米沢において98ノートを開発するに至った訳です。

開発はそんなに難しくはないが、皆が思つたと皆が思つたようです。それはターゲットが明確だったからです。東芝ダイナブック、これを倒すんだと明確な目標

ンターフェイス、ソフトウェアなどが全て頭の中に入っていたので、あとはそれを絵に描いて実行するだけでした。PC開発が大変だったと言うのはあとから作られた伝説ではなかつたかと私は感じています。

製品開発において、ああでもないこうでもない、俺はこう考えるなど皆のベクトルが合わないと良い製品はできませんが、一人一人がターゲットを決め、皆のベクトルを一つに合わせれば良いものができる。さまざまな開発段階を同時並行的に行う開発手法コンカレント・エンジニアリングで効率的に進める、我々は体の中でそれを知つていて実行しただけであり、私はそのセンター・ポジションに居ただけなのです。

この98ノートがNECを救つたということでNECの功績賞の特級をいただきました。日本電気本体以外の人々がこの特級で表彰されるのは初めてのことだそうで、講堂に全役員が列席する中、当時の社長の関本氏から表彰を受けました。その時私は、大いに感激し、なお一層PC開発に邁進しようと志を新たにしたのでした。

その後、米沢で全ての機種を担当することになりました。府中側も何か急ぐ時は米沢に任せれば数か月で出来た。私は十年間ほどPCをやつていて、その回路図や

様を書くとあつという間に製品になつて米沢から出でくる、まるで玉手箱のような感じです。そうして、すべてが米沢で開発するよう自然な感じになりました。

パソコン事業部に配属される新人は全員米沢勤務となり、米沢に居を構えるようになります。そうなると府中本体側も開発拠点を米沢に移そうということになり、多くの技術者が米沢に集まるようになります。米沢がノートパソコンの開発と生産を担う拠点となり、それが米沢のルネサンス時代だったのではないかと思います。

ある日私は突然、「98を首だ、海外をやつてくれ」といきなり言されました。NEC全体で海外事業が全滅し大赤字を出していました。もし米沢で海外PCを成功できなかつたら海外事業から撤退する、というのが当時の関本社長の考え方でした。海外PCを米沢に託す、そのお鉢が私に回ってきたのでした。

私は海外PC開発に向け98から二十名を引き抜きました。そして皆の前で三つのことを話しました。一つは、金はいくらでもある、二つは、納期は無い、三つは、世界一をつくろう、でした。これが地獄の始まりでした。まず英語が分からぬ、それで英会話を習うことになりましたが、その先生がこう言いました。「この英語力の低

さで海外事業をやるという企業は今までありませんでした」と。でも我々には技術は誰にも負けないという雰囲気がありましたから、「技術があれば何とかなるぜよ」と気合を入れ、英語を必死で学びました。

仕様を固めるために、時差で昼夜が逆のボストンと、片言の英語でテレビ会議をし、ファックスのやり取りを夜中までやり、こういうことを繰り返しながら、世界一を目指そうという熱意のもと開発を進めていきました。この製品がバーサ(Verse)となります。アメリカ側も我々も、世界一のものになりそうだという雰囲気を感じてきました。ポスターや雑誌等にどんどん広告を入れ、クリスマス商戦に向けて巨大なプロモーションを打ちました。ところが、納期が十月だったのが、十一月になつても出ない、十二月も、一月になつても出ないです。世界一を目指したスペック(仕様)のハードルが高過ぎてクリアできず、十回に一回はシャットダウンしてしまいうなことが起きるので、製品が出来ず、NECも含めて怒りに変わりました。こういうのはまさに地獄です。物にいじめられるのは慣れていましたが、人にいじめられるのには極力参りました。謝りの連続でした。四か月も毎日やられると、精神的に参ってきて、ネガティブな

ことを毎日考へるなど、どうしようもない辛さがありました。しかし、いつかは出来る訳です。遂に製品が出荷されました。アメリカで第一号機が金曜日に出荷されました。日本では土曜日で私は家におりませんでしたが、いろんな人から家に電話が入り、家にいた母が、海外からの電話を取つてくれました。その言葉は「あなたの息子さんは大変な素晴らしい世界一の製品を開発してくれました。これは売れる、これでNECは挽回できる、その製品をあなたの息子さんが作つてくれた、息子さんによろしく言つてください。」という内容だったそうです。母から、「お前は大したことやつたんだなあ」という、一言をいわれ、私は救われました。母が、私がこういうことをやつたのだということを認めてくれたことが、私の心が晴れるありがたい出来事でした。

そしてこれが世界一になりました。無名だったのです が、デル、コンパックに次いでノートブックの世界シェアが第三位までのし上がりました。赤字も全部解消しました。アメリカやヨーロッパでも、「NEC」といえば「米沢」と言つてくれました。一九九三年、アメリカのベスト・オブ・プロダクツの一等賞を取り、スミソニアン博物館に一年間展示されたのです。

私はいろんなことを学び、得ることができました。一つは、海外に心の触れ合う友人をつくることができました。今でもメールとかでやり取りしています。私の宝です。二つ目は、アメリカで最も迷路で運転が難しいといわれるボストンの街を運転し自由に行つたり来たりできます。三番目は、英語力テストであるTOEICで、米沢がNEC本体に次いで、第二位を取ったことです。グループ会社の中では一位です。四つ目は、PC 98からウインドウズへの切り替えがスムーズにいきました。米沢は海外で製品開発をしていましたので、回路図もバイオスもソフトも何でも有るので、極端な話、筐体とロゴを変えればいいわけです。そのため、この切り替えは三か月半もかかりないで済んだと自負しています。

CPU世界一のシェアを持つインテルという会社があります。その会社に行くため、カリフォルニア州のサンノゼ空港に降り立ちますと、インテルからリムジンで迎えに来てくれ、会議室ではVIP待遇でした。我々が開発したバーサは新しい技術を採用しており、他社の製品が約四千ドルの時、NECのバーサは五百ドル高い四千五百ドルで販売していました。そのくらいのステータスがあり、インテルでも我々の次期機種開発等に期待し、

そのような厚遇をしてくれたのではと思います。

実は私、アップルからオファーがあつたことがあります。ハードウェアとそれを評価する責任者として、そし

て品質保証部門の

担当としての申し

出でしたが、私は

米沢という強い信

念があり、辞退し

ました。でも、今

考へると、もつた

いないことをした

のかも知れません

ね。

それから二〇〇〇

年、大構造改造  
があり、私は事業

部長になりました

た。なぜ俺なんだ

と米沢日本電気の

片山徹社長に聞きました。社長は、



「NECはもうぬるま湯なんだ、これから大変な時にこのぬるま湯から脱却し大構造改革を断行する、これは外の人間であるお前しかできないのだ、お前はNEC群馬と陣地争いをして勝つことだ」と言われました。そうやつてNEC群馬とNEC静岡と拠点主軸争い、これを淡々と進めていく、米沢の職場を守るにはそれをやらなければならぬと言われ、その時初めて米沢の意識というスイッチが入り加速されていったと記憶しています。

事業部長になつて、生産部門の方々との飲み会の時、その生産担当のおばちゃんが私に、「神尾さん、私は何でもやります、頑張りますから米沢を残してください、NECの人には言えないが、神尾さんが事業部長だから言えるのです」と言うのです。またある人は泣いて、「頑張ってください」と言われました。その時私は、米沢のためなら何でもやらなければならぬと強く思つたのを覚えています。

生産システムを研究している岩城宏一氏に、NECのパソコンをトヨタ生産方式でやつたらと提案されました。生産のことなど何も分からなかつた私は、どうすれば良いでしようかと聞きますと、「中国に負けないモノづくりこそ人づくりだ」と言われました。それを皆にも

言いました。そして米沢全員が中国に勝ち生産を残すことを宣言したのでした。

私は、米沢工場を見せる工場に変えていきました。ところがNECの社長から、「何で見せるんだ、工場はマジカル秘なんだ。外に見せるのではなく隠すのだ」といろいろ言わされました。米沢が生きるためここをブランドにしなければならない、見せる工場に変えてこそブランドになるんだと考へ、工場を広範に開放しました。生産が見られる、比較されるんだという意識を持つことから、無言の工場からものを言う工場、生産に携わる一人一人がものを言い改善提案できる工場に変わっていきました。そして十年、一点の傷もない誰も真似のできない生産ラインの風景が出来上がりました。岩城先生の言うことを忠実に守つて傷のない美しい生産ラインに変えていき、それが年間三千人の見学者を招くようになつたのだと思います。その見学者たちはメールとかでお礼をくれますが、生産ラインの賞賛だけではなく、米沢で買って帰った牛肉弁当や酒を美味しかつたと褒めるのです。でも、これも地域貢献の一つだらうと、私は勝手に思つております。

そういう中で、二つの自慢話があります。

傷のない生産ラインは、増産の時、ラインが決まっているのでラインに人を増やすことは出来ず、残業して増産に対応するしかありません。ある時、どうしても増産が必要になりそれに対応するため、生産ラインのおばさん達が夜の一時まで残業をして出荷に間に合わせてくれたことがありました。夫や子供の食事の世話をせず、自分の化粧もボロボロ、腰もガタガタ、それまでして製品を出荷してくれたのです。でもこれには事業部長の私の許可がいるのですが報告されていませんでした。あとから聞いたのですが、「神尾さんに言えやるな帰れと言うに決まっている。でも生産側の私達は出荷することが務めです。ですから自分たちの判断で神尾さんに内緒でやりました。」と。全員が残り、翌朝、何食わぬ顔で全員が出勤してくれたのです。この頑張ってくれた生産ラインの人達がいてくれたからこそ米沢は守られているのだと思づき、ありがたい思いで涙がこぼれました。

もう一つは、生産ラインの改善提案の活動をしてくれたラインのおばさん達三名を、ライバルの台湾のパソコン工場に見学に連れて行きました。米沢とは比べ物にならないほど大きな工場で、社長はじめ役員の方々の歓迎を受け、工場見学をさせてもらいました。そして見学を

終え、感想を言うことになりました。台湾の工場の人々は、「巨大な素晴らしい工場ですね」という賞賛のことばを期待していたのでしょうか。ラインのおばさんは、「この工場は半分になります。あそここのラインをこうすればフロアは半分で済みます。この会社はもつと利益が出る会社になれ」と思っています。

この人は何を言いました。エッ、うんだと社長の顔が変わったのを覚えていました。米沢でラインに携わっている人達はやっぱり自分達のラインをどうすれば

ないラインになっていくのか、それを一人一人が自覚し米沢の生産を伸ばし職場を守る、そういう心が、その感想の言葉に出でていったのではないかと思いました。これが私の自慢というか、工場見学に連れて行って良かったと思い、そしてそのおばさん達に感謝をしています。

最後になりましたが、今日は米沢有為会の産業功労という大変な賞をいただき感謝をしております。この賞に恥じないよう、少しでも米沢の地域に貢献できるよう、努力をしていきたいと思います。

私が米沢製作所に入社して間もない頃、母が私にこう言つたのを覚えてています。「潔よ、小さな会社に入つても、入つたらそこで根を張れ。そこに根をおろしたらいつか枝が出てくるよ。そうすれば太い葉花が咲くんだから。それを、うろちょろしていたら何にもならないぞ。そうして、『米沢製作所の神尾』になれば、お前はそれで全うしたことになるんだぞ。」と。

これからも米沢を誇りに思い、そして、母に感謝してやつていただきたいと思います。

『為せば成る』この言葉が大好きです。  
御清聴ありがとうございました。

よいのか、どこに無駄があつてどうすれば傷の



「私の志」——「十五年度選学生の作文」

数学の研究をしたい

平 駿人

私は、東北大學の理學部數學科で、數字について深く学び、将来的には、数学の研究職に就きたいと考えています。

私は、幼いころから数字が好きで、よくカレンダーを眺めたりしていました。学校の授業では、新しい概念や公式を学ぶたびに新鮮な驚きと感動を覚え、もつと詳しく知りたいと思うようになりました。また、学校では習う事のない数学のことについて、自分でテーマを決めて研究するということが好きで、小さな発見をするたびに、数学は本当に楽しいと感じました。

大学では、数学の知識を少しでも多く身につけると共に、自分の研究テーマを定めて、誰も知らない新たな定理を見つけてやろうという姿勢で研究に励みたいと思つ

ています。そして、将来は、少しでも早く現代の数学に追いついて、数学のさらなる發展に、少しでも貢献できるよう努力したいです。

物理学を学び宇宙の真理に迫る

山口直樹

私は中学生の頃から宇宙の神秘性に興味を持つていきましたが、高校に入つて調べているうちに現代物理学の理論分野を学びたいと強く思うようになりました。相対性理論に始まって、量子論や素粒子論、宇宙論など物理学の最先端を走り未だ完成していない理論もたくさんあります。それらの進展は宇宙の謎の解明につながります。そこで、素粒子論の分野においてノーベル賞授賞者を輩出しており、ヨーロッパの研究機関とも連携を取つている名古屋大学に進学を決めました。私は名古屋大学で物理学を深く学び、そしてその後は研究職に就きたいと考えています。自然現象や宇宙の真理に迫り、誰もが考えるであろう宇宙の神秘的な謎を少しでも解明できる

ような研究者になるために大学入学後もより一層の努力をしていきたいです。

## 医師になり地域医療に従事したい

### 渡邊琢磨

現役の受験時の東日本大震災に医師になりたいと思う気持ちが強くなりました。医師になれば怪我や病気で困っている人を直接的に救えると思ったからです。

医師になる上でまず最初の難関である医学部入試を突破することができ、これより六年間、医療に関する学問を学べるということに期待で胸が膨らんでいます。

六年後の医師国家試験を突破し、医師になつた暁には患者からの訴えによく耳を傾け、それを解決できる力量を持った医師になれるよう多くの中高生の方から技術を教わりたいです。

そうして一人前の優秀な医師となつて、地方へ行き、地域医療に従事することで自分の志である多くの人を救うということを実現していきたいと考えています。

この奨学生三人の志については、面接時に提出いただいたものです。

サブタイトルは編集会議で提案あり、文化広報部長がつけたものです。  
ご了承ください。

### 奨学金貸与制度の変遷

米澤有為会の奨学金貸与制度は、一九二一年（明治44年）四月二十六日に「社団法人米澤有為会貸費規則」を制定し、スタートしました。この年の第一回奨学生は三名でした。戦時中は中断しましたが、戦後一九五三年（昭和28年）に奨学金業務を再開しました。戦後期の奨学生は延べ二百六十名（女性40名）にのぼります。毎年五名程度選考して貸与しており、今年の三名を含め現在十六名に就学援助をしています。

平成二十五年度選学生

No	氏名														出身地	出身高校	在学年	学校名・学部名	
	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
安部高太朗	丸山昂	島貫夏実	宇野大貴	会田俊	松㟢樹	鷹森翔太	高橋朋也	高範	水見優太	南陽市	米沢市	米沢市	神野梓	渡邊琢磨	山口直樹	平駿人	長井市	長井高校	東北大学理学部
米沢市	長井市	米沢市	南陽市	米沢市	米沢市	米沢市	米沢市	ラサール高校	米沢興譲館高校	秋田大学教育文化学部	米沢中央高校	米沢東高校	米沢東高校	東北福祉大学総合福祉学部	東京医科大学医学部	名古屋大学理学部	東京医科大学医学部	東京医科大学医学部	
米沢興譲館高校	長井高校	米沢興譲館高校	南陽市	米沢興譲館高校	米沢興譲館高校	高畠	高畠	高畠	電気通信大学情報理工学部	東北学院大学文学部	白鷗大学法学部	白鷗大学法学部	中央大学法学部	東北福祉大学総合福祉学部	東北福祉大学総合福祉学部	東北福祉大学総合福祉学部	東北福祉大学総合福祉学部	東北福祉大学総合福祉学部	
東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科	東京大学教育学研究科										
大学院2年	大学院2年	大学院2年	大学院2年	大学院2年	大学院2年	大学院2年	大学院2年	大学院2年	大学院2年										

**置賜地区等高等学校卒業生の寄宿舎  
奨学制度利用者4年間推移表**

平成25年9月現在 (総務部調べ)

	H22年			H23年			H24年			H25年			合計(名)			
	東京 興 譲 館	仙 台 興 譲 館	奨 学 金 貸 費													
米沢興譲館	2	1	3	2		3	4	1	3	2	4	2	10	6	11	
米沢東	1				1					1	1	1		2	2	1
米沢工業													1	0	1	0
米沢商業													1	0	1	0
九里学園														0	0	0
米沢中央		1								1				0	1	1
長井													1	1	0	1
長井工業			1										1	0	1	1
荒砥														0	0	0
南陽				1										1	0	0
高畠				1		1								1	0	1
小国														0	0	0
置賜農業														0	0	0
山形東														0	0	0
山形中央														0	0	0
日大山形														0	0	0
山形工業														0	0	0
その他	2				1	1	1	1		3	1		6	3	1	
計 (名)	5	2	4	4	2	5	5	2	5	6	10	3	20	16	17	

## 特集 公益社団法人認定

### 米沢有為会 新たな船出と会員の役割

#### 公益法人移行 一〇年ぶりの改革

公益移行準備委員長  
副会長兼総務部長

平 山 英 三

#### 一、新たな制度への移行

1. 本会は明治二十二（一八八九）年十一月に伊東忠太氏の提案により郷土愛を土台に相互の親睦と切磋琢磨を目的に「有為会」として発足しました。明治二十五年に「米澤有為会」と名称を改め、平成二十五年には創立百二十四周年を迎えます。社団法人としての認可は明治四十二年十二月二十四日に受けました。この明治四十二年には学生寄宿舎を設け、同四十四年には奨学金制度を設けるなど、育英事業や巡回講話などを行いながら、この間多くの先人たちが米澤を初めとする置賜三市五町を中心に、有為な人材の育成に努力してこられました。私たちもその事業を発展させて、後世

に伝えていこうと努力しています。

2. 平成二十年十二月、新しい公益法人制度が施行されました。百十年ぶりの抜本改革です。「民間非営利部門の活動を活発にし、民による公益を増進する」ことを目指したのですが、合わせて公益法人制度に対する国民の批判に答えるとしたものです。そのため、所管官庁制度を廃止して法人の設立と公益性の判断を分離し、登記のみによって設立出来るようにするとともに、客觀性を担保するため公益性の判断を第三者機関に委ねました。国の場合には内閣府の公益認定等委員会、都道府県の場合にはこれに準じる合議機関です。
3. 移行期間は平成二十年十二月一日から同二十五年十一月末日までの五年間とされ、この期間内に公益法人移行の認定を受けるか一般法人移行の認可を受けなければ解散したと見なされます。
- ④一定以上の遊休財産を貯め込んでいないこと、⑤そ

の他理事の報酬や他団体への支配の規制があります。

「ガバナンス」とは、①公益目的事業を行っていく能力と体制があること、②相互に密接な関係のある理事、監事の就任制限があること（三分の一条件）、③

公益目的財産管理についての定款の定めのこと（残余財産分配の禁止）、④その他会計監査人の設置や社員資格喪失条件の定めがあるかどうかです。これらの基準に該当しても一定の欠格条項に該当すれば認定されることはありません。

4. この改正を受けて米沢有為会も平成二十年三月に理事会のもとに公益認定準備委員会を設置して検討を開始しました。法律に示された十八項目の認定基準に適合するように目的・事業（公益目的と非公益目的の区別の精緻化）、会員制度（会員の種別・会費・入退

の定款の改正案につき、内容の変更を伴わない字句の修正を理事会に一任していただきましたが、更に平成二十四年度の総会において一部改正をお願いしました。

## 5. 公益認定審査の状況

改革スタート時点の平成二十年十二月には二万四千の公益法人があり、社団と財團の比率はほぼ半々、国と都道府県の所管別ではほぼ国が二五・二八%、都道府県が七二・七五%でした。移行期間も残り少ない本年八月には、解散を決めた団体が三六〇〇で、残りの二一〇〇〇団体は公益法人と一般法人への移行割合が半々ですが、移行の審査手続きのまだすんでいないものが一五〇〇団体ほどあるとのことです。

### 二、認定申請

1. 平成二十五年三月二十一日、申請書の準備が整い、電子申請による認定申請を行いました。平成二十四年度がまだ終わっていなかつたので二十三年度決算の数字で申請書を作成しましたが、公益認定等委員会事務局（以下「公益事務局」）の担当者から二十四年度決算に基づく数字で申請書を作り直すよう要請があり、急遽二十四年度の決算を作成し、申請書を作り直す作

業を行いました。再度提出した申請書を基に、先方からの方の問い合わせや指摘を踏まえた修正を経て、六月中旬に担当の公益認定委員に対する説明、六月中旬に委員会への付議、六月二十一日には委員会での議決により内閣総理大臣に答申されました。六月二十七日に総理大臣から認定書の交付を受け、これを添えて七月一日に移行設立の登記を行いました。七月十日に移行登記完了届出を提出し、手続きが完了しました。

2. また、これに伴い、公益法人に移行する六月末に年度を閉じることになりましたので、旧法人最後の期間について決算を行い、九月に新法人としての最初の総会を開催してこれを承認し、関係書類を旧所管官庁であつた文部科学省に提出しました。

今後は毎年公益事務局に対し報告を行い、また監督を受けることになります。

### 三 主な審査内容

特に公益事業が不特定多数の利益の増進に寄与しているかどうか、逆に言えば特定の者のための事業になつていなことを証明するものです。

公益目的事業を「公一」、「公二」と表示していくますが、有為会は公一を「育英事業」とし、公一を更に「公」の一「奨学金貸与事業」と「公」の二「学生寄宿舎の設置、管理」とに分けました。

公二の「学術文化施設事業」は、我妻榮記念館の管理運営です。

公三の「教育産業振興事業」は、教育、産業分野の各種功労者の表彰、文化講演会や文化大学です。会誌、ホームページによる普及啓発事業も公三の教育、文化振興事業と位置づけようとしたが、それぞれの事業の一環としての広報と位置づけ、共通事項にしました。一部の事業は調整が付かず法人管理事業扱いとしたものもあります。

#### 2. 公益目的事業比率が五〇%を超えているか否か。

公益事務局による主な審査事項は次のとおりでした。

- 事業内容を公益事業、収益事業、その他の事業に分けて内容を審査し、これらの公益目的事業の比率が五〇%を超えるかどうかをチェックします。

までは奨学貸与金を借り入れによつた場合の金利額を「みなし金利」として申請することも検討しましたが、その必要はないとの指導を受け、申請を取りやめました。

### 3. 収支相償（儲けを出していないこと）

これは一千円の収入に対し減価償却も含めて千四百万円の支出があり、問題なくクリヤしました。しかし、収支差が大きすぎれば今後の事業継続の点から問題が発生することも考えられます。

### 4. 遊休資産の保有制限

一年分の公益目的事業費用以上の遊休資産を保有していると不適合となります。有為会の資産合計は三億八千四百十二万円で、このうち公益目的事業に供している不動産等は二億七千四百八十万円であり、特定資産は一億二百五十万円ですがこのうち七千百二十三万円が奨学金の貸付残高です。以前と比較しますと相対も減り、奨学金以外に使える部分が極端に減少してきています。また、育英資金の積立については制限がありますが、土地、建物についての積立については判断基準が厳しく、東京興譲館、仙台興譲館の舍生による協力金積立が一般的な修繕のための積み立てとして遊休資産になつてしまふことだつたため、具体的な

改修計画を策定することによつて資産取得資金として遊休資産から除外してもらいました。これらの計画はいづれ必要とは思つていたものですが、早急に具体化していくことになります。

## 四、主な変更点

1. 理事会は執行機関と位置づけられ、これまでの三十名の理事は多すぎると指摘され、新法人の理事は十三名以上十五名以内に、監事は三名以内になりました。役員の選任方法も開かれた合理的な方法によることが必要です。そのため既に役員選考規程を整備し、平成二十三年の役員選任時から実施しています。二十五年九月の総会でもこの手続きにより二名の理事を追加選任し一五名体制としました。
- この役員選考委員会における理事候補選考の基準は、①理事会に出席できること、②理事としての役割が分担できること、③会員の構成を代表するものであること（言い換えれば「男女別、出身高校、出身地域、所属支部」等の観点から見てバランスを考慮したものであること）④人格・見識に優れていることとなつてています。

2. これまで出席として扱われた理事会の代理出席、委任状の提出は、上記の理由で出席の扱いが出来なくななりました。

3. 会員制度を見直し、通常会員と特別会員を正会員に一本化しました。これに伴い会費制度も財政状況を踏まえた見直しを行い、正会員の会費を七千円としました。検討の経過では会費は五千円とし別途三千円の寄附を義務付けるという案もありましたが、寄附を義務付けることは適当でないとの意見から七千円となりました。これまで会費が三千円であった通常会員にとっては負担増が大きく、やむを得ず退会する方も出るのではないかという意見があり、その受け皿としてこれまで団体にのみ設けていた贊助会員を個人にも広げ、個人贊助会費を三千円としました。

4. 基本財産である「教育基金」については、財団法人の基本財産と紛らわしいこと、現在では金額が小さいことなどから、基本財産ではなく、特定資産の教育基金に変更しました。これは旧法人最後の決算で整理を行いました。

## 五、税制上の優遇措置

- 個人所得税 公益認定を受けた法人はこれまで特定の事業について個別に認められていた公益増進法人の扱いが認められ、個人が当会に寄附した場合、所得税について、これまでの寄付金額から二千円を引いた額を所得から控除できる「所得控除」が受けられます。また、新たに設けられた「税額控除」を選択することができます。この税額控除は、寄付金額から二千円を引いた額の四割を税金額から控除するものです。この税額控除を受けるためには公益認定等委員会の証明を受ける必要があり、現在この税額控除に係る証明取得の手続きを進めています。
- 都道府県又は市区町村が条例により指定した寄附金（公益法人に対する寄附金等）は、一定の金額が個人住民税の額から控除されます。現在、調布市からこの指定を受けています。
- 相続税 個人が相続財産を公益法人に贈与した場合、限度額まで非課税となります。
- 法人所得税 法人が当会に寄附した場合、損金算入の措置が出来ますが、公益法人に対する寄附について

は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、追加の損金算入限度額が設けられています。

4. 当会の行う公益目的事業については、これまでどおり非課税の扱いが受けられますが、収益事業の収入についても公益目的事業に繰り入れればみなし寄付金として非課税扱いを受けられることになります。

## 六、今後の検討課題

今後の主な検討課題は次の通りです。

1. 公益社団法人米沢有為会の財産は会員です。これらも有為の人材を育てていくためには、これまで育英事業に尽力された会員一人一人が、その意義を周りの人々に伝え、会員になつていただくことが大切です。今回の会員制度の移行にともない、現在会員の移行登録をお願いしましたが、高齢化もあってか会員の減少が見られます。大幅な減少があれば今後の会の運営に支障が出ることも考えられます。これまでの普通会員の方にも積極的に正会員への登録をお願いするとともに新しい会員の獲得にご尽力いただきたいと思います。

そのために各支部毎に有為会の目的達成のために邁進するとともに、親睦を深めて活動の裾野を広くして後

進の育成に努力していきましょう。

2. 「公益目的事業の一」は、当初「学費の給貸与」としていましたが、「給費型奨学金は過去にも実施したことがない、今後も実施するのか未定であれば削除せざるを得ない。今後実施する際に変更届を出し、変更認定を受けたい。」との指摘を受け、「給貸与」を「貸与」に変更しました。今後、給費型奨学金を開始する時には追加申請が必要となります。（注：新定款の目的の条文では「給貸与」のままになつていますので、開始する際の定款の改正は不要です。）

平成二十三年の奨学金検討委員会による検討の中で「給費型奨学金」の可能性についても検討し、時期尚早とされました。が、近い将来の課題として、例えば百三十周年事業の一環として取り組んでいくことも考えられます。

3. 百二十周年事業として東京・仙台両興譲館の大規模改修を行いました。振り返ってみれば東日本大震災前にしたタイミングでの改修であつたと思います。舎生の皆さん方が積み立てている協力金を遊休資産としないため、両興譲館の改修とのための資産取得積立としました。この資産取得積立は具体的な改修計画が前提になつ

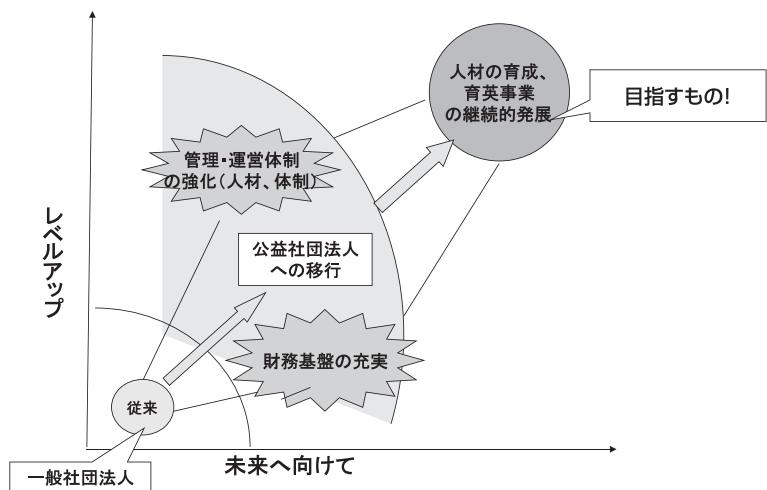
ていますので、とりあえずの計画を作りましたが、寮の建物の保全管理について今後どのようにしていくのか、また築後相当年数を経ている我妻築記念館をどのように維持していくのか抜本的な検討が必要です。

4. 現在の特定資産の対象とされている公益目的事業についての指摘がありましたので、一部資金の対象事業を整理する必要がありました。旧法人最後の決算で整理を行いましたが、今後最適な資金運用を検討していく必要があります。

5. 今後も、この公益認定を維持していくためには今回とほぼ同じ量の更新作業が必要です。また、事務処理を改善して、公益事務局の監督に対応していく必要もあります。そのためには現在の週二日の事務局体制では足りず、体制強化が不可欠です。また、そのための財政基盤を確保する必要からも、会員の増強と優遇制度を生かした寄附金の獲得に努力していきます。よろしくご協力ください。そのためにもパンフレットや入会の葉の作成を急いでいます。

今後も力を合わせて公益社団法人米沢有為会の未来を切り開いてゆきましょう。

## 米沢有為会の将来展望：ロードマップ



# 公益社団法人米沢有為会定款

## 第二章 目的及び事業

### (目的)

第四条 この法人は、育英事業その他の学術及び文化の振興等に関する事業を行い、置賜地方（米沢市、長井市及び南陽市並びに高畠町、川西町、小国町、白鷹町及び飯豊町）に関わる有為な人材の育成及び地域の福利の増進に寄与することを目的とする。ただし、政治上の事柄に関与しないものとする。

### (事務所)

第二条 この法人は、主たる事務所を東京都調布市に置く。

2 この法人は、理事会の決議によつて、従たる事務所を必要な地に置くことができる。

### (支部)

第三条 この法人は、理事会の議決を経て、必要な地に支部を置くことができる。

2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

### (事業)

第五条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

#### (1) 学資の給貸与

#### (2) 学生寄宿舎の管理運営

#### (3) 学術文化施設の管理運営

#### (4) 教育奨励及び振興に関する事業

#### (5) 産業振興に関する事業

#### (6) 学術文化振興に関する事業

#### (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は日本全国において行うものとする。

### 第三章 会員

#### (法人の構成員)

第六条 この法人は、次の会員から構成する。

- (1) 正会員 この法人の事業に賛同して入会した個人
- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するため入会した個人又は団体

- (3) 名譽会員 この法人に対し特に功労あつた正会員で、理事会が推薦した者

2 前項の会員のうち正会員をもつて一般社団法人及び一般財團法人に関する法律(以下「法人法」という。)上の社員とする。

#### (会員資格の取得)

第七条 この法人の会員になろうとする者は、本会会員の紹介の上、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。

#### (経費の負担)

第八条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充

てるため、会員は、理事会が別に定める会費を支払う義務を負う。

#### (任意退会)

第九条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

#### (除名)

第一〇条 会員が次のいずれかに該当するに至つたときは、総会の決議によつて当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

#### (会員資格の喪失)

第一条 前二条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至つたときは、その資格を喪失する。

- (1) 第八条の支払義務を二年以上履行しなかつたとき。

(3) (2) 正会員の全員が同意したとき。

当該会員が死亡し、又は解散したとき。

(開催)

第一四条 総会は、定時総会及び臨時総会の二種とする。

第一条 定時総会は、毎事業年度終了後三か月以内に一回開催する。

2 臨時総会は、必要がある場合に開催する。

(構成)

第一二条 総会は、すべての正会員をもつて構成する。

2 前項の総会をもつて法人法上の社員総会とする。

(権限)

第一三条 総会は、次の事項について決議する。

(1) 会員の除名  
(2) 理事及び監事の選任又は解任  
(3) 理事及び監事の報酬等の額

(4) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)

の承認

(5) 定款の変更

(6) 解散及び残余財産の処分

(7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(議長)

第一七条 総会の議長は、会長がこれに当たる。

(議決権)

第一八条 総会における議決権は、正会員一名につき一個とする。

## (決議)

第一九条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であつて、総正会員の議決権の三分の二以上に当たる多数をもって行う。

## 会員の除名

## 監事の解任

## 定款の変更

## 解散

3 その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第一項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第二十二条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

## (議事録)

第二〇条 総会の議事については、法令で定めるところ

により、議事録を作成する。

2 役長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第五章 役員

## (役員の設置)

第二一条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 十三名以上十五名以内

(2) 監事 三名以内

2 理事のうち一名を会長、一名を副会長とする。

3 前項の会長及び副会長を法人法上の代表理事とする。

## (役員の選任等)

第二二条 理事及び監事は、総会の決議によつて選任する。

2 会長及び副会長は、理事会の決議によつて理事の中から選定する。

3 この法人の理事のうちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理

事総数（現在数）の三分の一を超えて含まれることになつてはならない。

- 4 この法人の監事には、この法人の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及びこの法人の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があつてはならない。

#### （会長及び副会長の職務及び権限）

- 第二十三条 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 二 副会長は、会長を補佐し、会務を処理し、会長が事故あるときは、その職務を代行する。

#### （理事の職務及び権限）

- 第二十四条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

#### （監事の職務及び権限）

- 第二十五条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の

報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

#### （役員の任期）

- 第二十六条 理事の任期は、選任後二年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後二年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 3 补欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

- 4 理事又は監事は、第二一条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

#### （役員の解任）

- 第二十七条 理事及び監事は、総会の決議によつて解任することができる。

## (報酬等)

第二八条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、別に定める規程により交通費等の実費を支給することができる。

## (名誉会長)

第二九条 この法人に名誉会長を置くことができる。

2 名誉会長は、理事会の議決を経て、総会において推戴する。

3 名誉会長は、本会の運営に関する会長の諮問に答へ、又は会長に対し意見を述べることができる。

4 名誉会長は、無報酬とする。ただし、別に定める規程により交通費等の実費を支給することができる。

## (諮問委員)

第三〇条 この法人に、四十名以内の諮問委員を置く。

2 諮問委員は、次の職務を行う。

(1) 会長の相談に応じること

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 諮問委員の選任及び解任は、理事会において決議す

## (権限)

第三一条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもつて構成する。

3 理事会の議長は、会長とする。

## (構成)

## 第六章 理事会

4 諮問委員の任期は、二年とする。ただし再任を妨げない。

5 諮問委員は、無報酬とする。ただし、別に定める規程により交通費等の実費を支給することができる。

第三三条 理事会は、会長が招集する。

(決議)

第三四条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、法人法第九六条の要件を満たしたときは、理事会の決議があつたものとみなす。

(議事録)

第三五条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び副会長並びに監事は、前項の議事録に記名押印する。

第七章 資産及び会計

(事業年度)

第三六条 この法人の事業年度は、毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第三七条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調

達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第三八条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第一号及び第二号の書類についてはその内容を報告し、第三号から第六号までの書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書  
貸借対照表

(3) 損益計算書（正味財産増減計算書）

(4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）  
の附属明細書

## (6) 財産目録

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に五年間、また、従たる事務所に三年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に、社員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

## (1) 監査報告

## (2) 理事及び監事の名簿

## (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

## (公益目的取得財産残額の算定)

## 第三十九条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第四八条の規定に基づき、

毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第二項第四号の書類に記載するものとする。

## (基金)

第四〇条 この法人は、基金を引き受ける者の募集をす

ることができる。

2 抛出された基金は、この法人が解散するまで返還しない。

3 基金の返還の手続については、法人法第一三六条の規定に従い、基金の返還を行う場所及び方法その他の必要な事項を清算人において別に定めるものとする。

## 第八章 定款の変更及び解散

## (定款の変更)

第四一条 この定款は、総会の決議によつて変更することができる。

## (解散)

第四二条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

## (公益認定の取消し等に伴う贈与)

第四三条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）に

は、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該

合併の日から一箇月以内に、公益社団法人及び公益財

団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）

第五条第一七号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

#### （残余財産の帰属）

第四四条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、認定法第五条第一七号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

### 第九章 公告の方法

#### （公告の方法）

第四五条 この法人の公告は、官報に掲載する方法により行う。

- 2 この法人の最初の会長は須貝英雄、最初の副会長は平山英三、最初の理事は梅津幸保、貝沼孝二、加藤國雄、甲國信、小山泰、鈴木信之、佐藤毅、種村信次、手塚修、沼澤研一、米野宗禎とする。
- 3 一般社団法人及び一般財團法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律第一〇六条一項に定める特例民法法人の解散の登記と、公認法人の設立の登記を行つたときは、第三六条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

附則（注：登記の日は平成二十五年七月一日です。）

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財團法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第一〇六条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

## 公益社団法人米沢有為会定款細則

第一条 公益社団法人米沢有為会（以下「本会」という。）に次の四部を置く。

- (1) 総務部
  - (2) 育英事業部
  - (3) 文化広報部
  - (4) 地域振興部
- 2 部には部長を置き、理事のうちから会長が委嘱する。

第二条 各部に参考を置く。

- 2 参事は二十名以内とし、その任期は一ヵ年とする。
- 3 参事は前条の各部に分属しその事務を処理する。

第三条 本会に教育委員若干名を置く。

- 2 教育委員は理事会において会員中よりこれを選任し、その任期は二ヵ年とする。
- 3 教育委員は育英上重要な事項を審議する。

第四条 本会に産業振興委員若干名を置く。

- 2 前条第二項の規定は産業振興委員に準用する。
  - 3 産業振興委員は産業振興上重要な事項を審議する。
- 第五条 この法人に相談役を置くことができる。
- 2 相談役は、会員のうちから理事会の議決を経て総会において推举する。
  - 3 相談役は、この法人の重要な事項について会長の諮詢に応ずる。
- 第六条 会員の年会費は毎年七月末日までに納入するものとする。
- 2 会員それぞれの年会費は次のとおりとする。
- |          |       |
|----------|-------|
| 正会員      | 七千円   |
| 賛助会員（個人） | 三千円   |
| 賛助会員（団体） | 一万円以上 |
- 第七条 新たに会員にならうとする者は本会員の紹介により書面を以て入会の申込をしなければならない。

部の適宜としてこの規則は会長の承認を得なければならぬ。

## 附則

1 この規則は昭和四十八年二月八日から施行する。

## 改正附則

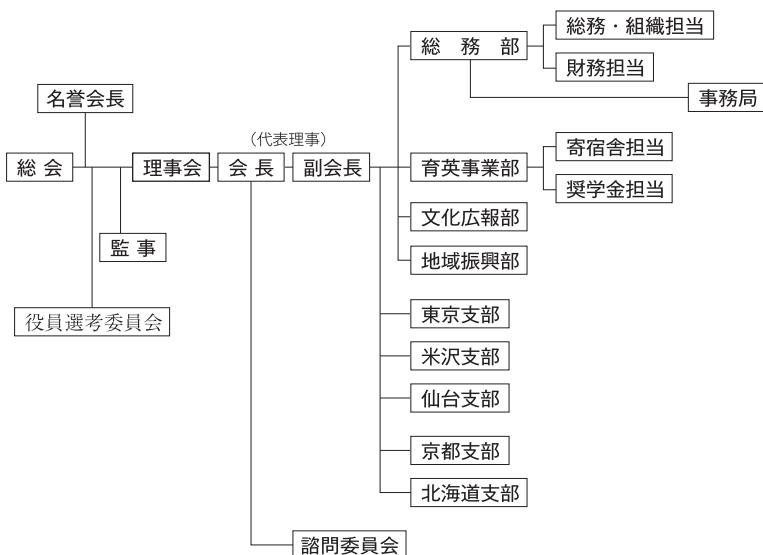
1 改正後の規定は、平成十五年六月二十一日から施行する。

1 改正後の規定は、平成十八年六月十七日から施行する。

- 1 この定款細則は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第一〇六条第一項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。（注：登記の日は平成二十五年七月一日です。）
- 1 改正後の規定は、平成二十五年八月二十六日から施行する。

## 新定款における組織一覧図

(意思決定し業務執行を分掌する理事会体制)



## 置賜各市町長のメッセージ

### 米沢市

米沢市長 安 部 三十郎

本市の市制施行と同じ明治二十二年に結成以来、わが国育英奨学団体の草分け的存在として、置賜地方出身者の福利厚生を図り、時代の要請に応える優秀な人材の育成に寄与された米沢有為会が、この度、公益法人として新たなスタートをきられたことに対し、大きな期待を寄せるとともに、これまでの御努力と御支援に心から敬意を表します。

本市では、次代を担う青少年が心身共に健やかに成長することを願い、青少年の健全育成のため、各種講座の開催、中学生・高校生の海外派遣、青少年補導委員による街頭補導を行つております。

また十一月には、『青少年の環境を考える日』運動を推進し、家庭や地域社会のあり方を見直して、青少年にとって良い環境づくりを進めるため、家庭・学校・地域・企業がそれぞれの役割を果たしながら連携を深める

とともに、米沢市青少年育成市民会議と本市教育委員会共催の米沢市青少年育成市民大会では、毎年多くの関係者が一堂に会し、「育てよう 米沢の心」をテーマとして青少年健全育成への意識高揚を図り、青少年自らが多くの大人を前にして、健やかな日常生活の様子や自分が関わる活動の成果について語る意見発表の場は、いじめ・非行を許さない強い意志を表明する素晴らしい機会となっております。

本市においては、今後も青少年の健全育成に向けて、家庭でのしつけや大人の生活を見直すことによる健全な家庭づくりや有害図書類等の自動販売機撤去運動及び新たに設置させない運動、家庭、学校、企業、地域が一体となった運動を進めてまいります。

最後になりましたが、公益社団法人米沢有為会のますますの御隆盛と会員各位の御健勝を心から御祈念申し上げ、公益法人化にあたつてのあいさつとさせていただきま

## 長井市

長井市長 内 谷 重 治

このたび、米沢有為会が新たに公益社団法人として事業を開始されましたことを心からお慶び申し上げます。誠におめでとうございます。

米沢有為会は、郷土愛を土台に相互の親睦をはかり、一切磋琢磨ることで共存共栄をはかるうと明治二十二年創立されました。以来、会員の親睦を柱として、郷土出身者の育英事業や、郷土の文化・産業の振興にご尽力されてきましたことに対しまして、深く敬意を表しますとともに、関係各位のご労苦に心から感謝を申し上げます。

長井市では、まちづくり青少年育成市民会議

子ども

会育成会連絡協議会において、青少年育成のための各種事業に取り組んでいます。まちづくり青少年育成市民会議では、子ども達が日頃の地域活動について自分で考え

## 南陽市

南陽市長 塩 田 秀 雄

といった、市全域の子どもを対象にした事業も行っています。さらに、地域のリーダーを育成するため、ジュニアリーダーセミナーを開催しています。長井市ではこれらの事業を通して、青少年が自ら判断し行動していくよう、これからも支援してまいります。そして、将来、彼らが自らの判断で進むべき道を決め目指すときに、有為な人材を育成、輩出してこられた貴会のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、米沢有為会が新公益法人となられたことを契機に、より一層団結され、今後ますます発展されますこと、並びに会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

発表する「長井の心を育む少年活動発表会」を、また、「少年議会」では、子どもの目線でまちづくりへの提言を行い、積極的にまちづくりへの仕組みづくりを展開しています。子ども会育成会連絡協議会では、地区ごとの子ども会活動を支援するだけではなく、「あなたがNo.1選手権大会」「子ども会交流ドッジボール大会」

米沢有為会の新公益法人発足、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。貴会の育英事業を中心とした人材育成と置賜地方の振興発展への取り組みに對し、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、南陽市では、人材育成こそ確かな未来への財産

と考え「教育日本一のまちづくり」と「日本一人の人づくり」を積極的に進めております。特に、若い世代をターゲットにした「青年教育」に力を注いでおり、学習と仲間づくりを通して、地域に根差し、地域の課題に向き合う実践力のある青年の育成と、全国に誇れる南陽の人づくりを目指しています。

今や、この事業を経て成長した多くの青年たちがそれぞれの地域に根を張り、人と人、人と地域のつながりの大切さを実感しながら、多彩なまちづくりの担い手として、ふるさとの自信と誇りを抱き始めていることに、私自身も大いに頼もしさを感じております。

当市が目指す「教育日本一によるまちづくり」は、單なる学力のみではなく、次代のふるさとを支え、南陽市を愛する知・徳・体にすぐれた人間教育であり、特に、若い世代にこそ、浸透させていかなくてなりません。

「教育日本一」を着実に進め、南陽市のみならず、置賜地域の夢と希望と協調による協働のまちづくりに、今後ともまい進してまいりますので、貴会におかれましては、有為会発足の精神のもと、将来地元で活躍する多くの人材を育てるために今後なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、米沢有為会の新公益法人発足を契機として、今後さらなるご発展と会員皆様のご活躍をご祈念申し上げ、あいさつといたします。

## 高畠町

高畠町長 寒河江 信

公益社団法人 米沢有為会の発足、誠におめでとうございます。

貴会は、明治二十二年に伊東忠太先生をはじめとする六名の有志によって設立されて以来、有為な人材の育成・輩出をするとともに、置賜地域の教育文化の中心として教育振興に大きく貢献されてこられました。

これもひとえに、歴代の支部長、役員の方々のご努力と会員の皆様の教育に対する深いご理解とご協力の賜物と心から敬意を表する次第でござります。

近年の社会情勢に目を移せば、犯罪の凶悪化や犯罪者の低年齢化などの傾向は顕著であり、子供が巻き込まれる心の痛む事件も多発しております。

物や生活が豊かになつた反面、心や精神がすさんでいる現状に対応し、心安らぐ、秩序ある社会形成に向けて

あらゆる立場からの取り組みが急務であると言えます。

また、地方自治体を取り巻く環境は、誠に厳しい現状にあります。高畠町では、行政改革、行政需要の多様化・高度化そして、健全財政の堅持など、多くの行政課題に取り組み、第五次高畠町総合計画に掲げた「すべての命を大切にし、いきいきと輝くまち」の実現に向けてまほろばの里づくりを進めているところです。

このような情勢の中ではありますが、今後も貴会の育英事業のご発展を心からご期待申し上げますとともに、置賜地域の子供たちの豊かな未来を築くため、貴会のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして祝辞といったします。今回は、誠におめでとうございます。

## 川西町

川西町長 原 田 俊 二

米沢有為会の新公益法人発足、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

さて、本町では、川西町青少年育成町民会議を中心として青少年育成に取り組んでおります。当該町民会議は、率先実施団体である川西町青少年育成推進員会（各

地区より一名ずつ合計七名）のほか、青少年育成に関係する団体の代表者、児童施設、小・中学校の代表者及びPTA関係者など、青少年の健全育成を願い活動している方々七十三名で構成されています。

「子どもは家族の鏡、子どもは社会の鏡、子どもは親の鏡」と言われます。社会全体の規範意識の低下が昨今の青少年問題に大きな影響を与えており、親や大人が自らの生き方を見直しながら、青少年の健全育成活動に取り組んでいかなければなりません。このようなことを意識しながら、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を始め県や置賜地区の研修会やキャンペーン等の活動に積極的に参加しています。また、独自の活動として、川西町青少年育成町民会議研修会や川西町小学生新春書初め大会、高畠町との青少年育成推進員合同研修会、さらに各地区における子ども体験活動の指導などを行っています。今年度新たに始まった重点事業「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動については、川西夏まつりの巡視活動や家庭教育講座の中で併せて啓蒙啓発活動を実施しています。防犯やいじめ・非行防止の標語募集や少年の主張大会などでは、子どもたちが自ら考え、大人と意識を共有することにより、心身とも健やかで人間

性豊かに成長するよい機会であり、今後も学校、地域、家庭が連携しながら活動していきたいと思います。

最後になりましたが、米沢有為会の皆様の活動におかれましては、長きにわたり地域の青少年育成、教育文化産業の振興等に尽力されており敬意の念に堪えません。今後、置賜全域に活動の輪が広まれば、置賜地区の青少年育成活動においてこの上なく力強いものとなると期待しております。

## 小国町

小国町長 盛田信明

このたび、米沢有為会が新公益法人として発足されましたこと、誠におめでたく、心からお喜び申し上げます。さて、本町における青少年育成については、心豊かでたくましい子どもを、学校、地域、家庭という社会全体で育てることを大切にしています。

そのひとつ取り組みとして、五月から十月の毎月第三週には、各学校やPTA、小国警察署などの関係機関が連携し、「あいさつ運動」を展開しています。通学、通勤時間帯に、「おはようございます」と、大人も子ども元気にあいさつを交わしています。

また、学校が休みとなる土曜日、日曜日などには、主に小学生を対象とした「白い森子ども体験教室」が行われています。これは、町内の社会教育関係者等で組織した「小国町地域教育力・体験活動推進協議会」が中心となり実施しているものです。子どもたちは、小国町の豊かな自然環境をフィールドにして、様々な体験活動に挑戦していきます。小国町に残る生活文化や伝統技術などにも触れながら、その知恵を吸収し、地域のかたがたとの交流を深めています。

地域コミュニティが希薄化してきているといわれる昨今ではありますが、町では、こうした取り組みを通じて、子どもと大人とが関わりを持つ機会、さらには他の世代との交流を深める機会を創出しながら、青少年健全育成を推進する関係団体が相互に情報を共有し、効果的な活動の推進につなげ、次代を担う子どもたちを育成していくことを考えております。

結びに、米沢有為会の益々のご発展、並びに会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

## 白鷹町

白鷹町長 佐 藤 誠 七

米沢有為会が新たに公益社団法人として発足されましたこと、誠におめでたく、心からお喜び申し上げます。

変化の激しいこれから社会において、次代を担う青少年の「生きる力」をバランスよく育んでいくために、本町では、平成二十四年三月に策定された白鷹町生涯學習振興計画に基づき、青少年関係団体や学校、地域との連携強化による健全育成のための交流を通した事業を開いています。また、本町の未来を担う人づくり、まちづくりにつなげていく「白鷹人（しらたかびと）育成推進」の重点プロジェクトとして、青年層の教育、活動支援にも力を入れています。

青少年育成への主な取り組みについて、交流を通して事業の一つとして、「小中学生交流事業」を実施しています。この事業は、本町の観光友好都市である気仙沼市や、かつて姉妹都市を提携していた新潟県長岡市柄尾地区の子どもたちと本町の子どもたちがスポーツを通して交流するもので、スポーツのレベルアップを図るだけでなく、次代を担う子どもたちのコミュニケーション能力の向上などを目的として実施しています。

最後になりましたが、米沢有為会の益々のご発展、並びに会員皆様のご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。

また、「白鷹人育成推進」の重点プロジェクトの一つとして、「しらたか夢未来発掘事業」を実施しています。この事業は、人材育成となる事業を企画提案し、継続的に活動に取り組むグループに対し活動経費を助成するもので、まさに、町を愛し、町の活性化のために頑張る「白鷹人」育成のためのプロジェクトとして実施しています。



## 飯豊町

飯豊町長 後 藤 幸 平

このたび、貴会が新たに公益社団法人 米沢有為会として発足されることは、誠に意義深いことであり、心からお祝い申し上げます。

創立百二十四周年を迎えた貴会の育英事業並びに学術及び文化の振興に関する事業の歩みは、置賜の教育振興の歴史とも言える尊く貴重なものであります。

さて、飯豊町は、本年、町制施行五十五周年を迎え、町民憲章にある「健康・交流・創造」を合言葉に、「若い力と個性を伸ばし、世界に目を向け教養を高め、希望と文化のまちづくり」のため、町民と語り合い、共に知恵を出し合いながら鋭意努力しております。

次代を担う青少年育成への取り組みは、町の重要な施策であり、教育委員会まちづくり室を町民総合センターに設置し、多様な活動を支援しております。

また、総合型地域スポーツクラブを創設し、町民スポーツセンターに事務局員を配置し、スポーツを通した活動の支援にも取り組んでおります。

特筆すべき活動としては、若者主体で運営する「にぎわい再現プロジェクト委員会」活動があります。今年で

五年目を迎える委員会は、毎年、主要なテーマを設け、地域の活性化や多様な青少年活動を積極的に行っている県内外の団体や自治体について、事前調査を行い、視察研修先では体験カリキュラムを企画・実践し、研修後は全員でリポートをまとめ、町報で町民に研修報告を行うなど、これまでにはなかつたユニーラクで実践型の活動を行っております。また、中津川のP-TANなどもユニーカな取組みを行っております。

結びに、貴会の更なるご発展、並びに会員皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



# 我妻榮記念館だより

三代館長 伊藤和夫（平成二十年六月～二十一年五月）  
四代館長 上村勘二（平成二十一年六月～）

我妻榮記念館は、民法学者我妻榮先生の生家を記念館としたものです。先生は明治三十年米沢市鉄砲屋町（現在の中央三丁目）に生れ、十七歳で旧制第一高等学校に入学されるまで過ごされました。明治期に建てられた木造一部二階建の貴重な建物です。

大正六年の米沢大火には、父上の又次郎先生（自雷様）の教え子達（米沢中学校生徒）の消防活動で類焼を免れました。我妻家が市内他所に引越しされ、大友家が買って受けた昭和六十三年まで七十年間住み、県外に転居されました。その後、市内の建築業者に渡りました。

老朽建設物で解体の予定でしたが、我妻榮先生の生家であることが分かり、維持保存の機運が高まり、平成元年米沢有為会創立百周年の節目に、我妻榮旧宅取得が了承されました。

建物等の整備と遺族からの寄贈品を整理展示し、平成四年六月十九日に開館しました。

初代館長 松野良寅（平成四年六月～十四年五月）  
二代館長 今田久夫（平成十四年六月～二十年五月）

## ○平成二十四年度の運営報告

・年間開館日 毎週金曜日は午後一時～四時、月曜日は午前十時～午後四時まで開館

・入館者数 四八六名（二十三年度は二三三一名）

市内小学生の来館者が増加

・記念館の利用 三五三名（二十三年度は三六七名）

米沢有為会米沢支部及び上杉鷹山公と先人を顕彰する会、鉄砲屋町町内会等が利用

・開館二十周年記念事業（二年時）

①記念講演会・記念祝賀会（平成二十四年六月三十日）

会場：伝国の杜・聴衆約百名・城史苑

講師：我妻堯名監修長、演題「息子から見た我妻

榮」、講演記録は有為会誌復刊第六十二号

②冊子「故郷を愛した民法学者 我妻榮先生」刊行

市内小学生五・六年生約二〇〇〇名に説明して配布、置賜管内小学校・県内公立の図書館に配布

羽陽印刷二、五〇〇部印刷

③DVD「民法一筋に生きた我妻榮」（二十分版・十

- ・ 分版）制作、NCV放映（十一月十六日）
- ・ CCSスタジオ・HPC制作
- ・ 室内掲示物の整備（年表移動、掲示パネル四枚）
- ④ 小泉創芸制作・取付
- ・ 耐震診断（市役所建築課）基礎と上部の補強が必要
- ・ 補修整備
- ・ 雪廻い、雪降ろし、ウコギ垣根修繕・刈り込み・植栽、台所の蛍光管スイッチ増設工事、樹木の剪定・消毒
- ・ 備品購入
- ・ 除雪機、カーテン、ガソリン缶
- ・ 印刷出版
- ・ 記念館だより第十七号発行（十月二十五日）
- ・ 資料（写真・手紙）のデジタル化
- ・ その他
- ・ 県立米沢興譲館高校の自頼財団奨学生と保護者の清掃奉仕と館長講話（六月二十四日）
- ・ 運営会議（十月二十一日、三月二十二日）
- 平成二十五年度の運営計画
- ・ 利用者拡大を図るため、七月から開館日を月木金日の四日間午後一時～四時に変更
- ・ 開館二十周年記念事業（二年目）

- 記念館の運営体制
- 平成四年の開館以来、館長・事務局長・管理人を置き、管理運営しています。
- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 名譽館長    | 我妻 堯               |
| 顧 問     | 小関 薫               |
| 館 長     | 上村勘二               |
| 事務局長    | 鈴木幸一（二十五年五月まで）     |
| 担当理事    | 小林伸一（二十五年六月～）      |
| 管理人     | 小林秀一、手塚 正（二十五年七月～） |
| 運営委員    | 遠藤 拓               |
|         | 安部 敏               |
|         | 五十嵐京子              |
| 高橋節子    |                    |
| 本多和彦    |                    |
| 佐藤 繁    |                    |
| (二十五年度) |                    |



上段の間に設置したパネル



## ○我妻榮記念館略史

**平成元年九月** 有為会創立百周年記念事業として、我妻

榮生家を購入決定し、四千万円を目標に募金活動

**平成四年六月十九日** 記念館開館

名譽館長 我妻堯氏、初代館長 松野良寅氏

初代管理人 神田倉一氏

・開館日は毎週火・木・金曜日

・六月二十一日 開館記念式典（置賜総合文化セン

ターラー）

記念講演 我妻堯名譽館長「米沢と我妻榮」

平成五年九月五日 第一回火種壇講話会

鷹山公と先人を顕彰する会始まる（奇数月第一日曜

日）

**平成七年六月** 自頬獎学生親子で清掃奉仕開始

**平成九年** 我妻榮生誕百周年記念事業

・記念館の整備充実

・「我妻榮－人と時代」刊行

記念講演会（置賜総合文化センター）

・十月二十五日 講師 我妻堯・唄孝一・遠藤浩・松野良寅

・特別展－十月二十四日～二十九日（市民ギャラリー

ドリーム）

**平成十二年三月** 「我妻榮記念館だより」 創刊

**平成十四年** 開館十周年記念行事

・六月三十日 記念講演会・偲ぶ集い（伝国の杜）

・二代館長 松野良寅前館長

・二代目管理人 北村清彦氏

・開館日は毎週土・日・月曜日

**平成十七年六月** 三代目管理人 梅津幸保氏

・開館日は毎週月・金・日曜日

**平成十九年七月** 我妻榮記念館標示塔設置

**平成二十年四月** 三代目館長 伊藤和夫氏、四代目管理

人 小林秀一氏、開館日は毎週月・金・日曜日

**平成二十一年四月** 四代目館長 上村勘二氏

**平成二十三年** 東日本大震災により外壁・トイレ等が被

害を受け改修工事

**平成二十四年** 開館三十周年記念事業

・六月三十日 記念講演会・懇親会（伝国の杜）

・講師 我妻堯「息子から見た我妻榮」

・冊子「故郷を愛した民法学者我妻榮先生」を市内小

学五・六年生に配布

・DVD「民法一筋に生きた我妻榮」（十分と二十分

版制作、N C V 放映

・耐震診断

## 平成二十五年七月

五代目管理人 手塚正氏

・開館日は毎週月・木・金・日曜日

## 二十周年記念事業二年次

・収蔵品のデジタルアーカイブによる閲覧開始

### 入館者

平成四年	三二二名	平成十八年	四三四名
平成五年	五六〇名	平成十九年	三九三名
平成六年	六三五名	平成二十年	四二五名
平成七年	五四三名	平成二十一年	四四〇名
平成八年	四九三名	平成二十二年	三六〇名
平成九年	七九一名	平成二十三年	二三三名
平成十年	(不明)	平成二十四年	四八六名
平成十一年	四九二名		
平成十二年	(不明)		
平成十三年	（不名）		
平成十四年	一七二名		
平成十五年	三三三名		
平成十六年	四二三名		
平成十七年	四六五名		
	三五三名		
	三六七名		

### 施設利用者

三五三名	四六三名	四六三名	四六三名
三六七名	四一四名	四一四名	四一四名
三六七名	三二五名	三二五名	三二五名
三六七名	三一七名	三一七名	三一七名
三六七名	三一七名	三一七名	三一七名



# 支部だより

## 東京支部

### 平成二十四年度東京支部活動報告

東京支部の平成二十四年度の活動を、実行日順に報告致します。

#### 二十四年三月二十三日 平成二十三年度第三回理事会

於 東京興譲館

平成二十三年度事業報告・平成二十四年度予算審議・承認

#### 二十四年五月十一日 監事による平成二十三年度監査

於 東京興譲館

会計収支計算書等、適法・正確を監事承認

#### 二十四年五月十一日 第一回理事会 於 東京興譲館

平成二十三年度事業・決算報告、平成二十四年度事業計画・予算承認

平成二十四年度定期総会議題、役員・評議員改選の候補者案の審議・承認

#### 二十四年五月二十六日 平成二十四年評議員会及び定期

総会 於 スクワール麹町

総会議案の審議・承認

総会後に恒例の新寄宿舎生（六名）と新奨学生（三名）の歓迎会開催

#### 二十四年十一月十八日 平成二十四年度園遊会 於 小石川遊樂園 涵德亭

#### 二十四年十一月四日 第二回理事会 於 東京興譲館

平成二十五年新年会兼予餞会の計画

#### 平成二十四度園遊会收支報告

#### 二十五年一月二十六日 新年会及び卒業学生の予餞会

於 スクワール麹町

会員の皆様と新年を寿ぎ、卒業の寄宿舎生（五名）と奨学生（四名）へ上杉邦憲名誉会長、須貝会長、大関寄宿舎OB会長から餞を頂き



ました。

**東京支部会員数**（平成二十五年十月現在）

正会員

九五名

賛助会員

二四六名

法人賛助会員

二社

訃報会員 ご生前のご協力に感謝申し上げ、  
ご冥福をお祈り致します。

（一）内は、命月

斎 猪 片 渡 今 清 水 康 人 様  
藤 口 桐 部 怨 征 様  
和 一 勝 郎 朗 様  
博 様  
（平成二十四年十月）  
（平成二十五年一月）  
（平成二十五年一月）  
（平成二十五年九月）



上杉名誉会長と新会員

## 米沢支部

平成二十五年度の現在までの米沢支部活動状況を報告します。

お、本年度は教育功労賞は該当がなく産業功労賞のみとなつた。  
今年度は役員改選時期となり、理事候補者二十五名と監事候補者三名を選出し、評議員は二十四名を選出した。

○四月六日 役員改選に伴う承諾書送付

○四月二十五日 教育・産業功労者等検討会議 併せて賞状文原案作成の分担依頼をした

○五月一日 支部運営会議

○五月八日 米沢支部監査

○五月十三日 米沢支部事務局担当歓迎会

### 【第一回理事会】

○五月十六日 午後一時から米沢市役所庁議室において開催した。

内容は、平成二十四年度米沢支部事業報告及び決算報告を承認し、平成二十五年度事業計画及び予算案を決定した。又、この理事会において教育産業功労賞表彰の検討結果を報告し了承を得た。本部表彰該当者については会長に報告し、決定を受けることになる。な

### 【総会】

○六月一日（土）午後三時 ホテルサンルート米沢

会員三十五名出席の中、安部三十郎支部長挨拶の後、議事に入る。二十四年度支部庶務報告及び決算が承認され、二十五年度事業計画案及び予算案が審議され、原案通り議決した。

庶務報告の中で、支部会員数の状況が説明された。

役員改選により  
理事二十五名と監  
事三名を選出し、  
評議員二十四名が  
報告されて了解さ  
れた。

公益法人化の状  
況説明を本部鈴木  
信之理事より経過  
説明を受けた。

続いて支部の表  
彰式に移り次の皆  
さんが受賞した。



勝 第二十回山形県少年少女スポーツ交流大会陸上競  
技走高跳び優勝

○**高梨早紀**（南陽市立赤湯小学校六年）  
第二十八回山形県小学生陸上競技大会女子八十Mハ  
ドル第二位

第二十回山形県少年少女スポーツ交流大会陸上競女  
子八十Mハードル優勝

○**古山萌子**（高畠町立亀岡小学校六年）  
第五十八回青少年読書感想文全国コンクール全国審査  
会サントリー奨励賞

○**長井市立長井小学校水泳女子リレーチーム**（長井市立  
長井小学校）

第三十七回山形県選抜学童水泳記録会女子二百Mフ  
リーリレー優勝 女子二百Mメドレーリレー優勝

○**工藤雅也**（米沢市立第一中学校三年）

第四十四回東北中学校水泳競技大会男子百M背泳ぎ第  
三位

○**高橋昂士**（米沢市立第一中学校三年）

第四十八回東北中学校スキー大会スペシャルジャンプ  
優勝 第五十回全国中学校スキー大会スペシャルジャ

〈特別顕彰〉

○**皆川和輝**

（南陽市立赤湯小学校六年）  
第二十八回山形県小学生陸上競技大会男子走高跳び優勝

ンプ第八位

○**我妻和希**（米沢市立第一中学校三年）

第四十八回東北中学校スキー大会男子三KMフリー競技第八位

○**鈴木美緒**（米沢市立第六中学校三年）

第三十三回東北中学校陸上競技大会女子二百M第八位

○**狩野七海**（南陽市立宮内中学校三年）

山形県英語弁論大会暗唱の部優勝 第六十回東北六県中学校英語暗唱・高等学校英語弁論大会中学校の部第二位

○**木村隼也**（米沢市立第一中学校二年）

第三十三回東北中学校相撲大会二年生の部第五位

○**松本駿**（米沢市立第二中学校三年）

第五十二回全国中学校水泳競技大会飛板飛込第三位

第三十五回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会飛込競技男子十四～十五歳高飛込第三位

第三十五回全国中学校水泳競技大会飛込競技男子十四～十五歳高飛込第三位

第三十五回全国中学校水泳競技大会飛込競技男子十四～十五歳高飛込第三位

○**村山詩織**（米沢市立第五中学校三年）

第三十三回東北中学校陸上競技大会女子二百M優勝

女子四百Mリレー優勝

第三十九回全国中学校陸上競技選手権大会女子二百M

第八位

○**米沢市立第五中学校女子四百Mリレーチーム**（米沢市立第五中学校）

第三十三回東北中学校陸上競技大会女子四百Mリレー優勝

第三十三回東北中学校陸上競技大会女子四百Mリレー優勝

○**高橋かおり**（川西町立川西中学校）

第二十一回東北中学生ホッケー選手権大会第三位 第

四十二回全国中学生ホッケー選手権大会ベスト八

○**第三十三回東北中学校陸上競技大会共通女子走幅跳第**

○**近田実穂**（米沢市立第五中学校二年）

六位 第五十八回全日本中学校通信陸上競技大会共通  
女子走幅跳第五位

○**高橋 翔**（米沢中央高校三年）

第六十七回国民体育大会少年男子バスケットボール第  
三位

○**吉田菜穂**（九里学園高校一年）

第六十七回国民体育大会陸上競技少年女子B百Mハーリー  
ドル第三位 第六回日本ユース選手権陸上競技女子百  
Mハーリー第五位

○**山形県立南陽高校ビームライフル男子団体**（山形県立  
南陽高校）

第五十回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会学  
校対抗チームライフル男子競技第三位

○**神保 茜**（山形県立南陽高校）

第五十回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会工  
アライフル女子競技第二位 第六十七回国民体育大会  
少年女子エアライフル立射第五位  
以上十八個人、四団体をそれぞれ表彰した後、安部三  
十郎支部長のあいさつ、受賞者のあいさつと続き全員で  
記念撮影をして表彰式を終了した。



### 【懇親会】

受賞者を交えて懇親会に移り、本会の理事、評議員、監事、教育委員、一般会員約三十名で和やかな懇親会となつた。

○六月八日 本部総会案内状発送作業

○六月二十三日 有為会本部総会 ホテルサンルート米沢

○七月十七日 支部運営会議 秋の会員研修交流会や支部だよりについて協議

○七月二十三日 支部だより編集会議

○八月十日 前支部副支部長高橋勉氏感謝の会

○八月二十四日 支部だよりほかの発送作業

○九月一日 副支部長・部長会議

○九月九日 秋の支部研修会・芋煮会案内状発送作業

○九月三十日 総務部・組織部合同会議開催。役員会、交流研修会の運営について協議

○十月五日 午後三時 伝国の社会議室

・米沢支部理事評議員合同会議

今年度の事業内容や各部の構成などを改めて説明。

又、理事・監事・評議員の改選により選任された役員の紹介。

### ○十月五日

支部交流研修会（講演会）午後三時三十分

今年度の講師は来春開学する山形県立米沢栄養大学の学長就任予定者鈴木道子先生を招き、新大学の構想などについてのお話をお聞きした。

【会員交流会（大いも煮会） 午後四時三十分から】

○本会所有の会員林視察については時期を見て、本部役員の方にも視察していただけるように調整をしていくとい。

今年七月に公益法人の資格を取得し、会員の形態が変更になり、現在米沢支部の会員登録が減少傾向になつてゐるので、今後の会員増強活動が重要な事業になると思われる。この活動については有為会全体で取り組む課題なので、本部と協議をしながら事業展開をしていきたい。

（常務理事 鈴木幸一 記）

## 仙台支部

二十三年三月のあの大地震災から二年半、沿岸部の復興はまだですが、楽天イーグルスのリーグ優勝とひきつづいての日本シリーズ進出、巨人軍との息詰まる熱戦は、東北の被災した人たちを大いに元気づけています。

この一年、有為会の中核では公益法人移行が最大の課題でしたが、仙台支部ではこのところずっと継続している仙台興譲館の寮生減少問題の解消が大きな課題でした。有為会も寮生減少問題を東京興譲館、仙台興譲館の個別の問題としてではなく、有為会育英事業の重大問題ととらえ上村理事長とする寮生募集プロジェクトを発足させ、諸対策を講じてきたことは上村理事が昨年の会誌にお書きになつていておりです。

対策の目玉となつたのは、受験生の多い四高校に依頼して実現した、進学説明会における保護者対象の有為会寄宿舎案内です。仙台寮の関係者も、有為会のポスター等による生徒への案内が保護者まで届いているかどうかにはかねがね疑問を持つていて、保護者へ直接情報を伝えることがキーであるとは考えていました。しかし、情

報を届ける有効な方法を思いつけずいたところ、進学説明会における保護者への直接案内のアイデアがプロジェクトチーム内で出されました。この保護者への直接案内こそ事態を解決する切り札ととらえた私たちは、寮OBや寮生会と協力して、仙台寮の概要と先輩からのメッセージを掲載したA4版二ページの「仙台興譲館案内」を作成し

保護者に配布



芋煮会風景 平成24年10月13日

しました。この他に仙台支部は、「支部だより寮特集号」を置賜の各高校に送付し、クラス掲示を依頼しています。また、寮生会は、自作のポスターの掲示をそれぞれの母校に依頼しています。

このような対策の結果、三回の面接選考で専門学校生三名、大学生六名 計九名の入寮者を得て、定員十八名

を充足することができました。平成十五年から二十四年までの十年間、仙台寮の

寮生数が部屋数の十五を上回ったことは三回しかなく、今回の十八名は平成十六年以来の九年振りの数です。

新規入寮者九名に面接や簡単なアンケート調査をおこなつて応募の理由を聞いたところ、六名が保



支部総会 平成25年6月8日

護者から応募を強く勧められており、うち一名は「保護者の希望を聞かざるを得なかつた」と答えています。保護者への寮案内の効果が予想通り大きかつたことがわかりました。また、寮を知ることになつたきっかけは、保護者からの情報と有為会の舍生募集ポスターが多いこともわかりました。

今回の募集は好結果でしたが、私どもは今後も安定してこのような結果が得られると楽観はしていません。

仙台寮の寮生募集には仙台寮固有の問題があります。部屋数の少ない仙台寮は、東京寮と異なり、一年生のみ相部屋の可能性を残しています。定員を部屋数十五よりも若干多い十八とすることにより、一人当たりの寮費の軽減を図っています。また、短い期間であつても相部屋を経験することで、社会に出てから要求される他人との協調性を身につけて欲しいとの思いがあります。しかし、少子化の当世、個室で育つてきた若者の多くは相部屋を嫌います。今回の募集に際し、有為会だより号外や有為会ホームページに、仙台寮の居室状況を「現状個室、人數により二人部屋もありうる」と記述しました。この「現状個室」を見て、個室を期待した応募者が約三分の一いました。相部屋が生じている現在、来年度の募集に

あたって、「現状個室」とは書けず、「一年生は一人部屋もありうる。二年生以上は個室」と記述を変えましたので、来年度の応募結果は相部屋の応募に与える影響を推定する上で重要なデータを与えてくれるものと考えています。

高校での保護者への説明が始まってまだ二年目、募集方針を確定するにはデータが不足していることは否めません。来年三月の結果も加えて。今後のことを寮生会と一緒に考えて行きたいと思っています。

二十四年九月から二十五年十月の仙台支部の活動は、これまで支部を切り盛りしてきた御供理事が、支部事務局業務の大部分から引退されたことから円滑には行きませんでしたが、なんとか例年同様に行なわれています。今年六月の支部総会には須貝会長が出席され、大詰めを迎えた公益法人移行について懇切丁寧に説明されました。また、引き続いての支部講演会では、幅広い交友関係をお持ちであることで知られる米野宗禎東京支部長に、有名人との交流におけるエピソードを「私めの『ヒト・モノ・コト』漫談」と題して話していただきました。それにも関わらず氏の周辺には個性的な方が多いのに驚きました。それらの方々が織りなす人間模様の中に見えかくれる、どうしようもない人間の性を、一見おもしろおかしく思っています。



支部講演会における米野講師  
平成25年6月8日

かしく話されましたが、随所に氏の精神基盤である仏教の考え方があげられて、味わい深いお話をでした。後で氏に、お釈迦様の言葉を短い詩風にまとめた「法句経」

の文庫本をいただきましたが、この本にはお釈迦様の言葉がとてもわかりやすい形で書かれていて、お寺に行く度に、わからないお経を音楽のように聞いてきた私には新鮮な驚きがいっぱい詰まっています。

公益法人移行が、会員に会の事業に対する自信を与えて、士気を高めてくれる方向に働くことを期待します。会の活動に理解があり積極的に活動に参加される方が、ほとんど同じ顔ぶれ、しかも年輩の方である現実はなかなか厳しいものがありますが、地道に理解を求める一方で、参加してみようといった気になる支部行事や参加しやすい支部の運営形態の模索も引き続き今後の課題と考えています。

# 京都支部

## I 京都支部の主なるイベント

育英と親睦の絆を強めるため、支部行事は勿論、県人会・同窓会行事等に積極的に参加しています。

- ① 有為会京都支部総会・懇親会 平成二十五年六月
- ② 京都北海道・東北六県県人会親睦グラウンドゴルフ大会 平成二十五年一月
- ③ 県人会芋煮会（於いて嵐山松尾・雨天中止）
- ④ 全国女子駅伝大会応援・慰労会・その他 平成二十六年一月予定

平成二十五年九月

これは極めて厳しい結果であります。高齢化など、やむを得ないのであります。今後は若い方々との絆をさらに深めあって、総勢十八名を新たな出発点と位置づけ再構築に努力します。

## II 平成二十五年度支部総会・懇親会

六月九日京都木屋町二条 加茂川と高瀬川を結ぶ名園

大岩邸の名で知られる「京都がんこ二条苑」で開催いたしました。

参加者は来賓含め十二名。総会に先立ち参加者全員で謙信・鷹山両公遙拝および誓いの詞を斎唱し、其々に故里への思いと誇りを心に刻むとともに、絆の大切を深めました。

京都支部では総会などの集会では必ず米沢の方角を向き遙拝し誓詞をあげるとお聞きしました。ここに菅野会長さんから誓詞をいただきましたので掲載いたします。

佐藤恒夫記

## 誓詞

米澤有為会京都支部一同、上杉家御両公様に御礼とお誓いを申し上げます。

「義」の精神を基とする謙信公様をはじめ、夙に鷹山公様に於かれましては、重篤なる藩政に鑑み、治水と殖産事業などを興し、今日の磐石なる米澤の礎としていただきました。

又明治の始めに先達が、社会に有為なる人材を育成し、地域の産業と文化の振興を期して「米澤有為会」を創設されました。

以来、永きに亘り本会が存続するも、御両公様の精神と先達の功績があつたからこそと思います。

幸いにして私たちは、青雲の志を厚くして、故郷米澤に於いて、智能・技能を研鑽させていただきました。私は、御両公様と先達に感謝し、その意志を引き継ぎ本会の発展のため、有為会会員一同、一層の努力をして参りますことをここにお誓い申し上げます。

平成 年 月 日

米澤有為会京都支部一同

代読



平成25年 有為会京都支部総会、懇親会

## 北海道支部

北海道支部は平成二十四年度総会を昨年十一月二十三日、開催しました。場所はいつものように札幌の都心部にある温泉施設「ジャスマツク・プラザ」で、温泉にゆつたりと浸かってリフレッシュした後、会議に移りました。

支部会計は相変わらずギリギリの状態で、年度決算の結果はわずか三千円余の繰り越しに止まり、苦しい運営を続けています。打開策は会員の増強しかありませんが、高齢や健康上の都合でやむなく退会する会員が出てきています。昨年度は事務局の努力で一人の入会者を得て、支部会員数は二十二人をなんとか維持しています。米沢地方出身者の新たな情報を得るのは困難になっていますが、会員のネットワークによって新規会員の発掘に努めています。

二次会はスナックに移つて、カラオケに興じました。一方、秋の楽しみにしている芋煮会は、昨年九月の最終日曜日に広々とした「サッポロさとらんど」の炊事広場で開催しました。鶴城工親会北海道支部との共催で、米沢・置賜出身者やその家族、友人らを加えて五十人を



温泉でゆっくりと語り合った支部総会

超える参加者がありました。

芋むきなど下ごしらえを始めるころ、心配していた雨が落ちてきましたが、幸い会食を始めるころには降りやみ、間もなく薄日も差してきました。木陰の中に設営したテーブルには、米沢の地酒、ナスなどの漬け物などの懐かしい味も並びました。会員たちは芋煮を腹いっぱい味わい、酒を酌み交わして秋の一日を過ごしました。

これからのお楽しみは、来年二月に開催されるソチ冬季五輪。初めて正式種目になるスキー女子ジャンプの有力な代表候補に米沢出身の小浅星子選手が挙がっているからです。小浅選手は大学卒業後も札幌に残りジャンプの技を磨いていて、今季は国内の開幕戦で二連勝、一月のNHK杯でも優勝する活躍をし、ワールドカップでもボイントを獲得しました。

その後はサマー・グランプリ大会で欧州などを転戦、最高十二位に入るなど五輪代表の圏内にいます。不況で企業の支援はなく、アルバイトをしながらクラブチームに所属して、苦労しながら競技を続ける選手です。好調を維持して、ぜひとも日本代表の一員に選ばれ、ソチの空を飛んでもらいたい、と願っています。



木陰に陣取り料理を堪能し、談笑した芋煮会

# 興讓館寮だより

## 東京興讓館

富 横 史 博

東京も記録的な猛暑から一転、非常に過ごしやすい陽気となりました。

米沢有為会会員の皆様には温かく見守り頂きありがとうございます。感謝の想いを込めまして、今年度の当寮の近況報告をさせて頂きます。

今年度は四月に七名の新入寮生を迎え、新たな寮生活をスタートさせました。途中で、二年生ばかり三名の退寮者が出てしまい、十一月現在、十七名という例年に比べ少ない人数で生活を送っております。「サークル活動もしたいので大学の近くに住みたい。」や「通学に時間がかかり、勉強に集中するために、大学の近くに住みたい。」などが退寮の理由ですが、過去の寮生が寮生活を乗り越え、大学院や大手企業への就職を果たしているのを考えると、昨今の学生の「寮」 자체との向き合い方で

変わつてきているのではないかと感じております。現在、在寮している学生は充実した寮生活を送っております。私達の寮母である三浦さんには、朝夕の食事を作つていただき、心身共に寮生のサポートをしてくださっています。寮の三大行事である新入生歓迎コンパ・開館記念コンパ・追い出しコンパではおいしい料理をふるまつてくれます。季節の変わり目で、体調を崩す寮生も多い中、おかゆをこしらえ部屋まで訪ねてくださる事は本当に幸せなことだと感じます。

夏季休暇時は、寮の屋上にて数年ぶりにバーベキューや花火などを行い、親睦を深めました。十月上旬には、入間町自治会のお祭りに寮母さんを含め、一同で参加させて頂き、お神輿の誘導や芋煮を振る舞わせていただきました。自治会の皆様には、「米沢から取り寄せた材料と寮の大鍋で作った芋煮は本当に美味しいね！」という言葉や、「若い方に来て頂けると活気がつく！」という有難いお言葉を頂きました。

また、元気で可愛い地元の子供達との交流は、日ごろ勉学に励む寮生にとって、良い癒しの時間となつたのではないかと感じております。

第八回文化大学には寮生一同も参加させて頂き、米沢

有為会公益法人化の目的や、有為会の未来について考えさせて頂く機会を頂きました。

公益法人化により、会の活動が活発になるのは喜ばしいと思う。ただ、興譲館寮の入寮者が少ない現状は非常に寂しく、財政的にも厳しいので、入寮者増加のためにも寮生と会員の皆様一同になり頑張りたい。

さて、来年度への向けての寮生募集が始まります。昨今の寮生の激減を踏まえ、在寮生が求める学生は「向き合う」事を大切にする人です。

寮という環境は、「同じ屋根の下で生活する」という安心でもあり、難しい環境でもあります。あの人と嫌だから顔を合わせない、という事も容易には出来ません。だからこそ、他の寮生や何より自分自身と「向き合う」事により、生涯の友人を得たりや経験を積んでいけるのが「寮の良さ」であると感じております。来年、私達と充実した寮生活を送る仲間が多数来てくださることを切に願います。

今後もイキワク精神(いきいきワクワク 沼澤前館長のお言葉)で、寮生活及び勉学に励んでいきたいと想います。今後共、東京興譲館寮をよろしくお願ひ致します。最後に寮生の紹介をします。

## ○大学院生

武田 和平

〔東京農工大学大学院工学研究科〕  
(酒田東高校)

玉橋 一馬

〔東京理科大学大学院理学研究科〕  
(米沢興譲館高校)

## ○四年生

富樫 史博

〔日本大学文理学部地球システム科学〕  
(基督教独立学園)

元木 康長

〔法政大学法学部法律学科〕  
(長井高校)

山下 智昭

〔中央大学商学部会計学科〕  
(米沢興譲館高校)

山田 伸

〔法政大学工学部電子情報学科〕  
(米沢興譲館高校)

## ○三年生

増田 高範

〔電気通信大学情報理工学部総合情報学科〕  
(函館ラサール高校)

島津 興史

〔日本大学法学部政治経済学科〕  
(日大山形高校)

松寿 祐樹

〔早稲田大学理工学部創造理工学部経営システム学科〕  
(米沢興譲館高校)

本田健太郎 [東京農業大学国際食料情報学部食料経済学科]  
(高畠高校)

宮坂 圭 [中央大学商学部経営学科]  
(米沢興譲館高校)

## ○二年生

江藤 修人 [東京農業大学国際食料情報学部]  
(基督教独立学園)  
小形 悠介 [東洋大学経済学部国際経済学科]  
(米沢興譲館高校)

## ○一年生

今 暉紀 [日本大学法学部法律学科]

(基督教独立学園)

高木 啓道 [東京理科大学理学部数学科]  
(米沢興譲館高校)

高橋 祐大 [専修大学法学部法律学科]  
(米沢東高校)

星 悠一郎 [早稲田大学法学部]  
(米沢興譲館高校)

## ○寮母

三浦 純子  
(米沢興譲館高校)

(東京都三鷹市出身、五十九歳でお世話になりました今年で十年目です)



## 仙台興譲館

黒田啓太

今年は例年の暑さに加え竜巻や水害など予想せぬ災害続きたる夏となり、残暑が和らぐと今度は台風の猛威に曝されるというイレギュラーな年となりました。また、七年後の東京オリンピックの開催が決定するなど将来への明るい展望が開ける年でもあるように思います。

さて、先年は在寮生十一名という危機的な状況下でのスタートでしたが、米沢や仙台の有為会の先生方のご尽力や寮生による募集活動の成果もあり、九名の新入寮生を迎えることができました。現在は、二十名近い寮生により、賑やかで活気のある寮生活を送っています。やはり、多くの寮生が食卓を囲んで語り合い、協力し合える姿こそが、寮のあるべき姿であると思います。寮生が多い分、寮設備の使い方など日常生活面でのトラブルや不満も増えていますが、そうした所で話し合い解決を図ることで集団生活を営むということを日々勉強できていると感じます。

寮生減少の問題は、近年の学生の価値観の変遷もあります。

ますが、第一に寮生のいつしょに生活していく仲間を見つけようという意識の低下が原因であると思います。今年度は、在寮生全員で広報委員会を立ち上げ、寮生募集のポスターを作成し夏休みに母校に訪問して掲示させていただいたり、寮のホームページを見易いように作り直したりと、自主的な募集活動を始めることができました。来年度も継続的に在寮生を得られるように、これから入寮面接なども力を入れて取り組んでいきたいです。

寮生活をしていく中で、やはり一人部屋での生活といふのは難しい問題です。生活スタイルの違いなどの不便や相手に対する不満、我慢しなければならないことなどは必ず出できます。そうした問題は寮生活に特有のものであり、独り暮らしや実家住まいでは経験できないことではないでしょうか。この経験を通して人のより深い関係の築き方や共同生活のルールを学んでいくことができる事が一番の寮生活の意義だと思います。また、寮生全体でそうした意義のある寮生活を送れるように助け合い協力し合って環境作りをしていかなければならぬと思います。

寮の運営をしていく中でも、発見や勉強になることが多いります。今年度では、寮則の見直しや会計のやり

方、帳簿のエクセルの改善などが寮生の係の仕事としてありました。そうした中で各寮生が自分の得意な面を生かして工夫をしていくことで寮の環境をより良くしていくことができました。そうした活動を通して、知恵を絞り寮のために努力を重ねる仲間たちや先輩方から、私自身多くのものを得たように思います。また、寮生募集活動や寮の行事を通して多くの方々と話す機会をいただき、そうしたところからも大変勉強をさせていただきました。

最後になりますが、私たちがこうして寮生活を送ることができるのは、甲仙台支部長、滝口仙台興譲館館長はじめ多くの方々のお支えのおかげです。また、寮母の小野寺さんには、毎日の食事をはじめ様々なところで本当にお世話になっています。そうした感謝の念を忘れずに、これからも意義のある寮生活ができるよう一生懸命頑張っていきたいと思います。

(山形東高校)

渡部 嘉也  
〔仙台大原専門学校公務員学科コース〕

船山 春樹  
〔仙台YMC A専門学校ホテル学科〕

(米沢商業高校)

(十月退寮)

増田 畏  
〔東北文化学園専門学校臨床工学科〕  
(米沢興譲館)

### ○大学院生

島森 拓土  
〔東北大学大学院理学研究科〕  
(米沢興譲館高校)

渡部 泰裕  
〔東北大学大学院経済学研究科〕  
(新潟大学経済学部経済学科)

(米沢興譲館高校)

寒河江祐弥  
〔東北大学大学院経済学研究科〕  
(山形市立商業高校)

原田 学思  
〔東北学院大学経済学部経済学科〕  
(科)

○専門学校

塙田 元  
〔東京I-TT会計専門学校仙台校会計学科会計士コース〕  
(山形大学人文学部人間文化学科)

塙田 元  
〔東京I-TT会計専門学校仙台校会計学科会計士コース〕  
(山形大学人文学部人間文化学科)

## ○大学四年生

安部 玄樹  
〔東北大学法学部法学科〕

遠藤 季理  
〔東北大学経済学部〕

太田 嵩人  
〔東北工業大学工学部知能工レクトロニクス学科〕

(米沢興譲館高校)

松浦 勇太  
〔東北学院大学経済学部経済学科〕

(米沢興譲館高校)

○寮母 小野寺 真知子  
〔岩手県一関市出身、八年目〕

## ○大学三年生

黒田 啓太  
〔東北大学法学部〕

(米沢東高校)

荒井 洸毅  
〔東北学院大学工学部機械知能工学科〕

(米沢工業高校)

菅野 将紀  
〔東北大学経済学部〕

(米沢興譲館高校)

西京 毅  
〔東北大学工学部機械知能工学科〕

(米沢興譲館高校)

平 駿人  
〔東北大学理学部数学科〕

(長井高校)

遠藤 草太  
〔東北学院大学経営学部経営学科〕



# 置賜市町だより

## 米沢市

### 住民の手による魅力ある地域づくり

（輝くわがまち創造事業）

輝くわがまち創造事業は、「地域は住民の手によって良くしていくことが必要である」との考え方から、市内十七のコミュニティセンター単位の地域が、魅力ある資源・特色を活かし、住民自らが地域づくりに積極的に参加する事業を企画、実施し、それに対し市が支援を行っていくものであります。平成二十四年度から、各地域において、検討のための組織が作られ、それぞれ地域の色を濃く出した事業を企画し、今年度から本格的に事業がスタートしています。

事業の内容は正に多種多様で、夏祭りなどを開催しての地域内の交流を推進する事業、また、地域に伝わる伝統行事や史跡などを保存し情報発信するような事業、そして、地域内の人々に限らず多くの市民にも利用していただけるような施設の整備を行うものなど、それぞれにアイデアに富んだ事業が実施され、これまで地域内の人た

ちしか知らないなかのことでも、この事業を機に多くの市民の目に触れるきっかけにもなっています。

この輝くわがまち創造事業は、平成二十七年度までの予定ですが、この事業を通じて改めて自分たちの地域を見つめ直すきっかけとなり、住民同士が活動に参加することで連帯感が生まれ、その結果として継続的な地域づくり、そして地域の人材育成につながっていくことを期待しています。

### ますます広がる交流の輪

（愛知県西尾市との友好都市提携）

今年十二月十五日、市制施行六十周年の西尾市にて、



愛宕パークゴルフ場オープン  
(輝くわがまち創造事業)

本市と西尾市との友好都市提携の調印式が行われます。本市と西尾市との交流は、上杉家と吉良家の「三重の縁」を大切に思う両市民の方々が、合併前の旧吉良町時代から続けてきたもので、米沢上杉まつりや吉良義央公毎歳忌などの両市のイベントに合わせ、相互に訪問しながら絆を深めてきました。そして、その交流は吉良町が西尾市と合併後も続き、この九月議会での議決を受け、友好都市の盟約を締結する運びとなつたものです。

西尾市とは、今年六月にも「大規模災害時相互応援協定」を締結しており、市民団体の交流ばかりではなく、三百五十年の時を越えて、両市の発展のため幅広い交流を進めていきたいと考えています。

また、本市は「大規模災害時相互応援協定」を、現在、二十九の自治体や事業所などと締結していますが、今年二月には、福島県伊達市と協定を締結いたしました。その他、この秋には、昨年に引き続き「伊達政宗公の生誕地を巡るツアーリー」と称して仙台市の職員約三十人が、現在発掘調査中の館山城跡を含め、本市内に点在する伊達家ゆかりの史跡を見学し、市民と交流されました。

このように、上杉家や伊達家との関わりから、歴史的にゆかりも深い都市との交流の輪がますます広がつてき

ており、今後、この西尾市との友好都市提携をきっかけとして、さらに各都市との交流を深めていきたいと考えています。

## 戦争のない平和な未来を目指して

（平和都市宣言事業）

米沢市では、昭和六十三年三月に「平和都市宣言」を行つて以来、「市民の永遠の平和と繁栄」を願つて、「戦争と平和展」や「中学生議会」など様々な平和事業に取り組んできました。平成二十二年度からは、次代を担う中学生を被爆地や戦跡等に派遣し、現地での体験によって戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを学び、平和の尊さ・大切さを肌で感じてもらうために、広島市、長崎市、沖縄市への派遣事業を行つています。

本年も八月五日から八月七日までの行程で、各中学校の代表八名が広島市を訪れ、平和記念式典に参加しました。原爆で尊い命をなくされた犠牲者の皆様への祈りと平和の誓いを行うことで、平和への思いを胸に深く刻み込んできました。他にも平和記念資料館での学習や被爆体験の講話、とうろう流しへの参加などを通して、平和の大切さを再確認し、戦争や核兵器の使用を繰り返して

はならない  
という思い  
を強くしま  
した。参加  
した中学生  
の皆さんに  
は、平和活  
動を推進す  
るリーダー  
として、学  
校での報告  
会などを通  
し、一人で  
も多くの人  
に平和の尊  
さ・大きさを広めていってほしいと考えています。次年度  
は長崎市平和祈念式典への中学生派遣を予定しています。  
この事業の他にも、平成二十六年二月に行われる上杉  
雪灯籠まつりの協賛事業として、「平和講演会」の開催  
を予定しています。ぜひ多くの方にご来場いただき、平  
和を考える機会にしていただきたいと思います。



原爆ドーム前で記念撮影（平和都市宣言事業）

## 社会貢献アイドル「Ai-Girls」デビュー



『私たちは、歌とダンスで米沢を元気に  
笑顔いっぱいにします。また、施設を訪問  
したり、ボランティア活動に参加したりし  
て、地域のジュニアリーダーとして活動し  
ます。』

そして、米沢につい  
て学び、郷土愛を  
もつて全国に米沢の  
魅力を届けます。』

市民との協働事業  
として育成している  
Ai-Girlsは、昨年十  
月のオーディション  
後、厳しいレッスン  
を経て、今年四月の  
米沢上杉まつりでデ  
ビューしました。

米沢市の広報誌や  
ホームページで一般



社会貢献アイドル「Ai-Girls」デビュー

公募し、応募総数二十六点の中から選ばれたグループ名には、『愛と義のまち』を掲げる米沢を愛し、米沢の地から愛を届けられるようなグループに育つてほしい、愛にあふれた心でグループを応援してほしいとの思いが込められています。衣装は、山形県立米沢工業高等学校三年の奥山佳奈さん（ヨコハマファッショニアワード2012高校生の部グランプリ受賞者）がデザインし、一部に米沢織物工業組合青年部から提供を受けた米沢織の生地を使っています。

明るく元気な十八人のメンバーは、県外も含めた二十一を超える舞台でオリジナル曲『カラフルtime』『I like you♡Iにじyou!』などを披露するとともに、清掃や花植え、ボランティアも行っています。NHK全国「あまちゃん」マップのサポートにも選ばれ、山形県の魅力を全国に発信中。今後二期生も募集し、活躍の場を広げていきますので、応援よろしくお願ひします。

## まちなかに公園が開園しました

（西條天満公園オープン）

去る、四月二十六日、（仮称）まちなか歴史公園として整備を進めてきた公園がまちなかに開園しました。

米沢は、上杉、伊達の歴史だけではなく、全国から集まつた上杉家家臣団の歴史が蓄積されており、特にこの公園内には、西條家に関わるものが多く残されていることから、名称を「西條天満公園」としました。

この公園は、約四千五百平方メートルの広さを有し、園内に残る直江兼続の指揮で築かれた旧

米沢城三の丸土壘や元西條天満神社の遺構を活用した

歴史性のある公園となっています。土壘の東側には旧米沢城三の丸濠をイメージさせる池を配置し、隣接する武者道とつ



オープンした西條天満公園

ながりを持たせることで、幽玄な趣のある遺構を眺めながら、米沢の歴史に思いをはせる空間としております。また土墨の西側には、自由に遊べる芝生のオープンスペースと樹木を配置することによって、まちなかに憩い、癒しの空間を創出するとともに、まちなかに賑わいをもたらすイベントの開催にも対応できる空間として整備しています。

この度開園したこの公園をまちなか散策の休憩はもとより、市民や観光に来られたお客様に気軽に利用していただきたいと考えています。

## 伝承される敬師のこと

／東海市立中学校修学旅行生歓迎コント／

去る、六月十三日、東海市立富木島中学校の生徒約五十人が、修学旅行で米沢に来市しました。その際、羽黒神社の本殿を舞台に、コント「鷹ちゃん」と「兼ちゃん」と「平洲先生」の公演を行いました。役者は全員演技未経験の市秘書広報課職員。元県立置賜農業高等学校演劇部顧問の河原俊雄先生指導の下、この日のために猛練習を重ねてきました。鷹山公、平洲先生、直江兼続、パーソナリティのキッコに扮し、笑いを交えたコントに中学生は

△



東海市立中学校修学旅行生歓迎コント

大うけ。米沢流手作りの「おもてなし」の心は、東海市の中学生にしつかりと伝わったのではないかと思います。

また、当日は地元関根地区の方々の協力により、玉こんにゃく振舞いや記念鉛筆の贈呈も行われました。例年、東海市内の全中学校が修学旅行で米沢に来訪されていますが、今年は普門院の改修工事と重なり、ここ敬師の里を訪れた中学校は、富木島中学校一校のみでした。したがってコントの公演も一回のみでしたが、平洲先生の教えを受継ぐ東海市の子どもたちに、鷹山公と平洲先生を大切にしている米沢市民の心がきっと伝わったことでしょう。来年は

以降は、全校が敬師の里を訪れてほしいと思います。

これからも、東海市の未来を担う子どもたちが、米沢市と東海市の交流の懸け橋となってくれることを切に願っています。

## 米沢駅舎が開業二十周年を迎えました

現在の米沢駅舎は、平成五年七月一日に開業し、今年で二十周年を迎えました。

振り返りますと、平成元年二月十一日に「米沢駅舎改築期成同盟会」が発足し、市民千三百人を集めた「米沢駅舎全面改築促進市民大会」を開催。その後に、市民からお預かりした五億円の募金により、現在の米沢駅舎に改築されたもので、この二十年間、米沢の玄関口として多くの方々にご利用いただくとともに、その前年に開業した山形新幹線とあわせて、広域観光の懸け橋としてその役割を担つてきました。

そして、今年八月十一日、駅舎開業二十周年を記念し、「米沢駅舎改築二十周年記念式典及び米沢夏まつり」が盛大に開催されました。

開幕セレモニーは、開業時と同じくす玉の開花から始まり、これまで長きにわたり駅舎コンコースへの「生

け花展示」と米沢を訪れた方々がその想い出を記す「想い出ノート」の設置など、献身的な

奉仕をいただいている赤間マサ様への感謝状の贈呈式が行われました。また、

駅前広場においては、朝市やミニSLの乗車体験、ご当地アイドルやゆるキャラの出迎えなどのイベントが行われ、多くの人で賑わいました。

今後も米沢の玄関口として多くのお客様にご利用いただけるよう、おもてなしの心でお迎えしたいと思います。



JR米沢駅舎開業20周年記念式典

# 長井市

## 長井の歴史と舟運文化

長井の地名は「水の集まるところ」に由来しています。朝日、飯豊の緑豊かな各山系の懷に抱かれ、無数の沢から川に注ぎ、市街地には今も網の目のように水路が走り、水や川に深くかかわる伝統文化が根付いています。

長井の歴史は最上川の歴史と共に形成されてきたともいえます。県内を縦断する最上川は、人々の交通路、物資輸送路であるとともに、「文化を運ぶ」役割も担っていました。元禄の時代に舟運が開かれ、長井から酒田までの舟運が可能になり、最上川の最終舟場は長井の宮舟場となりました。酒田を経て遠く京・大阪との通商が始まると、長井の舟場は米沢藩の物資運搬の起点、商取引の町として栄え、絹織物・反物などを取り扱う多くの豪商が現れました。その中の一つ、「丸大扇屋（まるだいおうぎや）」は、今もなお茅葺き屋根の母屋と蔵座敷、水と緑が織りなす庭園、それぞれが美しく調和し、幕末から明治、大正にかけての昔の様子を残しています。



江戸時代の商家の面影を残す丸大扇屋

## 川や水との関わり

市街地には今も網の目のように水路が走り、主に消雪のための水路として活用されています。地形にあわせて（概ね西から東へ流下）家の中に水を引き入れ、かつては生活用水としても利用していました。



やませ蔵の入り水

長井市の地形的な条件から、河川の水利活用とともに高台に城館や寺社等が建立され、城下町・門前町としての集積の後、最上川舟運によって町屋が形成されました。

こうした町の形成の枠組みの確認のもと、特に最上川舟運に関わって発展した地域であるとの歴史的位置づけから、舟運文化の集積の高い区域について、「流通・往来」「水利用」「居住」の複合景観としての文化的景観を設定し、保護、活用を図りたいと考えています。

## かわからまちへ、まちからかわへ

今年三月に策定した「観光振興計画」では、人口減少、地域経済の低迷など疲弊した状況を変えるためにも、市外からの観光誘客を図ることで消費減少を補い、経済の活性化につなげ、最終的目標の雇用の創出、産業の活性化を目指しています。

それを実現させるためには、①今ある長井市の資源を活かした魅力づくり、②来訪者の滞在時間を長くする仕組みづくり、③おもてなしする観光まちづくりプラットフォームの構築、さらに④長井市に入る玄関となる観光拠点からまちなか観光への誘導の仕組みづくりが必要と考え取り組んでいます。

現在、長井市では河川とまちなかの融合を図り、相乗効果を生み出しながら人々が親しみ誇れるまちを目指す「かわまちづくり事業」を進めています。ソフトバス事業をはじめ、「梅花藻（ばいかも）」が生息する水路や、舟運時代の面影を残す商家、地域の歴史や文化など、先人の努力により培われた素晴らしい財産と、最上川やその周辺の自然を結びつけ、魅力的な「かわまち空間」を創出する取り組みを展開しています。

さらに、この取り組みを活かし発展させながら、地域活性化の推進を図るための観光交流拠点施設として、「かわの駅」と「道の駅」を合わせた「かわと道の駅（仮）」の整備や周辺の整備を検討しているところです。

長井市に入る玄関となる拠点を整備することによって観光拠点からまちなか観光への誘導の仕組みを作り、まちなかの交流人口が増えることによって、商店街の活性化も促し、新たな起業機会や雇用の創出へつながることを期待しています。

来年、市制六十周年を迎ますが、これを契機に長井を愛し、育んできた多くの先人たちの熱意や想いを改めて見つめ直し、日本一幸せに暮らせるまちを目指します。



梅花藻：清流の中に生息し、初夏から初秋にかけて梅のような白い花を咲かせます

## 南陽市

### 市域の六割を占める森林資源

日本は、国土の約七割を森林が占める世界有数の森林資源保有国であります。これらの森林資源は勤勉な日本人が長い時間かけて築き上げてきたものであることをご存知でしょうか。かつて、戦後の日本では、木材の復興需要に供給が十分に追いつかず、乱伐が多くみられたことから、国の「拡大造林政策」のもと、膨大な需要を満たすよう人工林の造林が行われてきました。

現在、植樹から五十年以上経過して、木材としての適齢期を迎えた森林は、その多くが有効利用されず森の高齢化、荒廃化が進んでいる状況にあります。化石燃料の普及に伴うライフスタイルの変化や木材の輸入等により國産材価格が低迷したことでの木材関連産業全体が衰退しております。加えて、少子高齢化もあり森林の手入れが十分に行き届かず、それらが里山の森林の荒廃を招く要因になっています。先人の方々が育てた森林、いわゆる人工林は、適度な伐採を行うことでのみ健全な森林機能を再生、回復できるものであり、人の手による管理が欠

かせません。今、この貴重な資産である森林資源を地域資源として有効に活用する施策、循環型の社会システムの構築が求められています。

本市を振り返ると、市内北部を中心に約六割を森林が占めており、その内約四割が人工林となっています。前述と同様に森林の荒廃が進んでおり、松くい虫の発生やナラ枯れの被害を招く要因にもなっています。

### 全国初となる耐火木造の文化会館

こうした中、国では平成二十二年度に公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律を施行し、木を使うことにより、森を育て、林業の再生を図る新たな取組をスタートさせました。

本市においては、南陽市にご縁のある企業にご支援をいただきながら森づくりを行なう「企業の森整備事業」を立ち上げ、これまで「吉野石膏の森」、「日鉱里山・龍樹の森」、「南陽イオンの森」、「NDソフト・こもれびの郷」など市内六カ所において実施してまいりました。

また、県内でも早い段階から、公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針（市町村方針）の策定に取り組み、木材の需要拡大に効果の高い諸施策の推進



南陽イオンの森 植樹

に努めてきました。市内吉野地区に「吉野森林交流センター」を整備する際には、この市町村方針に基づいて地域産材を積極的に採用するなど、森を育てるこことから木を使うことまで考えて事業を実施しています。

平成二十三年には、本市の重要施策に位置付けている新文化会館の整備検討に着手。地産地消や木材利用による市内への経済波及効果、雇用創出等に着目し、「全国

初となる大型耐火木造の文化会館」として、総事業費四十五億円を投じ、平成二十四年度から二十六年度の三ヵ年計画で平成二十七年度中の開館に向けて整備を進めることとなりました。

文化会館は、不特定多数の方が集う集会施設であり、建築基準法上は火災が起きても集まつた方が避難する時間確保できるよう耐火建築物としなければなりません。したがって、使用する柱等の部材には耐火性能を有するものが必要となり、加えて、ホールは大きな空間となりますので、それを支えるだけの十分な強度が求められます。本市では、多方面から情報を収集検討し、これらの条件を満たすものとして、最終的に県内企業である株式会社シェルターのもつ、国内最先端の耐火木造技術を取り入れた集成材を採用することとしました。

この集成材は、市内の人工林の多くを占めるスギ材を原料として造ることができるもので



人工杉から伐採した杉材

あり、年数経過による木構造材の狂いや反り、割れ等が起こりにくく、多くの方が集う文化会館として十分な強度の建築が実現できます。一般的に鉄筋コンクリート造りの文化ホールが多い中につつて、時代の要求に応える本市の取組は全国から注目を集めています。

また、木材のエネルギーとしての可能性についても着目しており、新文化会館には、木質バイオマスボイラーホールが多い中につつて、時代の要求に応える本市の取組は全国から注目を集めています。



交流ラウンジイメージ図

新文化会館は、「多様な交流を促す市民のための芸術文化的創造拠点」として、二つのホールと創作支援諸室を備え、南山形園域の方々が広く訪れるにより新たな文化、交流が生まれる空間を目指しています。中核となる「メインホール」は、千三百人規模の大型公演が誘致できる計画とし、耐火木造の特性を最大限に活かして、バイオリンの名器ストラディバリウスの中にいるような美しい響きと木の温もりが調和する心和む空間となるよう「静けさと響きの良い空間」をコンセプトにしています。

舞台は二十二m×十四mとこれまでの市民会館のモデルケースとなるよう整備を進めていきます。



メインホールイメージ図

## 多様な交流を促す市民のための芸術文化的創造拠点

約二倍の広さとなり、現会館では実現できなかつた様な演目が可能となります。

創作支援諸室には、多目的に活用できる「マルチホール」（約五百人収容の平土間のホール）や「展示ギャラリー」等を配置し、利用者が気軽に活動の発表や作品の展示等を行うことができる空間としています。

また、子ども達が木に触れ、木で遊ぶ「木育博物館」を施設内に設け、子育てを行う世代の方々が気軽に親子で訪れる場所としています。さらには、交流ラウンジ、キッチンスタジオ、創作工房、音楽練習室、稽古場、和室等、様々な方が世代を超えて本施設を利用することにより、交流の輪が生まれ芸術文化の枠を超えた新たな価値が生まれるなど、本市の未来に向かた無限の可能性が拡がっています。

### 夢はぐくむ芸術文化都市を目指して

本市では、地域と共に感し信頼を得ながら全体の価値を高めていく地域ブランディングに積極的に取り組んでいます。その中においては、人、モノ、場所など有形無形を問わずあらゆるものをおもに相乗的に高めていくことを目標としております。今回の森づくりから始まつた木材利用

促進、新文化会館整備の取組が、単に建設整備による一時的な経済波及効果に留まらず、里山の活性化、森林の多面的機能の回復、赤湯温泉等への交流人口の拡大、市内経済の活性化を導き、人づくり、まちづくり、さらには魅力あふれる地域ブランドの形成といった一次、三次波及の効果につながっていくものと確信しております。

また、平成二十七年に開館を迎えるこの新文化会館

が、市民憲章に掲げる「か

おり高い文化のまち」の核となり、必ずや広く南山形圏域の芸術文化の発展に資するものとなっていくでしょう。地域に住む人々が輝き、まちが輝き、新たな文化を生み出す活力に満ちた「夢はぐくむ芸術文化都市」を目指してまいります



鳥瞰イメージ図（手前が市庁舎、奥が新文化会館）

# 高畠町

## 高畠町立高畠中学校（仮称）建設中

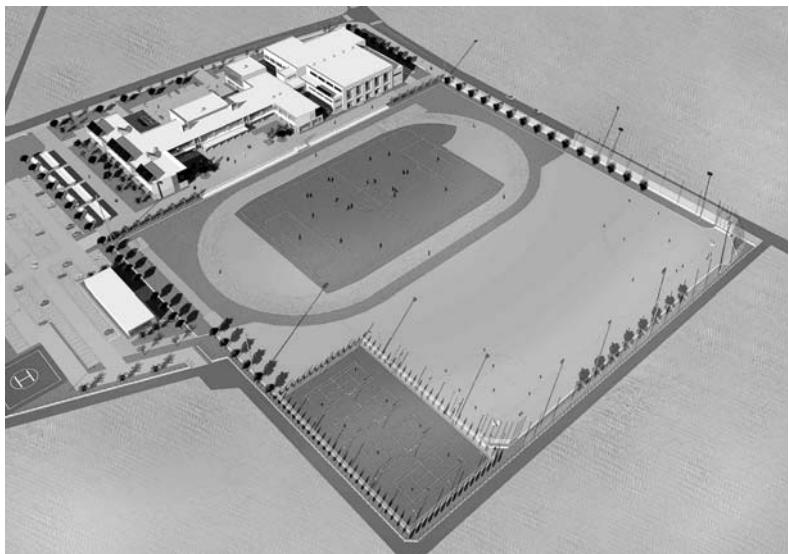
高畠町内四つの中学校が統合し、平成二十八年四月高畠町立高畠中学校（仮称）が開校します。

未来を担う子どもたちに、最も良好な教育環境の下で学習活動や部活動に取り組んでいたくため、平成二十四年五月十七日「統合中学校開校準備委員会委嘱書交付式及び第一回委員会」が開催され、本格的な開校準備がスタートしました。

地権者の協力により、延べ約七万四千平方メートルの建設地を確保し、平成二十四年七月三十一日から平成二十五年一月八日までの、わずか五ヶ月余りの間に、十万三千二十四立方メートル、大型ダンプカーで延べ一万八千三十八台碎石を搬送、埋め立てが進められていりました。九月二十六日には、校舎と屋内運動場など、建物群の建設にかかる起工式・安全祈願祭が執り行われ、今後は四百メートル全天候型トラックや人工芝を用いたサッカーコートとテニスコート、野球場やソフトボール場などを配置した、いわば総合的な屋外運動場を建設す



グラウンドレベルパース



鳥瞰 パース



制 服

る予定となっています。

このほか、各種専門部会による専門的調査研究・検討が行われ、現段階では次のように決定しています。

#### —制服について—

制服取扱企業七社から提案を受け、町民のみなさまからご意見をいただきながら選定を行い、平成二十五年二月二十八日の制服選定会議において、カンコーブランドの制服が、最終候補に選定されました。選定理由としては、コンセプトである「手入れのしやすさ、着心地の良

さ、耐久性、デザイン性」について、総合的に優れており、中学生らしい制服であることです。

この制服は、平成二十六年四月に中学校に入学する生徒から着用することになる予定です。

#### 一 校舎施設整備について

生徒の持てる力や能力を十二分に發揮してもらえるよう、充実した施設整備を行います。校舎の内装については、ぬくもりと温かみが感じられるよう木質化を図り、地域固有の高畠石も部分的に活用します。再生エネルギーの活用にも積極的に取り組む計画であり、南校舎屋上に太陽光パネルを設置します。また、給食調理用として太陽熱利用設備も体育館棟に設置します。

なお、校舎等の建物については、平成二十五年度内に着工し、平成二十七年二月末までに完成するよう計画しております。

#### 一 運動着・内履き・通学カバンについて

運動着、内履き、通学カバンについては、取扱い企業延べ二十三社から提案を受け、町内の小中学校での展示

やアンケート調査などを行ながら選定作業を進めてまいりました。

平成二十五年六月十九日の運動着等選定会議において、指定物品がそれぞれ選定されました。これらは、先に選定された制服と同様に、平成二十六年四月に町内の中学校に入学する生徒から着用することになる予定です。



運動着



通学カバン



内履き吾妻

## 一 校章について

中学校（仮称）の校章に決定しました。

高畠町立高畠中学校（仮称）の校章デザインについて、

平成二十五年五月一日から六月二十八日までの期間に公募したところ、九百三点（小学生二百九十四点、中学生五百八十四点、県内一般十一点、県外一般十四点）の応募をいただきました。

選定にあたっては、教育委員会及び統合中学校開校準備委員会が中心となり、町内の中学校校長、中学校の美術図工担当教諭の協力を得ながら、次の視点により選考を行いました。

- ・高畠中学校の教育理念のキーワードとして検討されている「耕（こう）」、「結（ゆい）」、「愛（あい）」のイメージを持つもの
- ・高畠中学校と分かるもの、校名を表すものを追加できるもの
- ・一校に集結するイメージを持つもの
- ・校旗、賞状、運動着などに使用できるもの

計四回の選考会を開催し、青森県弘前市在住の工藤和久さんの作品を最優秀作品として選定し、高畠町立高畠

### 【高畠町立高畠中学校（仮称）の校章】

町の花「つつじ」の花弁と町の木「アカマツ」の葉がそれぞれ四つ描かれ、町内の四つの中学校が一つになることを表しています。校章のカラーは、「中」を橙色で太陽と光を、「アカマツの葉」を緑色で大地と青葉を、「花弁」をピンク色で花で豊かな自然と風土に恵まれた高畠町を表現しています。



校 章

## オーストラリア シングルトン海外派遣 訪問と交流が中高生の大きな財産に



シングルトンハイスクールでの交流(調理実習)風景

オーストラリアの大地は、自然が雄大で空が高く、シングルトンの街は緑に包まれ木々が生い茂り、冬でも花々が咲いている。何よりも人々の笑顔と受け入れる心がすばらしい。訪問した者にとって、心地よく豊かな気分になれる日々が続きます。

高畠町が中学生と高校生を対象に、海外への派遣研修をはじめたのは平成八年。当初はシドニーへの視察を実施、その後の平成八年からはシドニーから百五十kmほどにあるニューサウスウェールズ州シンガルトンでの滞在と変遷し、今年で二



ホームステイ先での楽しいひととき

十年を迎えるました。この間、訪問した中高生は二百二十九名となり、また、民間による相互交流も幾度となく繰り返しております。

受け入れ先のシングルトンハイスクールとは、町内四つの中学校と高畠高校が姉妹校の締結を結んでおり、ハイスクールでは、二名の日本語教師が（他の外国語はない）生徒に日本の言葉や歴史、文化などを指導。「おはようございます。こんにちは。ありがとうございます」との日常会話が、校内どこからでも聞こえます。そのようなことも含め、私たち訪問団を好意的に受け入れていただきとともに、ハイスクールの教師や生徒も交流を楽しんでくれています。高畠町の訪問団員にとって、授業や生徒どうしの交流、ホームステイの体験や

心のこもつたものでなしは、喜びともに忘れる事のできない生涯に渡る財産となっています。



シドニー市内移動にも列車の利用も

できたものと思います。

高畠町では、人材を養成することは簡単なことではなく、長いスパンで見守るべきとの考えに立ち、この事業を継続することが高畠町の力と魅力になるものと考えています。

町長の信条である

「人が輝き、誇れるまちであり続けるために」も、中高生の海外派遣事業は意義



楽しい時間もあつという間。お別れのときは涙の場面も…

らも問い合わせなどあり

十日間の訪問を通して、中高校生が海外に目を向け、歴

史や文化、交流を体験することが人材育成につながるものと確信して事業に取り組んでいます。

そのような体験を通じて訪問団の目的を達成し、人間として大きく成長するきっかけや夢や誇りを持つことが

フスタイルなどを実感することと考えます。

心のこもつたものでなしは、喜びともに忘れる事のできない生涯に渡る財産となっています。

また、姉妹校である高畠高校では、夏季に二名の生徒がシングルトンへ留学を実施し、冬季にはハイスクールの生徒二

名が高畠での高校生活を体験するという相互の短期交換留学を行っており、交流は深くどこまでも続いています。

訪問団の最も重要な目的は、海外の学校生活やホームステイを通しての歴史や文化、国を超えての友情や交流、異文化を体験すること。自然や環境を大切に考えるライ

り、近隣市町の中高生にも憧れとなつているものと考えます。(県内他市町か

## 川西町

### 「川西夏まつり」

平成二十五年八月十一日（日）

川西町総合運動公園多目的運動場

#### ／町民の思いが結集した川西夏まつり／

昨年、八年ぶりの開催となつた川西夏まつり。

「あの感動を今年も」を合言葉に、今年も盛大に開催されました。炎天下の中ではありましたが、晴天にも恵まれ、昨年を大きく上回る五千人もの来場者の歓声と熱気に包まれる中素晴らしいステージが次々と繰り広げられました。また、川西町のおいしいものが大集合した「川西マルシェ」は売り切れが続出するほど大盛況でした。

オープニングを飾った和太鼓演奏に始まり、百人を超える参加者の川西音頭、町内神社の獅子舞や小松豊年獅子踊、よさこい踊りの共演やダンスなど十六団体のステージが披露され、夕暮れ時の空の移ろいも演出に相まって、会場は終始大変な盛り上がりを見せていました。



100人を超える参加者で賑わった川西音頭



岩手県大槌町虎舞協議会による虎舞



ライトアップされた7つの大輪ダリヤ



盛大に打ち上がる『ダリヤ花火』

さらに今年も、兼ねてから交流のある岩手県大槌町から、伝統芸能である「虎舞」の参加もあり、威勢の良い掛け声と太鼓に合わせ、寝転がる愛嬌のある動きや笛に食らいつく迫力のある芸に、会場は惹きこまれていました。

また、今年は多くの方に参加いただけるイベントとして、震災復興への願いを込めた“ななはなプロジェクト”も新たに試みました。たくさんのメッセージが一つ一つのダリヤの花びらとなつて、大きな大輪のダリヤ七つが完成しました。

フィナーレでは、ライトアップされ鮮やかに咲いた七輪のダリヤと、町民の思いが結集した“ダリヤ花火”が鮮やかに咲き誇りました。

## 小国町

**閉校施設の利活用と集落の活性化を目指して**

### ■小玉川振興事務所の開所

近年、全国的に進行が加速している少子高齢化や人口減少などの影響から、本町においても集落の活力低下が進んでいます。県内で二番目の大ささとなる、七百三十・五五平方キロメートルという広大な町土に点在する集落の活性化と、地域力向上のための柔軟かつ迅速な対応が求められています。

また、昨今の教育を取り巻く環境に対応するため、平成十八年四月以降、地域住民や保護者のかたがたの理解を得ながら、段階的に町内の小中学校の統合を進めてきました。学校機能の役割を果たし終え、使用されなくなつた校舎についての利活用方法を検討していく必要があります。

このような状況を踏まえ、町では、地域振興に向けた複合的な行政サービス体制構築のモデルケースとして、

総務企画課内に地域振興室を設置するとともに、平成二十年度末をもって閉校となつていた旧小玉川小中学校の旧校長室に、平成二十五年五月「小玉川振興事務所」を設置しました。

小玉川振興事務所は、町職員が常駐し、地域のかたがたから寄せられた様々な意見や要望などに対応しつつ、共に地域課題を抽出し、その解決策を模索しながら、地域資源の利活用を目指した振興策を構築していくことを目的としています。



小玉川振興事務所が設置された旧小玉川小中学校

あわせ、小玉川コミュニティゾーン整備計画を策定し、地域コミュニティの核となる施設として位置づけ、学校教育に加え小玉川コミュニティスクールとしての機能整備が図られた施設です。一般的な学校教育機能を有するだけではなく、地域学習や全町域学校のセカンドスクール及び都市部あるいは国際的な共同学習の場として利用されてきました。こうしたことから、地域住民のコミュニティカレッジ機能を有し、地域

情報の発信拠点にもなっている旧小玉川小中学校区が地域力向上のモデル地域として選定されました。

これは、人口減少や高齢化が進む過疎地域の集落において、商店や診療所などの生活サービス活動を、不自由なく利用できるよう一定の地域内に集約して結びつけ、人々が集い、交流する機会を広げていくことを目的としています。

この取り組みは、まだ始まつたばかりですが、小玉川振興事務所が事務局となり、また、町もバックアップを図りつつ、持続可能な地域づくりを目指していきます。

振興事務所開所式での看板掲額

小玉川振興事務所の開所式に出席した玉川町長（左）と、小玉川振興事務所長（右）

一方、旧小玉川小中学校校舎の利活用については、地域住民の意見の集約を図りながら、「学びの場」として



戸を訪問し、生活状況などの聞き取り、声掛けを行い、暮らしに関するニーズ把握を進めています。それに加えて、地域のかたがたと一緒に、地域資源の把握、発掘活動を行っているところです。

また、平成二十五年九月には、小玉川地区の住民で組織する「小玉川地区自然教育圏整備促進協議会」が、国土交通省で事業を行っている「集落地域における小さな拠点づくりモニター調査地域」の対象団体に選定されました。

これは、人口減少や高齢化が進む過疎地域の集落において、商店や診療所などの生活サービス活動を、不自由なく利用できるよう一定の地域内に集約して結びつけ、人々が集い、交流する機会を広げていくことを目的としています。

この取り組みは、まだ始まつたばかりですが、小玉川振興事務所が事務局となり、また、町もバックアップを図りつつ、持続可能な地域づくりを目指していきます。

### ■芸術文化を通じた交流事業の展開



毎月開催されているデッサン教室

の機能を核にした学習・産業・集会機能の複合施設としての検討が進められてきました。こうしたことを踏まえ、平成二十二年度から、東北芸術工科大学（山形市）と連携し、芸術家を志す若者の創作活動の場としての活用を始めました。そして、平成二十三年度以降、同大学の卒業生三人が「studio こぐま」を結成（現在は二人で

活動）し、同校を活用した取り組みを開拓していきます。

創作活動と並

行しながら、一般のかたを対象としたデッサンや油彩などの芸術教室のほかにも、写真や工芸品の展示、雄大な自然環境を生かしたイベントなどの企画運営

を行い、小玉川地域活性化の一翼を担っています。さらに、地域のお祭りや行事などにも積極的に参加し、地域のかたがたとの交流を深めています。

### ■旧校舎の利活用方法の検討

平成二十六年四月には、統合の受け皿となる現在建設中の小国小学校新校舎が小国中学校の隣接地に完成予定であり、町内の沖庭小学校についても統合予定となっています。それに伴って、現在使用している小国小学校と沖庭小学校が空き校舎となります。

すでに小国小学校、小国中学校へ統合したことによる旧校舎は、旧小玉川小中学校、旧玉川小中学校（足中分校含む）、旧伊佐領小学校、旧白沼小中学校、旧北部小中学校の六施設となっています。

今年度、町では、有識者等により構成された「公共施設活用アドバイザーミーティング」を設置し、町内の閉校施設等の利活用の方向や具体的な方法等について、まちづくりの全般的な視座による検討を重ねています。そのうえで、社会環境の変化に対応し、多様な視点から集落の活性化や地域づくりに結びつけられるような施設機能の在りかたを整理していくこととしています。

## 白鷹町

### 二〇一三年七月豪雨災害 町内全域に大きな被害

七月十七日夕方から十八日にかけての激しい雨は、降り始めから二十四時間の雨量が二五〇ミリを超える記録的な大雨となり、白鷹町全地域に甚大な被害をもたらしました。

町では、十八日に災害対策本部を設置し、各地区の自主防災組織、消防団、町内事業者等の協力を得て応急対応にあたりましたが、二十二日に再び大雨に見舞われ、被害はさらに拡大し、同日午後には町内十地区に避難勧告が発令されました。さらに、貝生川の上流が決壊するおそれとなつたため、その流域の一部に避難指示が発令され、町内全体で約三百人が一時避難する非常事態となりました。

被害状況としては、至る所で土砂災害、河川の氾濫などが発生し、道路の崩落、堤防の決壊、護岸の崩壊、床上・床下浸水などの住宅被害、農地への土砂流入などの被害を受けました。

道路については、多くの路線が通行止めや片側交互通行となり、特に林道については全線が壊滅的被害を受け、現地調査もできない状態となりました。また、住宅への被害により、転居を手儀なくされたかたもいます。店舗への浸水や、工場における生産ラインの停止、観光施設への被害など、経済活動にも影響がでました。



7月18日、雨があがった後の西高玉地区

七月二十四日には「白鷹町災害ボランティアセンター」が設置されました。町内外から多くのボランティアの参加を

いただき、浸水した家屋の畠などの運び出しや、道路の泥の除去作業などを行いました。「東日本大震災時に、お世話になつたので」と宮城県から来てくれたかたもいました。



路面の崩落、損壊等で多くの路線が通行止めに

被害箇所の復旧には相当な経費を要しますが、七月二十六日の臨時議会において補正予算措置を講じ、また、国や県に緊急要望も行い、早期復旧に向け対応しているところです。



田には大量の土砂が流入

# 飯 豊 町

## 飯豊町は日本で最も美しい村です

失つたら二度と取り戻せない農山村の景観や文化が残る飯豊町。それらは、自然と人間の営みが長い年月をかけてつくりあげたもの。本当に美しい日本がここにはあります。

### ○日本一の美しさへの誇り

農山村の景観は、多くの場合自然と共にある生活様式が作り上げました。我が町を代表する田園散居集落景観も、先人たちの営みの軌跡であり、自然環境と人の共生の結果が、美しい風景として今も残されているのです。この美しい景観の中で暮らしている私たちは、その価値に気付きにくいものです。一見すると、現代社会では不効率な景観とさえ思われるがちです。我が町こそが「日本で最も美しい村」であるという意識と誇りを持ちながら、地域を活性化することが大切です。

### ○「日本で最も美しい村」連合とは

近年、日本では市町村合併が進み、小さくても素晴らしい

しい地域資源を持つ村の存続や、美しい景観の保護などが難しくなっています。

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、失つた

ら二度と取り戻せない、そ

んな日本の農山村の景観や環境、文化を守る活動や、小さくても輝くオンラインを持つ農山村が、誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるために活動しています。

この組織は、平成十七年に「フランスの最も美しい村」協会を参考として七町村から発足しました。その後、年々加盟町村が増加し、現在四十九町村が加盟しています。



NPO法人「日本で最も美しい村」連合のロゴマーク

さらに、連合の理念や取り組みに賛同するサポーター会員は、正会員五十五社、準会員四百七十五名です。

### ○地域資源

連合に加盟する条件は、人口が概ね一万人以下であること、地域資源（景観・環境・文化の中から二つ以上）があることです。

そして現地審査を経て加盟の合否が決定されます。

連合加盟町村それぞれに、世界に誇る素晴らしい



日本で最も美しい村フォトコンテスト2010グランプリ  
「皐月田の朝」 撮影者／齋藤徹氏（飯豊町）

らしい地域資源が存在します。飯豊町の地域資源として、数えきれないほど多くある中から、田園散居集落、飯豊連峰、中津川地区の里山景観と里山文化の三つを登録しています。

とは言え、どんなに素晴らしい地域資源が、いくらあっても、その地域資源を保護し、あるいは活用し、継承しなければ、いずれは埋もれてしまいます。

町は、「小さなまちでも、こんなに素晴らしい地域資源があるんだ」ということを、もっと多くの方に知つていただき、訪れていただくことによつて交流人口が増加し、地域経済が潤う。また、サポーター企業と連携し、雇用の創出と所得の向上を目指し、なんとか人口減に歯止めをかけるといった取り組みを重要視しています。

飯豊に住む私たちには、地域資源をあらためて見つめ直し、その価値を再認識するとともに、全国、そして世界に誇れる地域資源として、飯豊町の素晴らしさを子どもたちへと継承していく取り組みを実践していかなければなりません。

### ○連合定期総会

五月二十三日、長野県高山村を会場に、全国の加盟町

村長やサポーター会員などが一堂に会し、「日本で最も美しい村」連合定期総会が開催されました。今年度の事業計画・予算審議のほか全国的な美しい村のネットワークを生かして、「災害時の相互支援宣言」が承認されました。

総会後に行われた戦略会議では先進事例紹介や分科会があり、各町村の活動状況や連合に期待することなどについて、トップ同士の意見交換が行われました。

## ○東北ブロック会議

七月一日、本町を会場に、東北地区で連合に加盟する



飯豊連峰

## ○「世界で最も美しい村」連合会

二〇〇三年にフランス、ベルギーワロン地方、イタリアによつて設立された「世界で最も美しい村」連合会に、日本は二〇一〇年に加盟しました。昨年カナダのケベック州が加盟し、五カ国で組織されています。現在は、日本本浜田哲会長（北海道美瑛町長）が副会長を務め、世界レベルで活動の輪が広がっています。

昨年は、福島第一原発事故で全村避難となつている福島県飯館村の中学生二十二名が、「イタリアの最も美しい村」協会の招待で、現地の子どもたちと交流しまし

すべての町村から首長などが参席して「日本で最も美しい村」連合東北ブロック会議設立総会が開催され、代表に後藤町長が就任しました。

東北ブロックのテーマは「子どもと未来」。加盟町村それぞれの景観や環境、文化や伝統などの地域資源を、子どもたちへ継承する取り組みを行うとともに、地域の魅力や地域資源をあらためて見直し、東日本大震災からの復興と未来の東北を創造する活動を展開することとなりました。なお、十月に秋田県東成瀬村で研修交流会を開催しました。

た。言葉は通じなくとも心で通じ合うこと、そして世界を見ることで改めて「飯館村は最高の村だったんだ」という感想が聞かれました。平成二十七年には「日本で最も美しい村」連合設立十周年事業として、美瑛町を会場に世界連合会の会議が予定されています。

### ○口言葉は「まずは、きれいに」

普段の生活で、家の中にごみが落ちていればごみ箱に捨てます。また、普段から掃除はしていても、お客様が訪問する際はさらに念入りに家の中を掃除されると思います。しかし、一歩外に出ると、ごみを見つけても、つい見て見ぬふりをしてしまったり、時にはポイ捨てをしてしまったり、といった経験のある方も少なくないでしょう。町全体を一軒の家としてとらえ、小さいお子さんから大人まで、みんなでできることから取り組めば、おのずと町全体にさらに磨きがかかり、みなさんのお家（町）を訪れるお客様、そして、家（町）に住む私たち自身も清々しい気持ちになれるはずです。

「まずは、きれいに」これが今、「日本で最も美しい村」連合加盟町村の合言葉になっています。

農山村の景観は、多くの場合自然と共ににある生活様式

が作り上げました。我が町を代表する田園散居集落景観も、先人たちの営みの軌跡であり、自然環境と人の共生の結果が、美しい風景として今も残されているのです。この美しい景観の中で暮らしている私たちは、その価値に気付きにくいものです。一見すると、現代社会では不効率な景観とさえ思われがちです。我が町こそが「日本で最も美しい村」であるという意識と誇りを持ちながら、地域を活性化することが大切です。



中津川地区の里山景観と里山文化

## 米沢有為会『文化大学』

### 会員のノーザウを生かして

永年出版に身を置き食んできたご縁で、先輩の下條会長、鈴木脩二理事（当時）に「そろそろ汗をかけ」と喝を入れられました。創立百二十周年事業の準備の頃から小間使い役をさせていただきました。そこで、会の目的、特に学生たちと会員との交流をどう創るか、深みにはまつたこともあり「文化大学」の設立を提言させていただきました。専門と会員の広場として、また、入間町一丁目自治会の方々にもご参加を得ての学習会に増幅しております。勿論、会員仲間には有能な人材が多く、協力あつての「文化大学」です。

（米野）

### 第五回文化大学

平成二十四年十一月一日(土)

今回は、この四月国立国会図書館長に就任されたばかりの大滝則忠館長を講師にお迎えし行われました。多くの会員のほか、入間町一丁目自治会から会長以下八名、また、調布市立図書館から斎木孝夫氏のご出席を頂き、

興講館寮生多数を加え久しぶりに盛況となりました。

講演終了後、大滝館長を囲みささやかな懇親の場を設け、ご自身の東京興講館入寮時代の想い出話などを交え和やかなひと時を過ごしました。講師に講演要旨をまとめて頂きました。

・講師　国立国会図書館長　大滝　則忠

・演題　今日の出版の表層と日本文化

|| 戦前期の発禁本を探す旅から ||

・概要

難解な演題をいただいたが持ち場である図書館



の活動と、ライフワークの戦前期の発禁本を探す旅の視点から、文化の基盤となる出版について考えてみたい。

まず、職場である国立国会図書館の仕事に関連して考える。戦後に創立された国立国会図書館は、立法府に属し、議会図書館機能と国立図書館機能を併せ持っている。

国立国会図書館法という法律により、基本的な機能として「国会活動の補佐」「行政・司法各部門との連携」「情報資源の蓄積」「書誌・データベースの作成」「文献情報の提供」「内外の図書館、関係機関等との協力」の六つ

がある。その中でも「情報資源の蓄積」に関し、国立図書館として文化財の蓄積を目的とする納本制度を基礎に

国内出版物を網羅的に収集する機能は、他の諸機能を果たすための基盤となる。

納本制度による収集対象は伝統的な図書・雑誌・新聞をはじめとする印刷出版物に止まらず、近年では、いわゆるパッケージ系デジタル出版物（DVD等々）に及んでいる。

さらに、国立図書館として納本制度そのものによることではないが、ネットワーク系デジタル情報を、印刷出版物と同様に収集して利用に供する新しい仕組みづくりも段階的に進んでいる。国等の公的機関が発信するインターネット資料の収集は既に制度化され、また、民間が発信するオンライン資料（図書・雑誌に相当するもの）のうち、無償のものの一部を制度的に収集できるよう法律改正が最近行われた。今後の課題は、民間の有償のもの収集に向けて新制度設計に取り組むことである。

デジタル情報の普及が社会に及ぼす諸々の影響は、測り知れない。今日の出版活動はこの時代に直面して、摸索を重ねている状況にある。図書館の立場としては、一方で利用者の視点を持ちながら、文化の基盤となる出版

活動が一層振興する方向で、取り組むことになる。

次に、戦前期の発禁本を探す旅を通じて、文化の継承について、考えてみたい。納本制度は戦前期の日本にも存在したが、同じ呼称でも、戦後の制度とはまったく異なる。

戦前期の納本制度は、出版警察法下での出版物の検閲が目的で内務省に納本させるものであった。この制度は、明治二十六年出版法及び明治四十二年新聞紙法に基づいたが、それらの制定以前にも、明治初年から同種の条例等で定められていた。そして、敗戦直後のGHQ（連合国軍総司令部）の占領政策によつて失効する。

戦前期の出版警察制度は、あらゆる出版物を検閲の対象としていた。図書と雑誌・新聞はもとより、脚本、マッチラベル（燐票）、宣伝ビラ、ポスター等々が対象として含まれる。図書については、出版法が発行三日前までに製本二部を内務省（警保局図書課）に納本すべきこと（第三条）検閲の結果、安寧秩序妨害または風俗壊乱と認めるものは発売頒布を禁止し、当該出版物を差し押さえできること（第一九条）を規定していた。この「発売頒布禁止処分本」が、狭義の「発禁本」の呼称の由来となる。さらに広義には、削除、次版改訂、注意等の様々

な処分を受けたもの、また、戦時中の公共図書館で閲覧禁止や制限の扱いを受けたものも含め、読む自由に制約があつた図書のすべてを対象にして発禁本をめぐる文化的事象を考える必要がある。

明治期以来、戦前期における広義の発禁本は一万二千冊を超える数であると推定できる。

これら発禁本は、そもそも発行後、一般への流布が禁じられたものだけに、具体的な書誌的事項（著者、書名、発行年、出版社、頁数、判型等）や処分理由が判明しないものも多い。

戦前期の内務省納本の図書のうちの一冊は、当時の帝国図書館に回付されて保存され、戦後に国立国会図書館の所蔵となつたが、その中には発禁本の一部も含まれている。

しかし、戦後のGHQによる移送の結果、米国議会図書館の所蔵となつたが、その中には発禁本の一部も含まれている。それらをデジタル化したデータを国立国会図書館で取得する計画が進行中）。メモ書きで検閲経過を示す検閲原本の一部は、主に国立国会図書館及び米国議会図書館

に現存しているが、いずれ戦前期の発禁本の全貌を示す規模では遺されとはいえない。

私の取組の目標は、戦前期の発禁本の一冊一冊を探し出し、現存を確認しながら目録を作成することによって、それらに対するアクセスが誰にも容易にできるようになることにある。一方、戦前期の取締側の様々な基本文書が今後も新たに発掘されることが望まれる。いずれ、現物調査を通じ、個々の発禁本の書誌的事項を明確にすることになるが、その際は各種図書館に所蔵されている、いわば「公的蔵書」の所在を可能な限り極めるよう取り組んでいる。

これまでの発禁本研究は、個人が嘗々として収集した発禁本の私的蔵書をもとに行われてきた。今後は「公的蔵書を基礎にして、様々なアプローチによる研究が行われ、近代日本における出版文化の裏面史の解明が多面的に進むことを期待したい。

発禁本を探す旅の前途は、なお果てしない。（完）

## 第六回 文化大学(1)

平成二十五年四月十三日(土)

市場規模一兆円ともいわれるペットブームのなか、ペ

ットビジネスを取り巻く知られざる実態や、飼い主の心構えなど、身近な興味深いお話をしました。会場には、講師

夫人はじめ、同大学の関係者の顔もみられ、和やかな講演会となりました。

・講師 日本獣医生命科学大学 名誉教授 紺野 耕

・演題 ペットブームの功罪

一九五〇年頃から我が国に於いてはペットブームの兆しが見え始め、その後単なるペット（愛玩動物）から、人間生活を癒し家族と同等に扱えるものとして、コンパニオンアニマル（伴侶動物）と呼称されるようになり、ペットを飼育する家庭が増えてきた。

一〇一一年の我が国の統計では、登録された犬が一二五〇万頭、猫が一三四〇万頭で合計二五九〇万頭であり、飼育率は三七%となつた。一方、一部の飼い主の身勝手さやマナーの欠如によりペットたちがこうむる被害も浮き彫りにされており悲しい事情として受け止めなければならない。

そこで、このペットブームの功罪について、我が国および海外のペット事情を犬、猫に限定して記述すること

にした。

### ペットの人に役立つ働き

前述のようにペットブームに伴う社会事情は大いに変化しており次のようなことが考えられる。

- 一、小型犬の増加（室内飼育に適する）
- 二、純粋犬の拡大（一つのステータス）

- 三、高齢化（平均寿命の延長）

- 四、動物栄養学の進歩（ペットフードの普及とその内容の改善）

- 五、新規飼育者の増加（ペットによる安堵感や癒しを求める気持ち）

- 六、家族の一員として（室内飼育の認知度の高まりおよび人並みの扱い）である。

特に、右記(五)および(六)について HAB (Human Animal Bond) すなわち人と動物との絆の提唱のもと、動物と触れ合うことで人は動物から多くの恩恵を受けるようになった。例えば子供と動物との関係においては、乳幼児期においてペットと生活していた子供はアレルギー発症率が低く、また大脳の発達にも良い影響があり、高齢者については、免疫力を高め、笑いを生じ孤独



感を予防する等、人間にに対する生理的、心理的、社会的影響のプラスの要因が認められている。また、犬の持てる能力を人の福祉に役立てる身体障害者補助犬法が二〇〇二年十月に施行され三種類の補助犬（盲導犬、聴導犬および介助犬）が活躍しており、ハーネスを付けた犬を伴うエーザーの方をよく見かけるようになつてはきた

が、現状においては視覚障害者三〇万人に対し一〇四二頭の盲導犬、聴覚障害者三六万人に対しては四二頭の聴導犬そして肢体障害者一七五万人に対しては六一頭の介助犬と、障害者の申請を満たすにはあまりにも少ない充当率であり、一頭を生産するための膨大な時間と費用をいかにして短縮するかの改善が待たれる。

### ペットブームの問題点と悲しい現状（我が国と他国）

ペットブームの陰では悲しい現状が見られ。動物が増えるのに伴い飼い主の無責任なペットの放棄行為は無視できない社会問題となってきた。放棄され保護された犬や猫は、原則として三日以内に飼い主から返還要求がなければ殺処分される。

ちなみに二〇一二年の処分頭数は、犬が五三、四七三頭、猫が一六〇、一三四頭で合計二二三、六〇七頭が処分

された。

種々の理由があるにせよ、ペットの尊い命を捨てる理由などあるはずがなく、飼い主の無責任と無知の代償をペットに押し付けている悲しい行為である。

歐米では、我が国のようにペットを店頭に展示するペツトショップは存在しない。その理由は命ある動物を衝動買いしたり販売目的で繁殖することを予防するためであり、希望者は予めブリーダーに予約するか、各自治体が運営しているシェルターから成長した動物を譲り受けのやり方が一般的である。

異常なペットブームに沸く中華人民共和国の事例を挙げると、ここ一〇年間ににおける空前のペットブームは、ペットに費やす額が五〇〇%に増加したと言われ、その勢いは止まりそうにないが、しかしそれに伴う問題も生じている。例を挙げると、

(一) 犬の人を咬む事件の増加二〇一二年に咬まれた人は一〇万人以上、それにより狂犬病（我が国は清浄国）を発症した人二六四人（前年比三〇%増）この理由はリードを犬につけて散歩をする人が少ない、従つて犬は勝手に動き回り野良犬に（ここ一〇年で一〇倍）。つまり犬を飼うことに責任が生じていることを認識し

ていない人が多い。

(一) 商業主義がはびこり単毛色よりカラー犬が売れる  
からと、脱色して赤、青、緑などのカラー犬にする。  
またチヤウチヤウ犬をパンダ犬として高価に販売する  
等、商業主義が益々エスカレートしている。

最後に、飼い主が守るべきルールは

- (1) ペットと生活を楽しむこと
- (2) ペットが幸せなこと
- (3) 周囲に迷惑をかけないこと、  
である。

(完)



### クイズその1 ○か×かで答えて下さい

- 1、日本では米が余っており水田の4割を減反しているので輸入はしていない。

- 2、米飯は同じ重量の食パンの約

- 1・六倍の熱量「カロリー」があるので太りやすい。
- 3、日本人の米消費量が減少しているが、その原因は食の洋風化である。

- 4、米は消費量が減っているとはいえ日本人の摂取カロリーの4分の一を供給している。

- 5、米の単位面積当たりの熱量供給力は小麦の1／2～1／4である。

(答) 1× 2× 3× 4○ 5× (2～4倍)

### クイズその2

- 1、日本酒の銘柄名として最も多く使われている漢字はなにか。
- 2、純米酒と本醸造酒とは何がちがうのか。
- 3、「日本酒度」とはなにを表わす言葉か。

- 4、酒林(さかばやし)とは何か。(ヒント かざりもの)

## 第六回文化大学(2)

平成十五年四月十三日(土)

「飯(めし)のすすめ、日本酒のすすめ」という演題で  
したが、「米と日本酒文化」という切り口でユーモアを  
まじえながらの講演でした。なんと最後には、銘柄の異  
なる日本酒ボトル三本を並べて、解説付きの「利き酒  
会」、思わず講師の粹なハカライトに皆さん大喜びでした。

- ・講師 NPO法人食農研センター理事長 滝澤 昭義
- ・演題 飯(めし)のすすめ、日本酒のすすめ
- ・概要 はじめにクイズ

5、日本酒の出荷量が一番多い都道府県はどこか。

(答) 1鶴 2アルコール添加の有無 3比重計で測る  
酒の甘辛度 4新酒が出来たときに酒蔵に飾られる  
杉の葉の玉 5兵庫県

### 旨い酒とまずい酒

食べ物には甘味、酸味、塩から味、苦み、旨みがあり「五味」といいます。日本酒にはこのうちの「塩から味」がありません。酒を口に入れたときには必ず感じるのが「甘味」です。甘味が強いと「甘口」、甘味が少ないと「辛口」といいますが、これは酒の旨いまずいとは無関係です。甘口で旨い酒とまずい酒があり、同じように辛口で旨い酒もまずい酒もあります。よく間違われるのが添加したアルコールで舌にピリッと感じるのを辛口と思つてしまふことです。

よく酒を飲んで「飲み易い」と言う人がいますが、これは旨いかまずいかを表す言葉ではありません。美味しいものを食べて「食べ易い」と言いますか？　酒の旨さを決めるポイントには香り、味、のどごし、あと味、色沢などがあります。

## 日本酒と健康

日本酒より焼酎の方が身体に良いなどという、根拠のない「迷信」があります。「日本酒は太る」と言われます。が、カロリーのほとんどを占めるアルコールは、酒の種類が何であろうと単位当たり熱量は同じです。日本酒だけがとくに太りやすいということはありません。その点ではいわゆる「ビール腹」迷信も同じです。詳しくは拙著『食と健康に関する一〇問一〇答』(筑波書房七五〇円)をご覧下さい。

同じように、二日酔いするのはアルコール一五一六度の日本酒、つい飲み過ぎる傾向があり、アルコールは日本酒に限らず糖尿病の大敵です。多くの場合食べものと食べ方に問題があるので気を付けましょう。　(完)

## 第七回文化大学

### 平成二十五年七月六日(土)

冒頭、進行役の米野支部長より「今回の講師は、従来と趣向をかえ、会員ではあるが、いわば、外部の方にお願いした。講師の西館さんは、井上ひさしの先妻として、大変な修羅場をくぐり抜けてこられた方と聞いていたが、今日は、新聞記者やマスコミもいないので思う存

分お話を頼みたい。また、西館さんは、徳川無声を偲ばせる話し上手な方との紹介があった。

一週間前から、風邪を召されたというので時々咳き込まれるコンディションではあったが、最後まで聴衆を惹きつける熱演トークだった。

最後に、下條学長のご挨拶があり、続いて、入間町一丁目の「八雲」（同町自治会 常任顧問 小島勝美氏の店）に赴き講師を聞き懇談した。

#### ・講師 NPO法人 日本子守唄協会

理事長 西館 好子

#### ・演題 「井上ひさし 先夫の小松町(現川西町)と

“いのちの讃歌”と私の今を語る

#### ・概要

(一) 「日本子守唄協会」のこと



#### 「日本子守唄協会」の立ち上げ

井上ひさしと離婚後、「こまつ座」との縁を絶たれ、あたかも兵糧攻めにあつてゐるような状況のなかで、

劇団「みなと座」を結成。六年目に

素晴らしい芝居ができあがり、これを神戸のオリエンタ

ル劇場を拠点に阪神全域へ展開する目処がついた。ところが、阪神淡路大震災に遭遇、この劇団を閉鎖することになる。

すべてを失い途方に暮れるなか、立ち止まって、これまでの人生を顧みるとシャカリキになつて、自分のためのみに生きてきたことに気付く。折りしも、還暦を前にして父が常々言つていた「還暦になつたら、他人（ひと）のために生きる」という言葉にも空き動かされ、脳裏に飛び込んできたのが孫の顔だつた。そこで、この「小さいのち」を育み大切にする仕事をしよう決意する。

そんななか、ある親子心中事件を取材することになり、そこで遭遇した場面が「子守唄」へ没入する直接の契機だつた。それは、樹海の中で無残な姿で発見された二歳の子どもの捜索に携わつたお巡りさんの言葉『この子は、何のためにこの世に生まれてきたのでしょうかね。未だ子守唄を聞いて寝ておれる齢なのに』

子守唄を仕事として食べていけるのか、不安はあつたが、調べているうち子守唄は、これから世の中を救うテーマだと確信するに至る。

人間の人格形成に重要な役割を果たす幼児期に、赤ちゃんと母親を結びつける「子守唄」の存在が、とても

重要であることがわかつたからだ。

そして、このことを多くの人達に伝え、次世代へ語り継いでいくことこそ、自分に課せられた仕事、つまり「還暦すぎたら、他人（ひと）のために生きる」という使命

に合致する生き方だと確信し、新たな歩みとして「日本子守唄協会」を起ち上げることになった。（設立：平成十二年十一月）

## 「日本子守唄協会」の活動

西館女史は、この活動のコンセプトは「いのちの讃歌」であるという。子守唄の普及やその啓発活動をとおして、「いのち」の大切さが共に実感できる社会を目指し、虐待防止、いじめ撲滅、子育て支援などへと活動の巾が広がつていった。当協会の事業目的及び事業内容は次のとおり。

**事業の目的**（「内閣府NPO法人データベース ホームページ」より）全国各地の子守唄の情報・楽曲収集、系統だった資料の作成、子守唄に関連する活動を行つてゐる団体との文化交流、子守唄に関する催し物の企画・開催、会報誌の発行、子守唄の普及啓発を主たる活動とし、幼児から高齢者に至るまで広く国民に対し、これら

の活動を通じて、青少年の健全な育成や高齢者の生涯教育、無形の文化財の保存、福祉活動への協力に寄与することを目的とする。

**事業内容**（NPO法人『日本子守唄協会』ホームページより）（1）子守唄に関する情報・楽曲収集・採譜事業・資料（データベース）作成事業（2）子守唄の普及啓発のための支部の開設及び講演会・イベント・シンポジウムの開催事業（3）ホームページの開設（4）協会会報誌の発行事業（5）協会の広報・宣伝活動

## （二）「井上ひさし」のこと

### 神格化

女史は、井上ひさしが、没後、「天才」「鬼才」或いは「時代を彩る華々しい作家」などと世間でもてはやされることについて、所謂「神格化」されるものと危惧している。というのは、作家であった先夫と暮らしていたとき、最もそうした事を嫌つていたし、権力や名譽の中に自分の作品はおきたくない、それは物書きとしての「死」を意味するからだといつてゐたからだ。

これまで、あちこちから「井上ひさし」について語ることを、求められたが、まだ、公に話したことはない。

それは「井上ひさし」という人物について自分で中で消化し切れていないからだと女史は語る。だが、世間で「神格化」が進みつつあることを思うと、「今こそ、苦しんできた『人間・井上ひさし』の生きざまを披露する時かもと思うときもある」とも述べている。

### 直ぐにバレル戯れのワン

彼は、直木賞を受賞するまで、生まれ故郷の「川西町」を口にすることではなく、自分のふるさとを時に「盛岡」、時に「仙台」と云い、「川西町」を明かすことはなかつた。方言やなまり、お国言葉などは全く聞くことはなかつたという。女史が、新婚当初何処の生まれかと訊ねると、「長崎」だと応えた。手に残る「しもやけ」の傷跡は、原爆で…?と思わせたかったのか…。

野球好きでもあつた彼は、高校野球で仙台育英高校が優勝すると、自分は仙台育英出身だから、と応援に出掛ける、また、ある時は、仙台一高が優勝するとオレの母校だから…?という具合。彼は、このように何れバレル戯れの「ウソ」を好んでついた。(笑い) 彼の出身高校が仙台一高と判明したのは直木賞受賞以後、やつと友達や先生が現れた。ほとんどの級友に彼の鮮明な記憶はな

い。その時点から、つきあいが始まり、何回となく仙台を訪れるようになり交流が深まる。東大の樋口陽一教授、作家で歯科医の山田道幸氏などのグループも出来、最後まで親友だった。

### 二人だけの「被害者同盟」そして結婚

西館女史は、電通のOG時代に彼と知り合つた。当時社長に可愛がられていて、結婚より、仕事に熱が入つていた。その頃、知人のA氏から、貧乏な作家志望の弟子がおり、彼を食わせてやらねばならないのだと聞かされていた。だから、彼(井上ひさし)の存在は知つていた。ある時、彼女は、誕生日に母からもらって大切にしていた腕時計を紛失した。貧乏な作家志望の男がこれを持っていることがわかり、彼を呼び出した。彼の言い分は、A氏から食わせて貰うどころか、自分は彼の被害者であることを強調し、二人とも被害者だから「被害者同盟」を結成する必要があると称し、仰々しくも委細を紙に書き留めるという滑稽な一面もあつた。このようなお遊びの延長の中で、面白いウソばかりつくり人と何故か気が合いい一緒になつたのだという。

## 一枚のハガキ

川西町に住むおじから、祖父の三十三回忌法要の案内状が届いた。彼は、その出席を彼女に頼んだ。川西町は、

彼女にとつて初めての処である。そのおじさんという人は、彼の作品のなかで、ずる賢く貪欲で極悪人として登場する人物である。

ところが、「よくござつた」と快く迎え入れてくれて、本当にこんな大人しい人がいるのだろうかと思うほど優しい人だった。「ひさし」は、この家で五歳まで、おばあちゃんの手で育てられたこと、そのおばあちゃんは、亡くなるまで「ひさし」のことを大変気遣つていたこと、（彼は一回だけおばあちゃんにハガキを書いたのだが）そのハガキをおばあちゃんは、病氣で亡くなるまでずっと病床の許に置き、大切にしていたこと……などを教えてくれた。

## 虚像と実像の狭間で

おじさんは、帰りに「長井つむぎ」を土産に買ってくられた。作中に登場する人物とは真逆のおじさんの実像をそこに見た。女史は、物書きの妻として、土下座して謝りたいほど強烈な衝撃を受けた。作家の周辺にいる人間

は、思わぬ運命に翻弄されて生きているのだという現実を目の当たりにした。物を書くとは、時として凶器にもなるのだと思った。

女史は、彼の生家で体験した大きな虚実の落差に、帰つてからこの体験を報告することに戸惑いを感じた。所詮、彼のなかで出来上がつてしまつていてる世界を、打ち破ることはできないと分かつていていたからだ。・・・案の定、返ってきた言葉は、「猫被つてているだけだ・・・」

## 思い出すままに・・・

西館女史のお話のなかには、井上ひさしに纏わる私的なエピソードが沢山詰つていた。体系的に話されたワケではないので、断片的ではあるが、女史の思い出のなかからほとばしり、口を衝いて出たフレーズを書きとめた。（順不同）

- ◇「人は、ふるさとに佇むとその人らしさが出てピシャリとキマルものだ。彼はそう意味で、正直なところ、ふるさとは『盛岡』でも『仙台』でもなく・・・」
- ◇私は浅草の生まれで、直ぐ人を信じてしまうオッヂヨコチヨイだ。でも、結構疑り深く、裏も取る。（暗に、

彼の術中にはまり騙されたことが多かった……）

◇彼は、さっぱり分らない人だった。私は、一番楽しいところを見るが、彼は、一番難しいところを見る。

◇性格の違いや考え方の違いの中に生活者としてではなく、多面性をもつた物書きの複雑な心の有り様を理解してあげればよかつたと反省。

◇一回だけ、子どもたちと一緒に日帰りで川西町に行つたことがある。「ここ」でショパンベンしたんだあー」となどふるさとを凄く懐かしがっていた。「じゃ、齡とつたら此処に住む?」と聞いたら「イヤだ」「じゃ、何処に住む?」返ってきた返事は「盛岡」。「盛岡には文化ある」と。

◇作家によつて非情な親戚として書かれる。どう書かれても、黙つてゐる親戚がいる。物書きの周りにいる人の宿命だ。

◇彼は、母親（マスさん）のことを裂女・猛女と書いた。母親も書かれると影響を受け、自ら筆をとつてモノを書くようになつた。彼は、そのこと（＝母親の創作活動）を嫌い、女史をとおして止めさせようとした。

◇晩年、母親は彼に甘える姿をみせるところもあつたが、心の底に、彼に対する後ろめたさを感じていたの

か、親子には、拭えないある距離が感じられた。

◇私は、離婚して「仕舞つた」と思う時もあつたが、何よりも、子どもたちの世界を大きく広げてやれなかつたことが残念だと思っている。

◇彼が最後に見た夢は、「小松」だつたに違いない。ふるさとを持つ人は幸せだ。母親を持つ人も幸せだ。

◇あとの世に行つたら、彼のために、子守唄を唄つてあげたい。そして、孫の話をいっぱいしてあげたい。

◇彼に出逢つていなかつたら、今の自分は無かつたと思う。そういう意味で、彼には本当に感謝している。（完）



## 新島八重と米沢

市立米沢図書館

副主幹兼  
郷土資料主査 青木昭博

### はじめに

平成二十五年の大河ドラマが会津出身の新島八重を中心とした「八重の桜」に決定したというニュースが流れたのは平成二十三年の末であった。3・11大震災後の東北復興の応援が決定要因の一つであつたとNHKは言つてゐる。東北にとつては明るいニュースであつた。

新島八重は会津藩砲術師範・山本家の娘として生まれ、戊辰戦争の会津籠城戦では七連発のスパンサー銃も持つて男性に勝るような活躍をした。その後は兄のいる

京都に移り住み、同志社大学を創設した新島襄の妻となつた女性であるが、その名は一般の人にはあまり知られない状況で、「新島八重って誰?」という人が多かつたようである。地元の会津においても、会津藩松平家の始祖・保科正之を大河ドラマにする会が熱心な運動を行つてゐる中での決定で、「なんで八重が?」と、当初は意外な結果に困惑したとお聞きしている。

それでも、さすがに大河ドラマの反響は大きく、新島八重に対する関心が高まる中で、歴史研究家や作家など八重に関する研究調査や執筆活動が盛んとなり、そうした中で新資料の発見が相次いだ。また、新島襄が創設した同志社大学でも、八重の調査や紹介に積極的であった。その中で米沢に関わる発見もあり、八重と米沢にスポットがあたられる状況となつた。この稿では、新資料発見の経緯をたどりながら、八重と米沢に関する事柄を詳しく紹介したいと思っている。なお、資料発見の順番に記したため、年代は少し前後することをお断りしておきたい。

### 八重が米沢に出稼ぎに 新発見資料

会津籠城戦で活躍した八重だが、降伏後から明治四年（一八七二）に京都にいた兄・覚馬のもとへ行くまでの足取りは空白であった。ところが、八重に注目が集まる中、会津図書館で所蔵していた「元斗南藩貫属各府県出稼戸籍」（資料1）の中から、驚くべき事実が判明した。それには、川崎尚之助妻と山本権八の妻・嫁・孫女・伯



資料1  
元斗南藩貫属各府県出稼戸籍（会津若松市立図書館蔵所）

母が、米沢県  
管内の城下・  
内藤新一郎宅

（おほらがいふき）という役目であった。年は二十二歳で、明治四年には二十八歳となり、八重より一歳年上とということになる。

に出稼してい  
たという記録  
である。川崎  
尚之助は八重  
の最初の夫で  
あり、その妻（27歳）は八重本人に間違いない。また権  
八妻は八重の母・佐久（62歳）、嫁は兄・覚馬の妻・う  
ら（35歳）、孫女は覚馬の娘・みね（10歳）である。米  
沢県とあるから、明治四年の四月から十一月の状況を示  
している。

ただし、『米沢市史』や米沢の歴史関係書籍・論文に  
は記載がない無名な人物で、その時点では八重との関係  
までは辿りつかなかつた。また、八重が住んだ内藤宅の  
場所も、弘化三年（一八四六）の「御城下并原々屋鋪割  
帳」では新一郎の父・源太郎の屋敷は割出町（松岬三丁  
目）であるが、明治三十年の「米沢市等級表」では内藤  
新一郎は番正町とあり、八重にいた明治四年頃の住所は  
特定できない状況であつた。

図書館に報道関係、研究者、作家から問い合わせが多  
数舞い込む中、こうした情報を紹介したところである。

### 八重の夫・川崎尚之助と米沢

内藤新一郎とはどんな人物か、八重との関係はとのレ  
フレンス（調査相談）が舞い込んだ。その内容に驚き  
ながら、城下ということで藩士の可能性が高いと想像  
し、取りあえず慶応元年（一八六五）の「分限帳」（米  
沢市上杉博物館蔵）を調べると、御馬廻組の中に内藤新  
一郎の名が確認された。御馬廻は米沢藩の中級家臣団で  
あるが、内藤の禄は一人扶持四石と少ない方で、御螺吹

後に見つかった資料（「御近習人別帳」）で確認された。

これまで尚之助を記した資料としては、大正十一年の『会津会々報 第二十号』に古川未東が寄稿した「古川春英と川崎尚之助」という一文が知られていた。それに紹介されている尚之助は次のとおりである（抜粋要約）。

尚之助は但州出石藩医師の子で、江戸で蘭学と砲術（理化学）を学ぶ。会津の山本覚馬へ来て、覚馬の推薦で蘭学所の教授となり、洋書を読んで器械弾薬の製造を行つた。戊辰戦

争の会津籠城戦では野砲を操作し

て西軍を砲撃するなど

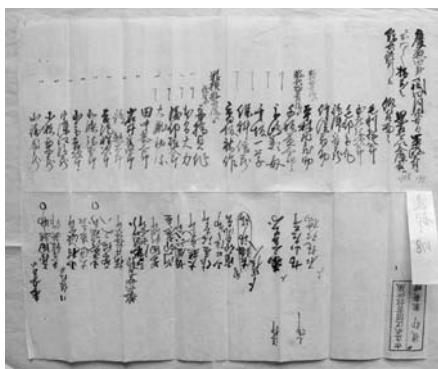
防戦に活躍

した。その後は斗南藩に移り、「大に為す所らんと欲す、しかし

て事外人に連れ累を受けしが、事遂に解く。廢藩後は東京浅草の鳥越に住むが、赤貧洗うがごとき状況であった。米沢藩士小森沢長政は、会津で尚之助に砲術を学んだ縁故で、困窮を援助したという。明治八年六月病氣のため東京で死去、享年三十九、浅草今戸町の称福寺に葬る。

これが尚之助に関する最も詳しい記録であった。この米沢藩士の小森沢長政が川崎と深い関係を結んでいたことは、米沢でも松野良寅氏が『東北の長崎』等に紹介しているところであるが、さほど注目されてこなかつた。

長政（当時の名は琢藏）が会津へ砲術訓練を行つたのは戊辰戦争が始まつた後で、明治元年閏四月二十七日のことであつた。『上杉家御年譜』には、平林・色部・毛利などの重臣が「出格ノ思召ヲ以テ会津表へ練兵修行命ゼラル」と記され、市立米沢図書館所蔵の渡部家寄贈文書の中には、平林等と共に派遣された米沢藩士四十四名の名簿（資料2）が残つている。そこには小森沢琢藏の外、後に八重との関係が確認された蔵田熊之助、北村徳太郎、山口源之助の名前が確認される。ただし、残念ながら肝心の内藤新一郎の名前は見えなかつた。



資料2 慶応四年閏四月、会津へ練兵修行を命じられた家臣名簿  
(市立米沢図書館 渡部家寄贈文書)

## 川崎尚之助の記録が北海道で見つかる 新資料発見2

平成二十三年十二月頃、幕末研究家の「あさくらゆう」氏より、内藤新一郎や小森沢長政に関する問い合わせがあつた。北海道立文書館で司法省や開拓使の公文書から川崎尚之助の記録を発見、その後追い調査をしているところであつた。新発見資料は年末の日本経済新聞に紹介された。

その資料で判明したことは、川崎は明治三年十月に会津藩士として斗南に移住した事、斗南での会津藩士の苦しい生活を見かね会津藩士の柴太一郎と共に函館でデンマーク領事（商人でもあつた）から広東米購入の交渉を行つた事、その購入にあたり仲介の商人に裏切られデンマーク領事より損害賠償の訴訟を起こされた事、川崎と柴は会津藩に累の及ばないよう罪を一身に負つた事、その裁判は東京の司法裁判所で行われ裁判中に川崎は肺炎を患い、明治八年三月二十日に東京医学校病院で死去した事などである。

「八重の桜」決定によつて、会津藩士として斗南に赴き藩士の窮状を救うため働き、藩に迷惑を掛けないよう責任を背負つたまま病死した川崎尚之助の生き方に光が

当てられた。  
なお、川崎と共に罪を負つた柴太一郎については弟の柴五郎が記した名著『ある明治人の記録』（中公新書）に裁判等の記載があるが、なぜか川崎の名は載っていない。出石藩出身の新参の川崎に対する柴家の意識の差があつたのであろうか。

## 内藤新一郎の記録が米沢で発見 新資料発見3



資料3 鶴城叢書173巻の表紙

平成二十四年に入り八重の桜のキヤストが段々決まつてくる中、米沢でも新資料が発見された。市立米沢図書館では平成二十七年の新図書館開館に向け古典籍・古文書類のデータベース構築に取り組み始め、昭和初期に市内諸家で所蔵していた古文書・古記録を筆写して図書館に揃えた「鶴城叢書」の目録のエクセル入力を開始した。その際、鶴城叢書一七三番の「明治三庚午御触書」の著者名に内藤

新一郎の名を確認、明治の内藤新一郎ということで、八重が出稼ぎにきた内藤の可能性があるのではと思つた。

ただ、御触書という書名から、八重についてはあまり期待できないかとも思いながら、その記録を捲つて見ると、八重に関する貴重な記録に出会い、「え、うそ」と強い衝撃を受けた。

「明治三庚午御触書」は、内藤が米沢藩の常備砲兵に任命された明治三年（一八七〇）閏十月から始まる備忘録で、砲兵の練習状況や通達などが日記のように記されていた。その明治四年二月二十六日の項には、内藤が大砲訓練に貢献したことで藩から褒賞として金一枚を受けた通知（褒賞状）が左のように記されていた。

#### 常備砲兵

内藤新一郎

右ハ兼而操鍊道ニ志し篤く出精罷在候内、旧会臣川崎尚之助江隨身、鍊兵ハ無申迄大砲四斤之奥意を相極メ、平日渡部確太郎江示合、藩之常備ニ用立度

存し、只管勉励精熟、篤志稀成るものニ付、為褒美右

辛未

二月廿六日

なんと、内藤新一郎は会津で八重の夫・川崎尚之助に大砲（四斤砲）の訓練を受けていたのである。これで内藤と八重が繋がつた。その縁で内藤宅に川崎の妻・八重が出稼（寄留）し、内藤は川崎に奥義まで習つたことが藩の常備砲兵に選ばれ褒賞を受けた。きっと内藤は、その褒賞状を自宅に寄留していた八重に見せたであろう。

その情景まで思い浮かぶようである。「眞実は小説より奇なり」と言われるが、まさに、内藤から見せられた褒賞状に、夫の川崎尚之助の名前が見えるといった情景は、小説でも描ききれないシチュエーションと思われる。

なお、内藤と共に同僚の渡部確太郎と藏田熊之助も褒賞を受けている。二人は先に示した会津へ練兵修行に派遣された名簿（資料2）に載つてゐる人物である。

更に驚くべき記録が八月一日（鶴城叢書では同朔日と誤記か）の項に見つかつた。左の記録である。

同 日 休暇

一 来ル三日山本家内發足ニ付、左之通  
以書付奉願候事

私共家内両家メ五人、内藤新一郎ニ因り御藩江罷  
越申候 内同姓覚馬妻不縁ニ相成リ斗南表江罷越  
申ニ付、残り四人今度西京表ニ罷在候覚馬方より活  
計立兼可申ニ付、一同罷越候様申越候ニ付罷登度  
奉存候 依之御印鑑頂戴仕度 此条奉願候 以上  
明治辛未八月

山本権八家内印  
川崎尚之助妻印

米沢県

御役所



資料4 明治三庚午御触書

八月三日に八重と母達が京都に出発するの  
で、米沢県御役所に印  
鑑（通行手形）の発行  
を願つて提出した書類  
の写である。また、寄  
宿先である内藤新一郎  
が提出した添書も記さ  
れている。この願書に  
よつて、①八重たち二  
家族五人が内藤を頼り

米沢に来た事、②京都の覚馬から呼び寄せられ明治四年  
八月三日に米沢を出発した事、③覚馬の妻・うらは不縁  
(離婚)となり斗南に向かつた事が判明した。八重達が  
兄・覚馬に呼び寄せられたことを記した資料は初めてで  
あつた。さらに③の兄嫁が離婚し斗南（青森県）にいつ  
た事実も初めて明らかになつた事である。京都の覚馬の  
元には当時身の廻りを世話する女性があり、その為に身  
を引いたものと思われる。これまでには、兄嫁うらは一人  
会津に留まつたと伝えられてきた。

また、八月二日の項には、「先生家内西京行ニ付、蔵  
田北村同道見立にして一盃持參呑」と記される。出発の  
前夜、会津で川崎あるいは  
山本家で砲術を習つた蔵田  
熊之助と北村徳太郎（資料  
2に記載）も集まり、別れ  
の盃を酌み交わしたことが  
知られる。

そして、「明治三庚午御  
触書」には内藤の住所が番  
正町四十四番と記され、八  
重が寄留していた内藤の屋



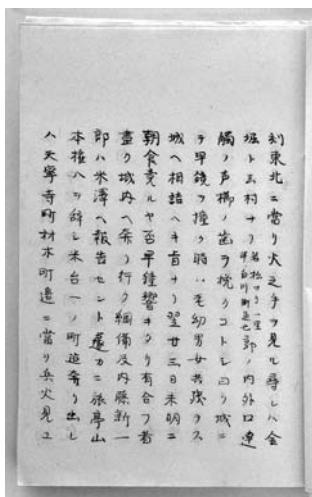
写真1 八重たちが寄留した  
内藤新一郎宅のあった場所  
(米沢市城西3丁目)

敷が番正町であったことが確定した。現在の城西三丁目、権正八百屋さんがあるあたり（山形銀行城西出張所の西側）である。

なお、この新発見資料については直ちに記者クラブで発表し、八月二十八日の地元新聞各紙に掲載されたが、発表を急ぎ再確認しないまま八重達の出発日を誤つて九月三日と発表、後日に八月三日と訂正する苦い経緯もあつたことを記し留めておく。

### 更に確認された「戊辰実記」の記載 新資料発見4

内藤の記録が発見されたことで、再び図書館に問い合わせや資料調査が殺到した。先に川崎の資料を北海道で



資料5  
「戊辰実記」会津之部

発見した幕末研究家の“あさくらゆう”氏も数度来館、内藤の記録と共に幕末の米沢藩の記録も閲覧した。そして、「戊辰実記」（上杉支侯家寄贈文書）の中に、新政府軍（西軍）が会津城に攻め入った時の状況を記した記録を発見、それには内藤新一郎の名前も確認された。「戊辰実記」の会津の部に記された内容を要約すると次のようになる。

八月二十二日に新政府軍が会津城に攻め入った状況については詳しい資料が少ないが、蔵田熊之助の手記によつて知られる。蔵田は八月六日に越後戦線から会津に戻り、総督から会津藩の手助けと情報収集を命じられ、山本権八宅（八重の実家）に寄宿。二十一日に猪苗代城の兵が城に火を付け敗走した報が入り、小森沢琢藏（長政）が報告のため米沢に出発、会津城下には敵が攻め入つた時には早鐘を鳴らすので城に入るよう通達された。

二十二日、朝食が終るや否や、早鐘が鳴り響く。皆が急いで城に入る中、蔵田と内藤新一郎は米沢に報告するため山本宅に別れを告げ、別々になつて米沢に向かつた。会津城下は辺り一面が黒煙に包まれ、銃弾が雨のように飛び交つてゐる状況であつた。

会津篠城戦が始まった大混乱の時、会津城下の山本家に内藤・蔵田らの米沢藩士が寄留していた事実に驚かされたと共に、小森沢も含め多くの米沢藩士と会津藩砲術師範・山本家との深い関係が再確認された。こうした深い絆があつたからこそ、その後八重が一年ほど米沢に寄留したのであつた。また、蔵田の手記は、当時の会津城下の様子を詳しく記した貴重な資料であり、今後も色々な形で利用されると期待される。

### 新島八重の養子となつた米沢の甘粕初子

八重と米沢の縁は、京都に移った後も続き、特に米沢藩士の甘粕家と深い関係を結ぶことになる。

米沢藩士甘粕家は四家あり、何れも侍組に属する上級家臣であつた。二家は上杉謙信の重臣として活躍した甘粕近江守の末裔で、もう二家は上杉景勝の重臣で白石城主となつた甘粕備後守の末裔である。その内、備後守系統の甘粕備後継成（つぐしげ）は幕末期に活躍した人物で、学問に優れ御記録所頭取に任命され著名な「鷹山公偉蹟録」を編集すると共に、戊辰戦争では參謀として活躍した。その甘粕継成の長男・鷺郎（わしろう）の娘・

また、同志社大学の本井康博先生によれば、八重は米沢藩士・山口源之助の子供も養子に迎えたという。山口初子が、後に新島八重の養女になるのである。

甘粕家と新島家の縁は、甘粕鷺郎の先生・吉田賢輔と新島襄が田辺塾で学んだ同門であつたことが関係したのではと松野良寅氏は見ている。また、鷺郎は会津藩御用人の手代木直右衛門（てしろぎすぐえもん）の次女・中枝と結婚し、初子が生まれている。初子には米沢藩士と会津藩士の血が流れている。そうした関係からか、明治十五年には新島襄が米沢の甘粕三郎（鷺郎の弟）邸を訪問している。また、翌十六年には八重は神戸の甘粕鷺郎を訪ね三歳の初子と会っている。その後、鷺郎は病死し初子は甘粕三郎の養女となり、更に明治三十三年に八重の養女となつた。初子は八重に茶を習い、後に新島襄・八重の信頼の厚かつた同志社の広津友信と結婚した。広津はその後、山形高等学校の教授も勤めている。また、三郎の長男・甘粕勇雄は新島家の書生をしながら京都大学を卒業し弁護士となつた。八重と初子の交流は続き、八重は初子を頼りにし、初子は八重の看病にもつとめていく。八重死去に際し、初子は喪主をつとめ遺産の整理には弁護士となつた甘粕勇雄が関わり、遺品は広津家に残された。

は小森沢・蔵田と共に会津へ練兵修行に派遣された人物である。ここにも、八重の実家である砲術師範山本家と米沢藩士の縁が影響していたことがうかがえる。

### おわりに

少し長くなつたが、八重と米沢の深い関係を、新発見の資料を紹介しながら追つてきた。今回の新資料発見で、改めて米沢には歴史資料が豊富に残されていることを実感した。また一方で、会津をはじめ県外では数多くの研究や出版が行われているのに比べ、地元米沢では戊辰戦争について本格的な研究が、まだまだ及んでいない事も痛感させられた（宮島誠一郎の資料を用いた中央の人々が意欲的な研究を発表してはいるが）。

これは戊辰戦争での米沢藩の微妙な立場が強く影響していることと思われる。明治政府から見れば賊軍であり、共に戦つた奥羽越列藩に対しては、いち早い降伏と寛大な処分に一抹の後ろめたさを感じていることもある。仙台藩が六二万石から一八万石に、会津藩が二三万石から三万石に、南部藩が二〇万石から一三万石に減封されたのに比べ、米沢藩の一八万石から一四万石は余にも寛大な処分であった。

米沢には明治期に編纂された「戊辰軍記」「戊辰実記」「戊辰紀事」や、当時の書状・日記などの原史料も数多く残され、未だ研究されていない状況もある。戊辰戦争に対する後ろめたさを引きずらないで、残っている資料を生かした研究の進展が課題であり、望まれる。もあった。

また、今回の「八重の桜」は東北復興の応援と共に、大河ドラマの復興（再生）も課せられたと感じている。前回の「平清盛」の平均視聴率一二%は過去最低を更新した非常事態である。八重の桜の第一回目は二一・四%と好発進したが、二回～五回目は一八%台と少し心配な数字となってきたようだ。今後は、中野竹子（黒木メイサ）や日向ゆき（剛力彩芽）など人気女優も登場する。視聴率が少しでもアップし、会津、さらには米沢に観光客が増えることを願つておる次第である。

（九里学園「あづまね 第30号」より転載）

# トピックス

1

## 万世大路道路元標の設置

明治十四年（一八八二）十月三日の栗子隧道開通式から一三二年たつた平成二十五年（二〇一二）十月三日に、万世大路の道路元標が設置された。万世大路の道路元標は福島市にあつたが米沢市にはなかつた。明治天皇が東北御巡幸の時米沢から福島へと向かわれ、整備された道路を通られ、日本で一番長い栗子隧道の開通式に臨まれた。この新道の米沢側の起点が相生橋の西たもとであり、今町（現相生町）であった。

昨年十月六日に土木学会の選奨土木遺産に認定されたのを機会に米沢側に、万世大路の道路元標の設置が進められ、明治天皇がお通りになつた十月三日の朝、相生町十字路に設置され除幕式が行われた。道路元標は一辺が五〇センチメートルの四角柱で高さ一・五メートルの立派なものです。上部には土木遺産の銘板が設置され、正面には万世大路の由来と現栗子ハイウェー建設までの経過が書かれた解説版がはめ込まれている。

### 『万世大路』道路元標 300mm×200mm

初代山形県令三島通庸は、首都東京と直結する荷馬車がすれ違える道路整備が必要であるとの強い信念で、明治9年から明治14年にかけて当時日本最長(876m)となる栗子隧道を含む山形県（刈安新道）18.5kmと福島県（中野新道）29.8kmを合わせた、延長48.3kmの栗子新道を完成させました。明治14年10月3日に明治天皇の東北御巡幸にあわせて開通し、同年11月には三島県令は天皇から道路改修がよく出来ているとの、お褒めの言葉を頂きました。その後、同年2月9日に明治天皇は栗子新道を『万世大路』と命名されました。

時代は変わり自動車交通に対応するための「昭和の大改修」（昭和8年～12年）では、山岳部14.4kmの一部を新たに建設したり栗子隧道や二ツ小屋隧道の断面を広げる等の改修を行い大幅な時間短縮を図ることができました。その後、冬期間通行止解消と車両大型化への対応として昭和36年から20.1kmの新ルート改良工事に着手し、昭和41年5月に「栗子ハイウェイ」として開通しました。これにより隧道を含む16.9kmは廃道となりました。

明治・昭和の先端土木技術を駆使して、山形・福島両県の物流と人の交流そして絆を育んだ歴史を持つ『万世大路』は土木施設自体の高い評価により、平成24年10月6日に土木学会選奨土木遺産に認定されました。それを記念して、米沢市内における万世大路の始まり地点である、米沢市相生町（当時は山形県南置賜郡米沢今町）に『万世大路』道路元標を設置するものです。なお、福島県側の道路元標は福島市上町に復元移転されています。

平成25年10月吉日

山形県置賜総合支庁建設部

解説版

なお、万世大路記念碑公園（国道一三号万世町刈安地内平成二年開園）で、七月十三日記念碑標柱と土木遺産認定証設置に伴う除幕式が行われた。国、県、市、保存会等関係者六十名ほどが参加した。この公園には刈安から栗子隧道までの沿線にあつた、明治大帝御駐輦碑二基、栗子神社碑、栗子国道改築記念碑などが建てられている。この式典に向け米沢国道維持出張所が再整備した。



相生町十字路に建設された道路元標除幕



◀栗子隧道西口、明治の抗口と昭和の抗口（昭和25年9月13日撮影）



▲土木遺産万世大路  
銘板除幕



▲万世大路記念碑公園標柱除幕式

## トピックス

②

### フリマー長井線生誕100周年

長井線は明治四十四（一九一二）年に軽便鉄道として建設予算が政府で承認され、大正二（一九一三）年十月二十六日、南陽市赤湯から同市梨郷までの区間が開通し、宮内町・梨郷駅が開業しました。そして今年生誕一〇〇周年という記念すべき年を迎えるました。翌大正三（一

九一四）年には梨郷・長井間が完成し、西大塚・今泉・時庭・長井駅が開業しました。

その後荒砥線として長井鮎貝線が大正十一（一九二三）年に完成し、羽前成田・蚕桑・鮎貝駅が開業しました。翌十二（一九二三）年鮎貝荒砥間に完成し、荒砥線を長井線と改称しました。その後

旅客列車がディーゼル化され（昭和二十九年）、西宮内駅（昭和三十四年）、南長井駅（昭和三十五年）が開業しました。昭和六十二（一九八七）年、国鉄が分割民営化となり、JR東日本が継承したが翌年に長井線は廃止されました。代わって長井線運営のため山形鉄道株式会社が設



立され、同十月に山形フラー長井線として開業しました。南陽市役所駅が開業し、宮内町を宮内に、西宮内

おりはた駅と改名しました。その後、白兎駅（平成元年）、あやめ公園駅（平成十四年）、四季の郷駅（平成十九年）を開業し現在に至っています。

この生誕一〇〇周年を祝い十月十九日、記念イベントが多彩に行われました。赤湯駅では記念式典が行われ、沖郷小学校児童二人が一日駅長となり、くす玉が割られお祝いしました。九時五十分臨時列車記念号が発車し終点荒砥までの旅を楽しみました。宮内、長井、荒砥駅を中心に関連イベント「長井線祭り」が行われました。

長井線は地域の財産、地域の生活を支える交通手段として重要な役割を果たしています。少子化で通学者が昭和三十年代の三分の一に減り、累積赤字が三億を超す厳しい経営となっているという。しかし一〇〇年の歴史を機に官民一体となり、利用拡大をさぐって走り続けてもらいたいと沿線の皆さんは願っています。

## トピックス [3]

### 山形県立米沢栄養大学が来春開学

米沢の大きな地域課題として、学園都市推進協議会が推進してきた山形県立米沢女子短期大学の四大化が進み、県立米沢栄養大学が平成二十六年四月に開学することになりました。

米沢栄養大学の概要をお知らせします。

設置者である公立大学法人山形県立米沢短期大学が法人の名称も含め、定款を改正し、一法人が二大学（米沢栄養大学と米沢女子短期大学）を運営していくことになります。大学の学部名は健康栄養学部健康栄養学科で、入学定員は四十名（男女共学）です。現在の米沢女子短大健康栄養学科は二十六年度から募集停止となります。大学の目的・教育目標は、県内初の管理栄養士養成大学として、県民の健康で豊かな暮らしの実現に寄与するとしています。また大学の特色としては、栄養と健康の研究に関するシンクタンク機能と栄養に携わる者等に対する生涯学習の拠点機能をあげています。  
取得可能な資格としては、管理栄養士国家試験受験資

格、栄養士免許、栄養教諭1種免許状（希望者のみ）があります。教育課程としては、科目数が九十九科目で本県の食文化・健康・歴史などを学ぶ教養科目、本県の食材を取り入れた実験・実習を行う専門科目を設定。県内六十施設（病院、福祉施設、保健所、学校等）と連携した必修科目の学外実習、病院での栄養サポートチーム実習など実践教育も実施、としています。教員体制は専任教員二十一人（学長含む）、助手五人、非常勤講師二十人となっています。

現在新校舎がほぼ完成し、十一月には施設見学会を予定しています。米沢女子短大の敷地内に三階建て四九八六・九〇m<sup>2</sup>の建物です。一階は実習室、学生ホールなど、二階は実験室、食品加工実習室など、三階は大講義室、研究室、演習室、自習室などとなっています。特徴として有機EL照明、県産木材、太陽光発電装置、ペレットボイラーや導入しています。

開学に向けて学生の募集が始まります。一般入試の前期日程では二十四人、後期日程で四人の募集です。特別入試は推薦入試で十二人、社会人入試若干名（十二人のうち）となっています。詳しくはホームページをご覧ください。

この稿は、十月五日米沢支部でご講演いただいた同大学鈴木道子副学長の原稿から抜粋しました。先生は最後に新県立大学への想いとして、小規模だからこそきらりと光る大学にと述べられました。



# トピックス

④

## 市立米沢図書館の デジタルライブラリー公開

市立米沢図書館は、平成二十七年の新図書館開館に向

け準備をしています。貴重な郷土資料を生かす図書館の実現を目指して、古典籍・古文書のデータベース構築とデジタルライブラリーの公開を進めています。

デジタルライブラリーでは、米沢善本や林泉文庫などから貴重書や利用希望の多い古典籍などを選択し、一〇〇点ほどの画像をインターネットで公開しています。米沢の宝物が直接開いて見られますので是非ご覧ください。公開している資料は、古文書・古典籍のほか米沢から江戸までの街道の様子を描いた「江戸道中絵図」や沖縄で調査した植物の図譜『琉虬百科譜』など画像を見るだけでも楽しい資料も公開しています。

米沢のお宝として図書館に所蔵されているものは、直江兼続の収集書籍から鷹山藏書まで多彩な古典籍がありますので、公開資料の一部を紹介します。

会津御在城分限帳（前田慶次）、分限帳（嘉永二年）、

米府鹿子、米沢里人談、米沢事跡考、管見談、樹畜建議、かてもの、飯糧集、沙石集十巻、源平盛衰記四十八巻、平家物語十二巻、笛野觀音通夜物語、前田慶次道中日記、飯豊の山ぶみ、百人一首抄、文選六十巻、古文真宝後集抄十巻などです。是非ホームページにアクセスしてお楽しみください。

会津御在城分限帳  
(前田慶次組外衆  
1千石)

琉虬百科譜





## 「漆の実」俳句会便り

主宰 鈴木淳一

早いもので、俳誌「漆の実」も通巻三十四号となつた。作品の内容も欠会なしの毎月の句会で作品を競いあい充実してきた。あとで会員諸氏の作品を紹介する。わずか二〇頁ほどの月一回発行の「漆の実」でも二十四号ともなれば書棚に並べれば体裁もついてきた。時々、思いだしては書棚より古い「漆の実」をとりだしてみることもある。

さて句会便りといえば、昨年師走。有志による越後村上の吟行である。つよく印象に残った行事であり、その吟行記と作品を挙げてみる。

## 越後村上吟行記

今回の越後村上の吟行（一泊二日）の企画・スケジュールのすべては、漆の実会員（編集・発行人）小山八州

史さんによるもの。切符の手配からせっかく村上へ行くのだから三面川の遡上の時期を中心に、宿泊地（せなみ温泉）のアキ具合等、現地と連絡をとりあつて決定された。師走、十二月二～三日。参加者は、下條怡生、池田弁之助、片山丹波、小山八州史、鈴木淳一の男性五人。

一日目は、みぞれまじりの悪天候、越後特有の寒さ。二日目は当地では何年一度かという、俳句の季語でいえばポカポカの冬ぬくし日和であった。観光めぐりはレンタカーを借りての八州史さんの運転であった。地元出身だけに最短距離で効率よく村上を隅から隅まで案内していただいた。パンフレット等も沢山いただいたが、すべて八州史氏にそれ以上のガイドをしていただいた。村上市長に村上觀光大使の役職を推せんしたいほどだ。村上の城下町と米沢の城下町。ひとことで言えば同じ城下町の風情だが、ちょっと違う印象であった。独断と非難されることを恐れずにいえば、米沢人は、一般的に保守的で、人間関係も一度相手を知りつくせば、一生親戚づきあいになるが、そうなるまでが大変だ。いわば守りの城下町。一方、村上は開放的で人間関係も非常に親しみある和やかな雰囲気がある土地と思つた。例えば、普通の町通りの見知らぬ店へぶらりと入つても家族総出のも

# 会員の広場

てなしをうけた。われわれが二日聞いてイヤな思いをしたことは一度もなかつた。風土のもたらす人間性か、そんな城下町だつた。小山八州史さんには深く感謝いたします。初めての城下町村上へ行つてほんとうによかつたと思つてます。

以上

三つ四つ撲たれ磧に鮭仆る

初冬のイヨボヤづくし満喫す

池田弁之助

大岩の分流の背に臥牛山  
叩ては築の大鮭往生す

## 村上吟行句

割烹新多久にて昼食会

鈴木淳一

会席はます 鮓 のいでにけり

※鮓（はららご）は鮭の産出前の卵巣

冬ざれに鮭の末路を見届けし  
寺町のつづく黒堀残り柿

仕舞屋も乾鮭つるす格子窓

片山丹波

せなみの湯・大觀莊

日本海を玻璃が包みし冬の湯荘  
井筒屋（芭蕉・曾良おくのはそみち二泊の宿）

「漆の実」俳句抄（平成二十四年十月より）

鈴木淳一選

冬の川白々とあり鮭むくろ

◎唐辛子食へば消防自動車来

下條怡生

乾鮭の雌争ひし貌のこり

車窓より落暉の越後明日は雪

下條怡生

塗下の深み帰還の鮭の影

「唐辛子」と消防自動車との相関性。感覚派的な表現内容。赤くて辛い「唐辛子」からくるイメージと「消防車」との結びつきが面白い。個性豊かな俳句。

おし黙り鮭の魚信を待つ男

小山八州史

◎虫葎離れ耳鳴り残りけり

小山八州史

やはりこの句のキーワードは「耳鳴り」だろう。多様性の一斉の虫声を聞いて離れると、その多様性の虫声の周波数が「耳鳴り」として残り続けた。表現内容に新しい息吹きが聞こえる。

◎竈馬土間の暗さへ一つ跳び

片山丹波

「かまじごうま」は、キリギリス、コオロギに似るが羽がなく体がえびのように曲っている。後あしが長くよく跳ねる。薄暗い所に住む。この一句まさに「かまじごうま」を的確に描写しているが、作者が表現したかったのは「一つ飛び」の表現だろう。一瞬の所作に、目をみはつたのだ。作者にとつては、この一事、大発見だと思われる。たまたまこの稿を起している十月五日（平成二十四年）の朝日新聞の俳壇に、金子兜太選として「大股が何より自慢かまどうま　松島律子」があつた。「一つ飛び」と「大股」の違い。

◎鳴きとほす高性能の虫の翅

池田弁之助

「高性能の虫の翅」のフレーズに面白味がある。確かに

に人工的でない虫の声をイロニー風に高性能と感知したところにこの句のよさがでた。新鮮な感覚の一句。

◎窄みたる茗荷の花も刻む朝

登坂かりん

なかなか巧みな句。茗荷は湿地に自生し生姜に似ている。晚夏、土から出てきた花穂は茗荷の子と称し食用とする。花穂はそのままにしておくと、大形の淡紅色の可憐な花をだす。一日でしほむが、次々に咲き続く。そこでこの一句。あわただしい初秋の朝の厨の一瞬を、さりげなく「花を刻む」で表現した。正確に対象をとらえ日常の朝のひとときを女性らしい感覚で描写した好句。

◎コロンブスの夢は根づかず唐辛子

濱田扇風

唐辛子は意外と原産は南アメリカ。またいまは世界で広く栽培されている。その「唐辛子」と「コロンブスの夢」との関連性。なかなか微妙。しかし面白い。コロンブスはいろいろの事情で自分の計画していた事業は挫折。晩年は失意と貧困の生活を送ったといわれる。「コロンブスの夢は根づかず」このイメージは構想が大で「唐辛子」の小粒の辛さとの対比が上手く一句をなしている。

◎虫の音に顯ち来る影や逝きし人

浜田白鷺

日本では古来予感めいたことを「虫が知らす」といつてゐる。（淨・菅原伝授）等。一句、逝きし人が虫の音となつて呼びかけてくるのかも。中七「顯ち来る影」が痛切。

◎馬の背の飼葉の搖れや虫が鳴く

松坂六義

馬の背中にある飼葉より虫の声が聞こえた、という発見はなかなかのものである。やはり常日頃の目のスケッチが大事。中七に「や」の切れ字が入り一層句を大きくした。

◎ぴかぴかのキツチン飾る唐辛子

太田甘美

普通の日常生活をとらえた明るい、いい句に仕上がつた。食事のあとにキツチン、掃除も終り、綺麗になつたキツチンをふと見上げると祝福するかのように唐辛子が干されていた。きらびやかなモールのように。「飾る」に作者のモチーフの「唐辛子」がイキイキと輝いたのだ。好句。

◎格子戸に吊るす魔除けの唐辛子

小山青嵐

素直に詠みとれるのが、この句のよいところ。リズムもよいし、詠んでいて、あーそうかと合点もゆく。地方のどこかに、このような風習もあるのかもしれない。採られたての唐辛子が目に浮かぶ。

花野

鈴木淳一

櫓よりジャズ流れくる花野かな  
花野にて曼珠沙華が招んでいる  
暮殘る莫産に老婆と唐辛子

軒先に唐辛子吊げ雜貨店

虫籠と眠りて少年泣きじやくる

廣介のお伽の世界虫葎

乳母車虫の音色を曳きずり來

以上

## 川柳同好会「柳為会」の近況

『熱』  
軸吟

発足して五年一今年は二名退会したが、隔月一回七名で楽しく川柳を詠んでいる。

薄木博夫先生の講義を受け、その後は会員の句を鑑賞。「うーん。なるほど！」皆さんの句に感心。

終了後には一献交えての雑談、これが又面白く和気藹藹のひとときである。

昨年からは「短歌」の会も発足させ、隔月活動しているので是非ご入会下さい。

近藤郁子

熱上げた彼女も今や八十路越え

熱弁もしどろもどろのご老輩

熱々な文にほだされ共白髪

熱かつた想いのままに君といる

無い知恵をパズルに使い熱くなる

熱あげて追いかけた夫「わしも族」

肝心な時に限つて知恵熱が

三四郎

をさむ

遊子

かずま

温

『幸せ』  
軸吟

幸せの真ん中に居るお父さん  
変らぬは平穏無事の神詣で  
父の日に一句添えての品届く  
幸せを貴方と共に生きている  
身の丈に合う幸せの二人酒  
幸せは笑顔とセット仲がよく

三四郎

をさむ

遊子

かずま

温

『學ぶ』  
軸吟

老学の邪魔をしているカタカナ語  
学んでも右から左すつと抜け  
学無くも田畑を守る母でした  
古希過ぎてなお学べるという感謝  
川柳はパズルにも似て数合わせ  
晩酌の肴に一句ぽけ防止  
学んでも学びきれない知恵の山

美呆  
郁温  
かずま

『話』  
軸吟

虚言癖あるが話は面白い  
お話は上手に指で語り合う

三四郎

をさむ

美呆

郁

温

講演は上手いが中身まるでなし  
日向ぼこ自慢話を猫と聞く  
口よりも目と目で会話いまいすこ  
ないしょだよ耳をくすぐる子の話

遊子  
かずま  
美 郁  
呆

ちなみに  
三四郎  
をさむ  
薄木  
かずま 温遊子  
鈴木  
横山  
倉石  
吉田  
近藤  
樋渡三  
博夫  
脩二  
数馬治子  
満  
郁子  
三保子  
郁子



平成25年度県民芸術祭・第49回米沢市民芸術祭参加

第64回緑光会展出品作品

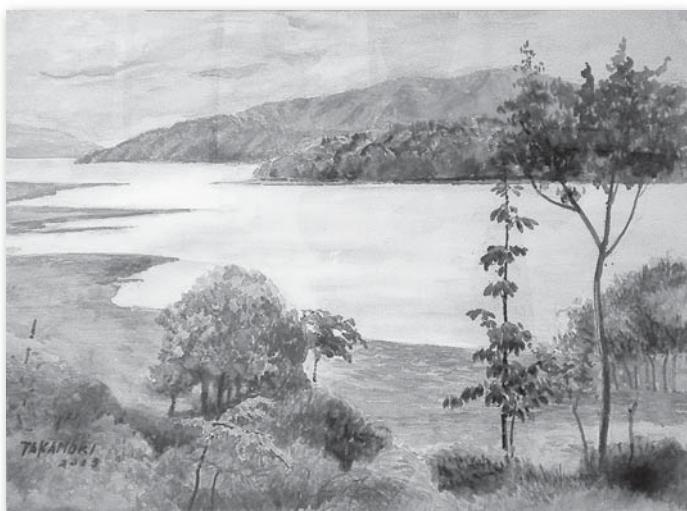
『愛染明王下図』

亀岡 博



『秋の松原湖』

高森 務



『夕照最上川』

沖津信也



『穀物倉庫跡にて(リビア)』

高橋丈夫



『田起じの頃』

齋藤秀一



『鎮魂の舞』

折原勝男



# 賛助会員名簿

(平成二十五年度)

社団法人米沢有為会の主旨に賛同いただき賛助会員としてご支援ご協力をいただいている方々です。

## 東京支部

### 法 人 名

日 総 産 業 (株)  
大木リフオーム(株)  
(株)向洋アドシステム  
マコート技研(株)  
舟 寿 新野整形外科  
相 田 建 設 (株)

### 代 表 者

小 野 千 雄  
設 楽 保 雄  
東 金 子 晃 司  
深 泽 和 夫  
辰 雄 司  
新 野 正 憲 子

(敬称略)

(株)遠藤相田建設  
(株)大置建設  
(株)小嶋賜  
総本店  
清設

中川村野  
相田晃輔  
新島恵敬  
彌左衛門  
一典

## 仙台支部

### 法 人 名

仙台環境科学  
日本不動産  
(株)東北オフィスマシン

林栗加  
崎田藤  
まつ子  
一啓  
巳二

代 表 者  
(敬称略)

さ の 医 院  
鉄砲屋町内会  
中條医院  
舟山田清院  
宮坂考古館  
(株)丸定  
若松工業  
精英堂印刷  
(株)タカハタ電子  
羽陽印刷  
(株)山形新聞社置賜総支社  
中條歯科医院  
東北警備保障  
(株)片倉  
佐藤宮坂  
佐藤直喜  
武中大石安房上  
田條井田房吉  
誠良祐一  
一郎文一郎  
毅昭尚

社団法人益米沢有為会役員名簿

平成二十五年十一月現在

一五〇

名譽会員	名譽会長	会長	副会長	(理事)	理事	理事	事長	事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
上	杉邦憲	生雄	泰敏	間條	文化大學學長	貝英雄	山英	津沼	幸孝國	二雄信	保甲川	梅貝貝	平事	須長	長	會	理	名譽會員	
上	邦憲	生	泰	間	文化大學學長	英	英	沼	國	雄	川	梅	事	須	長	會	理	名譽會員	
上	邦憲	生	泰	敏	文化大學學長	雄	英	幸	國	二	甲	加	事	須	長	會	理	名譽會員	
上	邦憲	生	泰	敏	文化大學學長	雄	英	幸	國	二	甲	加	事	須	長	會	理	名譽會員	

五

相談役 (米沢) 宮坂宏  
（同） 村石房男  
山木浩和男  
勇一郎

中曾鈴小スミ金大スミ  
條根木森関関子友關スミ  
伸脩力昌利久修スミ  
仁良二雄幸薰雄太郎スミ

理事役務分担

○ 総務部

寄宿舍担当  
川合勝雄  
(東京興譲館担当・館長)  
寄宿舍担当

○文化広報部 同 柴田 正 著

○文化広報部 同 柴 田 正 孝

○地域・教育振興部

同	同	同	同	同	同	同	同	同
山	金	伊	伊	藤	藤	野	村	浩
木	子	和	和	和	幸	庄	山	和
勇	周	治	治	治	幸	士	浩	彦
一	郎							夫

○東京支部長

○**育英事業部**

○米沢支部長

安 部 三十郎

我妻榮記念館担当

上 村 勘 二

○仙台支部長

甲 伊 菅 野 國 信

○京都支部長

田 村 邦 榮 三

○北海道支部長

後 藤 藤 藤 和 夫

○教育委員

伊 藤 藤 藤 和 夫

○産業振興委員

斎 藤 友 美 佐 久 智 子

○寄宿舎興議館

柴 田 正 孝  
多 田 美 佐 雄

○我妻榮記念館

東京館長 仙台館長 仙台副館長 仙台寮母 小野寺妻

名譽館長

運営委員

担当理事

館 長

上 我 妻

遠 林 村 妻

小 林 村 妻

佐 本 高 五十嵐 安 部 藤 林 村 妻

佐 本 高 五十嵐 安 部 藤 林 村 妻

和 節 京 伸 勘 真知子  
繁 彦 子 子 敏 拓 一 二 堯

管理人 手 塚 正

東京支部役員

支 部 長

副 支 部 長

理 事

米 沼 鈴 沼 木 沼 木 研 信 一

野 野 宗 祯

紺 川 川 加 伊 伊 伊 飯 鈴 沼 米 沼 木 沼 木 研 信 一

野 井 合 藤 藤 藤 藤 沼 木 沼 木 研 信 一

陽 勝 国 貞 秀 喜 俊 信 一

耕 一 雄 雄 治 郎 助 男 之 一

監

事

赤 渡 米 吉 宮 平 平 桶 羽 沼 中 滝 鈴 鈴 佐 佐 倉  
井 邊 野 澤 坂 山 山 口 隅 澤 川 澤 木 木 藤 伯 田  
淳 忠 宗 雄 孝 和 英 正 弘 研 紘 昭 吉 信 陞 雅 和  
一 義 稔 一 夫 博 三 宏 宣 一 一 義 助 之 三 子 子

評議員	参事会						相談役
安部	樋 鈴 近 神 太 今	石 情 鈴 斎 高 小 本	瀧				
壮一郎	渡 木 藤 野 田 井	原 野 木 藤 橋 森 間	澤				
三保子	三 郁 民 浩 之 介	俊 文 倭 俊 力 敏					
子	う め よ ひ ろ み ひ ろ み	一 男 二 忠 龍 雄	新				
夫							

大 今 伊 安 青  
石 井 藤 部 木  
道 浩 隆 洋 恵  
夫 之 介 明 司 子

吉 山 深 極 鈴 佐 近 金 神 太 遠 安  
田 田 沢 渡 木 藤 藤 野 田 藤 部  
仁 雅 和 三 保 子 う め よ 郁 泰 民 弘 忠  
志 宏 毅 子 伸 夫 隆 彦

(以上平成二十六年五月満期)

副支部長	支 部 長	米沢支部役員
(理事) 本梅種	(理事) 本梅種	山村 本原 林橋 佐五雲寺
多津村	部	田山川田 本藤
和幸信	三十郎	幸浩 照常享孝
彦保次		生和裕 二子子夫卓

(以上平成二十五年五月満期)

理 事

塚高高鈴柴柴山佐小上金小大遠江伊井  
田橋橋木田田宮藤林村子野貫藤川藤熊  
昌丈節幸正光広伸勘周庄英善榮和征  
伸夫子一孝孝雄明一二治士一之助夫一

# 評 監

議  
論

佐 小 川 加 大 遠 漆 稲 石 安 員 舟 中 事 山 野 手 手  
藤 林 野 藤 澤 藤 山 村 田 部 山 條 木 本 塚 塚  
富 圭 裕 善 和 豊 良 勇 一 宮  
士 雄 一 章 功 実 則 裕 修 弘 敏 弘 文 郎 弘 雄 修

顧

問

問 後木遠 渡山宮松前本福戸玉武庄白島島  
藤村藤 部口坂田山間崎田上田司田津倉  
忠武 秀昇 健 真直利誠芳 真静  
源三彦 丈一宏修二精 知子博恭郎彥悟一夫

参

相談  
得

事役  
宮本高伊 町曾鈴 小大 大久保 遠上 上野 中武  
本間橋藤 田根木 関友 藤杉 杉 村川 田  
秀秀 富伸徳 久太郎 利英虎季 研  
行浩章一 保良松 薫之 明雄 雄 三勝誠

理

1

事

1

副支局長

支部長

仙台支部役員

1

(三) 事務局

卷之三

二

谷 月

四

幸 帝

文

彥 旦

副支部長		京都支部役員		相談役		監事			
谷	菅	中	加遠	長	本	廣	田	高	滝
	野	條	藤	藤	澤	田	瀬	林	橋
榮	榮	啓	三	健	健	暁	一	政	
政	三	仁	二郎	一夫	純	宏	一	彦	

評議員		理事		顧問		庶務幹事			
遠	高壳	保	谷	高	齊	菅	岩	新	保
藤	木間	科	橋	藤	野	崎		野	崎
健	正公	喜	榮	雅	昭	榮		昌	喜
次	助男	重	政	雄	一	三	淳	生	重
								淳	一雄

評議員		理事		副支部長		支部長		北海道支部役員	
鈴	(事務局)丹	須芳	上	佐	田			佐	北星
木	野	藤賀	野	藤	村			藤	郷
吉		秀	和	俊	邦			恒	利
行	久	進樹	子	一	夫			雄	勝三

相談役

安	大	佐	加	田	孫	閑
部	峠	藤	藤	中	田	
英	康		三	健	二	
夫	治	豊	雄	治	敏	郎

興讓館寄宿舎OB会

(平成24年～25年)

名譽会長

会長 大佐 関修敬  
副会長 大滝 藤忠

副会長

大滝 藤忠  
佐藤 敬

甲國信

上野和子

(札幌OB)  
(仙台OB)

幹事長

副幹事長

宮川 桶上 甲大佐  
坂合 口野 滝藤  
孝勝 正和 國則  
夫雄 宏子 信忠

幹

事

顧問	監事	会計幹事	
下條泰生	高瀬勝	佐藤三	伊賀一
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	貝藤彰
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	川井二
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	齊藤一
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	平井彰
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	本井彦
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	手井修
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	高田誠
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	千喜一
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	沼澤研
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	喜良和
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	良和研
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	塚和研
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	田研
高瀬勝	佐藤三	菅野幸	沼澤研

幹事長	副支部長	東京支部長	
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	中條仁
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	飯井和
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	今賀俊
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	芳垣和
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	板井秀
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	石垣義
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	安原俊
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	小原俊
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	安部薰
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	高橋夫
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	羽根宣
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	小森龍
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	安弘力
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	高英俊
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	羽俊郎
安舟洋司	舟山国夫	加藤國雄	小龍宣

幹

事

副支部長	仙台支部長	副支部長	米沢支部長	監事	会計幹事	
塚原保夫	甲國信	小林伸	高多和彦	高山征一	赤井淳一	武田篤一
塚原保夫	甲國信	高橋伸	多和彦	井征一	赤井淳一	佐藤和一
塚原保夫	甲國信	橋伸	和彦	高井一	赤井淳一	鈴木憲正
塚原保夫	甲國信	一夫	彦	井一	赤井淳一	木村正明

# 事務局 顧監理

事務局長	本澤健一	中田健夫	問仁	船條健	監完	事良	鈴木多	香坂昌	瀧口政彦
------	------	------	----	-----	----	----	-----	-----	------

幹事長 渡部 順一	副幹事長 水見 一栄	幹事長 仁科	副幹事長 貝沼	幹事長 小野	副幹事長 村山	幹事長 齊藤	副幹事長 庄藤	幹事長 浩和	副幹事長 加納	会長 和子	会長 佐藤	会長 彦
(H 11 46)	(S 52 47)	(S 47)	(S 48)	(S 46)	(S 37)	(S 30)						

（平成21年2月28日発足  
かつこ内数字は  
奨学生金貸与開始年度）

# 顧監

高橋	鈴木	安部	大関	酒井	小森	佐藤
----	----	----	----	----	----	----

監修	脩二郎	三敬	修旭	力夫	憲一
----	-----	----	----	----	----

(S 48)	(S 31)	(S 28)	(S 44)
--------	--------	--------	--------

## 後記

一五

▲今年の夏は猛暑に見舞われ、九月に入ると大型台風に見舞われ、特に台風二十六号は伊豆大島を直撃、四十数名の命が奪われた。自然災害が各地で起きている報道を聞くたびに、当地方に直接大きな被害の無いことを幸せに思っています。

▲昨年の奨生募集プロジェクトの活動が功を奏して、仙台寮は定員まで入寮し、東京もほぼ充足しました。寮生が激減したからと言って、一年で満杯になつても新たな課題が出てきます。三年後にまた大量の入れ替えが待つていています。できれば毎年数名の入れ替えがコンスタンタンにできればよいと思います。ご協力をお願ひいたします。

▲会社の採用担当者の話では、大学生生活をどのように過ごしたかを訪ねることが多くなったといいます。アパート暮らしか親元から通学か寮生活か等です。寮生活を四年間もしていると協調性やコミュニケーション力が養われるというのです。社会に出て組織の中で仕事をすることになると必要な能力が自然と身についていると評判のようです。大学で好成績であっても、組織内で共同集団活動ができないで苦しむ人もいるようです。その点寮生は恵まれていて仲間づくりができます。

▲七月一日に念願の公益社団法人として認可となりました。何がメリットかというと、事業活動が公益とすることで社会的に信用が増し、税制上の利点があることです。つまり、個人寄付減税、法人寄付減税、その他寄付減税、法人事業税減税です。ご厚意によつて育英事業に御寄附いただく場合は当然該当します。置賜地方から国家と社会で活躍する有為な人材の育成が有為会の目的であります。ご支援をお願いいたします。

▲会誌六十三号は公益法人認可の記念号としました。編集会議でもいろいろ検討して、刷新の方向で編集しました。見た目も変えようとのことで表紙をふるさとの国宝洛中洛外図を採用しました。全体は屏風として認識していますが、図を切り取つてみると、二千四百人にも及ぶ京都の人たちが描かれています。圧巻です。

▲新法人になり九月二十三日の総会も掲載すべく編集しましたので、例年より遅れての発行となりました。今後とも正会員、贊助会員の皆さんに育英事業を柱とした活動にご協力いただきたくお願い申し上げます。

(文化広報部長 梅津幸保)

## 本部・各支部事務所等所在地

北海道支部	東京支部	米沢支部	仙台支部	京都支部
	■一八二一〇〇四 東京都調布市入間町一丁目三六番地 東京興譲館内	■一八二一〇〇四 東京都調布市入間町一丁目三六番地 東京興譲館内	■九九二一八五〇 山形県米沢市金池五丁目二ノ二五 米沢市役所内 秘書広報課内	■九八〇一〇八七四 宮城県仙台市青葉区角五郎一―六一 仙台興譲館内
	電・FAX (〇三) (3309) 3301	電・FAX (〇三) (3309) 3301	電・FAX (〇三) (3309) 3301	電・FAX (〇三) (3309) 3301
	(○三八)(二)五二二	(○三八)(二)五二二	(○三八)(二)五二二	(○三八)(二)五二二
	FAX (〇三) (3309) 3301	FAX (〇三) (3309) 3301	FAX (〇三) (3309) 3301	FAX (〇三) (3309) 3301
	電・FAX (〇一) (272) 五八五	電・FAX (〇一) (272) 五八五	電・FAX (〇一) (272) 五八五	電・FAX (〇一) (272) 五八五
	谷栄政方	北海道札幌市中央区南一条西八丁目 (株)日建社内	京都府城陽市寺田宮ノ谷一―六六	北海道札幌市中央区南一条西八丁目 T G札幌ビル7F 田村邦夫
	電 (〇六〇一〇〇六一)	電 (〇七七四)(五三)〇九八八	電 (〇六〇一〇二二)	電 (〇九八〇一〇六一)

## 米沢有為会設置施設

- 東京興譲館** ■182-0004 東京都調布市入間町1-36  
電・FAX (03) (3309) 3302
- 仙台興譲館** ■980-0874 宮城県仙台市青葉区角五郎2-6-21  
電・FAX (022) (222) 4790
- 我妻榮記念館** ■992-0045 山形県米沢市中央3-4-38  
電・FAX (0238) (24) 2211

子育て世代応援コミコミ住宅

# ペバーミント

「安くていい家」で大好評の「ペバーミント」です  
自由設計ですので2世帯住宅にも対応しています  
ぜひご相談ください



世界に  
たったひとしきない

我が家



株式  
会社 本多建設

〒992-0047 山形県米沢市徳町7-52

お問い合わせは今すぐ！ TEL 0238-21-5100  
FAX 0238-21-4458 E-mail [info@hondahomes.com](mailto:info@hondahomes.com)

WEBで検索！ [ホンダホームズ](#)

本多建設ホームページアドレス  
[hondahomes.com](#)

割烹  
志ん柳

個室 5名様から100名様まで

〒992-0045 米沢市中央一丁目14-4

電話 0238-21-1234



塩引寿し  
米沢牛串焼き  
玉こんにゃく  
米沢ラーメン 全国唯一!!  
うこきソフト

上杉城史苑すぐ隣り！

## べに花庵

住所/〒992-0052 米沢市丸の内1-1-22  
電話番号/0238-23-6310  
営業時間/9:00から17:00まで 定休日/なし

漬物はやっぱり  
雪国の米沢のが一番  
一度あがってみてください!!  
創業50年の専門店 窪田の後藤商店

お申し込みは最寄りの取り扱い店または当店まで  
自然の味をそのまま手づくり

有限会社 後藤商店

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田413-3

☎0238-37-5378(代)

FAX 0238-37-6345

<http://www.marsho.jp>

E-mail: [info@marsho.jp](mailto:info@marsho.jp)

後藤喜彦 東京興譲館寮 平成12年卒



◎宅配便でお届けします。(関東方面630円)  
(送料は別途申し受けます)

お支払いは代金引替、郵便振替等で

No.	規 格	価 格
A	おみ漬(8袋)	3,150円
B	青菜漬(8袋)	3,150円
C	おみ漬・青菜漬詰合(8袋)	3,150円
D	赤かぶ甘酢漬(8袋)	3,570円
E	おみ漬(3袋)青菜漬(3袋)赤かぶ(2袋)	3,255円

他にミックスにも応じます。  
米沢では米沢駅2Fアスクでも販売しています。

グルメからお土産まですべて揃う  
米沢観光のキーステーション



## 食彩俱楽部

ごきげん  
米沢牛をはじめ、  
物産品が満載!!

●ご希望の方に上杉城史苑商品  
カタログをお送りいたします。

<http://uesugijoshien.jp>



## 上杉城史苑

代表取締役会長 内藤文徳  
代表取締役社長 松田理

(株)上杉コーポレーション

〒992-0052 米沢市丸の内一丁目1-22  
TEL.0238-23-0700 FAX.0238-21-8252



鰯料理&  
スローフーズ

## 鯉の宮坂

米沢牛惣菜  
地産創食 宮香本舗 みやこう ほんぽ

株式会社 タスクフーズ

山形県米沢市相生町7-130

0120-25-7188

URL <http://www.koi-miyasaka.com>

**地元に愛されて30年。  
皆様の「大切」を私たちの「大切」に。**



## 東北警備保障株式会社

山形県公安委員会認定第6号  
山形県米沢市アルカディア1丁目808-17  
電話 0238-29-0005  
FAX 0238-29-0015  
URL <http://www.next-alert.co.jp>

### 営業品目

- ・機械警備
- ・常駐警備
- ・交通誘導業務
- ・イベント警備（上杉まつり・花火大会など）
- ・施設管理（米沢市総合公園 指定管理者など）
- ・清掃業務（法人契約）

**IPを使ったホームセキュリティシステム(最新式)導入！**

**日本ブックサービスはBOOKの倉庫です  
3つの分野をベースにお客様のご要望にお応えします**



### 保守管理業務

コンピューターによる商品在庫管理

### 入出庫発送業務

商品の納品、引き取り、国内外発送  
宅急便・メール便でのダイレクト発送

### 改装・返品業務

文庫から上製本までの改装をスピーディーに対応

## 株式会社 日本ブックサービス

[本社] 〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田3-7-2  
TEL. 04-2944-9951(代) FAX. 04-2944-9960  
URL <http://nihonbook.com>

環境測定分析をとおして、  
美しく豊かな自然の保護に力を尽くしています



計量証明事業登録  
宮城県知事 第H7-001号(濃度)  
**仙台環境科学株式会社**

代表取締役 加藤 啓二

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3番17号

TEL (022) 263-1361

FAX (022) 263-1362

「大地震の発生直後から、日本中はもとより、世界中の人々や団体、企業  
から多くの物資や義援金とともに、さまざまな励ましのメッセージをいた  
だきました。ふるさと宮城は少しづつ復興へと歩み始めています。」

『ご支援ほんとうにありがとうございます』

株式会社

**羽陽印刷**

米沢市中央3丁目9-22

TEL (0238) 23-0467(代)

FAX (0238) 23-0480



全国新酒鑑評会

# 五年連続金賞受賞

# 東光

とうこう

清酒



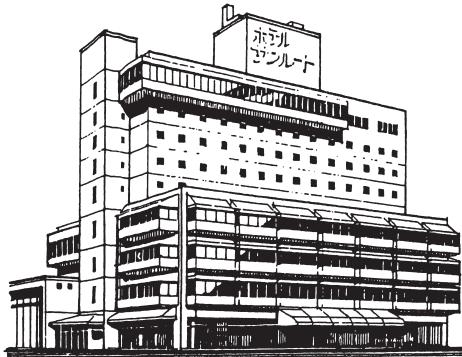
上品な吟醸香、溢れる旨み、  
心地良い余韻…。

技術の粹を結集して醸した  
極上の美酒

創業四百有余年

株式会社 小嶋総本店

ご宴会、ご会合は  
サンルートにおまかせ下さい



ご予約  
お問合せは



ホテルサンルート米沢

〒992-0039 山形県米沢市門東町3-3-1 共立ビル TEL 0238-22-6655(代)

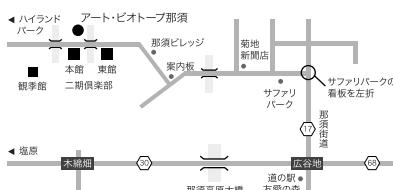
自然と感性が交わる、創造の小さき庭。  
アート・ビオトープ那須



レジデンス 陶芸・ガラススタジオ ワークショップ

[www.artbiotop.jp](http://www.artbiotop.jp)

〒325-0303  
栃木県那須郡那須町高久乙道上 2294-3  
TEL : 0287-78-7833 FAX : 0287-78-6627



サマー・オープン・カレッジ—— いま、ここで考えたいことをあつめた夏の5日間

Schule im Berg 山のシューレ

「山のシューレ」は、那須高原山麓・横沢地区にあるアート・ビオトープ那須で開催されるテンポラリーな学校です。

[www.schuleimberg.com](http://www.schuleimberg.com)

主催——特定非営利活動法人アート・ビオトープ

# Party Space



米沢の中心にあり、郷土感あふれる土地にたたずむ  
「グランド ホクヨウ」

英國式の厳かな独立型チャペルや、多種多様なパーティー会場があります。  
ステンドグラスが特徴的なチャペル、県内でも大変珍しい和テイストの紗紅蘭。  
レンガ造りで、大きな暖炉が特徴的な邸宅のハウスウェディング風のプロヴァンス。  
豪華なシャンデリアが特徴的なブライトイイン。  
一歩足をふみ入れれば正面に赤い階段がひろがり、様々なテーマ性のある個性的な会場で、  
最幸の一日をとびきりロマンティックにお過ごしください。

お問い合わせは **0238-22-1238**

[www.grand-hokuyo.com](http://www.grand-hokuyo.com)

## グランドホクヨウ

山形県米沢市金池2丁目3-7 / TEL:(0238)22-1238/FAX:(0238)21-1067

# 日本全国、ホルムアルデヒド退治の虎の巻。

タイガーハイクリンボードは  
シックハウス症候群の主な原因物質の  
ホルムアルデヒドを吸收・分解するので  
日本全国、安心家族の「虎の巻」です。



- ◎新築・リフォーム直後や新しい家具などから発生するホルムアルデヒドを短時間で吸収・分解します。
- ◎一定の条件下で厚生労働省指針値のホルムアルデヒド濃度0.08ppmを下回る0.05ppmの数値を実現しました。
- ◎ハイクリンボードの「壁材」や「天井材」は物理的な吸着と異なり、ホルムアルデヒドを化学的に吸収・分解するため再放出されません。
- ◎タバコの煙に含まれているアセトアルデヒドの低減効果も併せ持っています。
- ◎不燃性、施工の容易性など、せっこうボードの数々の優れた性能をそのまま保持しています。



**YOSHINO**  
安全で快適な空間を創る吉野石膏

[本社] 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル 〒100-0005  
<http://www.yoshino-gypsum.com/>

取締役社長 須藤 永一郎

明治22年12月14日創刊  
昭和27年8月2日復刊  
平成25年11月22日発行

発行 公益社団法人 米沢有為会 会長 須貝英雄  
編集 文化広報部長 梅津幸雄  
印刷 東京都調布市入間町1丁目36番地 電話・FAX 03-3309-3302  
（株）羽陽印刷 山形県米沢市中央3丁目9-22 電話 0238-23-0467